

第 4 期
白岡市教育振興基本計画策定に係る
アンケート調査結果

令和 8 年 7 月
白岡市教育委員会

目次

第1章 調査の概要	1
1.1 調査の目的と方法	2
1.1.1 調査の背景と目的	2
1.1.2 調査の対象と方法	2
1.1.3 調査期間	2
1.1.4 配布・回収状況	2
◆ 調査結果の見方について	3
第2章 調査結果	4
2.1 小学生調査（4・5・6年生）	5
2.1.1 基本情報	5
2.1.2 学校生活の楽しさと友人関係について	6
2.1.3 より良い学びの環境と相談体制について	8
2.1.4 生活習慣と読書、ネット利用について	11
2.1.5 地域へのかかわりと白岡市への愛着について	19
2.2 中学生調査（2・3年生）	21
2.2.1 基本情報	21
2.2.2 学校生活の楽しさと友人関係について	22
2.2.3 より良い学びの環境と相談体制について	24
2.2.4 生活習慣と読書、ネット利用について	27
2.2.5 地域へのかかわりと白岡市への愛着について	35
2.3 保護者調査	37
2.3.1 基本情報	37
2.3.2 お子さんの家庭学習とデジタル利用について	39
2.3.3 家庭教育のあり方と悩み・相談先について	40
2.3.4 これからの学校教育に期待すること	43
2.3.5 教育施設・設備と学校・地域の連携について	47
2.3.6 保護者の読書習慣について	50
2.4 教職員調査	53
2.4.1 基本情報	53
2.4.2 勤務環境とワークライフバランスについて	55

2.4.3	専門性の向上とこれからの教育施策について	58
2.4.4	学校施設の改善と地域連携について	62
2.5	一般市民調査	65
2.5.1	基本情報	65
2.5.2	生涯学習活動の現状と課題について	65
2.5.3	市の生涯学習施設のあり方について	69
2.5.4	生涯学習施設の利用と地域連携のあり方について	74
2.5.5	学校・家庭・地域の連携に関する現状認識と参加意向	76
2.6	社会教育関係団体	78
◆	調査結果の見方について	78
2.6.1	基本情報	78
2.6.2	団体の活動状況について	78
2.6.3	地域の家庭教育や社会教育の充実について	80
2.6.4	地域の団体と学校との連携について	83
2.6.5	家庭・地域・学校の連携について	86
2.6.6	その他	88

第 1 章 調査の概要

調査の目的と方法

1.1 調査の目的と方法

1.1.1 調査の背景と目的

本調査は、第4期白岡市教育振興基本計画を策定するにあたり、児童・生徒及びその保護者、教職員の学校教育に関する実態・意識の把握ならびに、市民、団体の生涯学習に関する実態・意識を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施した。

1.1.2 調査の対象と方法

調査対象者	調査方法
白岡市立小学校4・5・6年生の児童 白岡市立中学校2・3年生の生徒	2次元コードを読み込み、学習用携帯端末に質問を表示し、直接入力。
白岡市立小学校4・5・6年生の保護者 白岡市立中学校2・3年生の保護者	学校と家庭を結ぶ「C4th Home & School」アプリにおいて、子ども1人につき、各家庭1回の回答を依頼。
市立小学校・中学校の教職員	2次元コードを読み込み、端末に質問を表示し、直接入力。
一般市民	市公式LINEでアンケートURL配信及び駅掲示板や市内の公共施設へ掲示したポスターにアンケートURL等を表示し、関心のある市民の回答を得た。
社会教育関係団体	調査用紙を配布し、郵送回収。

1.1.3 調査期間

令和8年5月11日（月）～5月22日（金）
（社会教育関係団体は令和8年3月26日（木）～4月20日（月））

1.1.4 配布・回収状況

調査区分	調査対象	対象者数	回答数	回答率等
児童	小学4年生、5年生、6年生	1,303名	1,249名	95.9%
生徒	中学2年生、3年生	840名	714名	85.0%
保護者	対象児童生徒の保護者	1,406名	657名	46.7%
教職員	白岡市立小・中学校全教職員	270名	187名	69.3%
市民	一般市民及び市内の公共施設利用者	—	173名	—
社会教育関係団体		7団体	7団体	100%

◆ 調査結果の見方について

- 集計した数値（％）は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。このため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）を全て合計しても、四捨五入の関係で100％にならない場合があります。
- 複数回答の場合、回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、各選択肢の割合を合計すると100％を超える場合があります。
- 回答結果を見やすくするために、グラフや表等で回答のなかった選択肢や無回答など一部の項目を省略している場合があります。

第2章 調査結果

小学生調査（4・5・6年生）

中学生調査（2・3年生）

保護者調査

教職員調査

一般市民調査

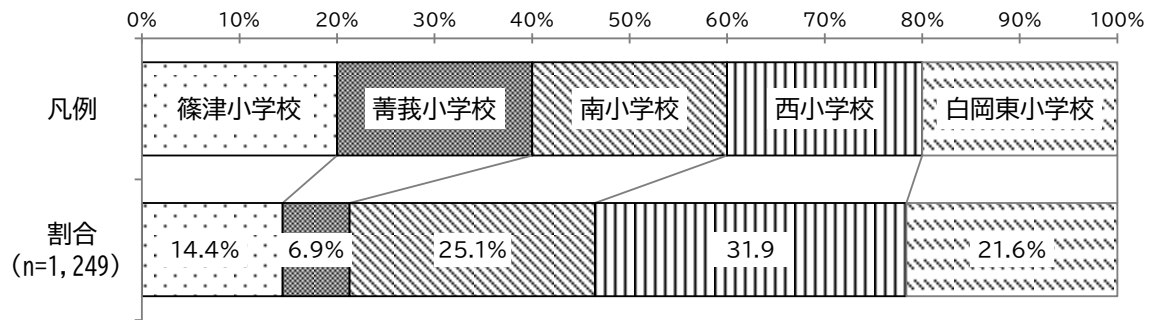
社会教育関係団体

2.1 小学生調査（4・5・6年生）

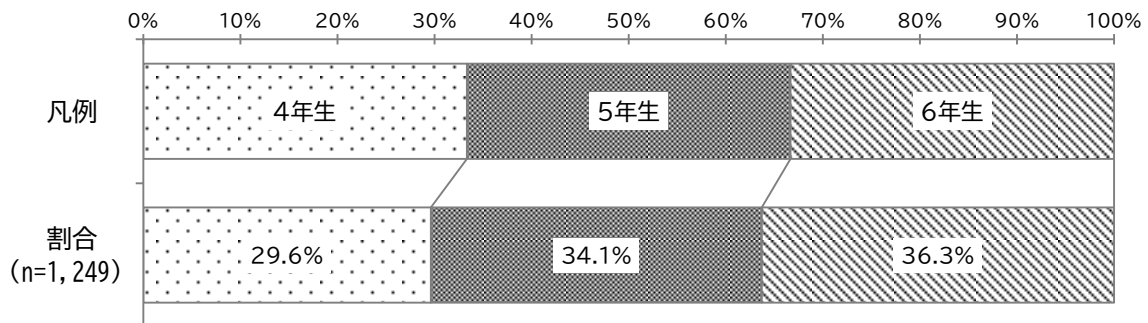
2.1.1 基本情報

問1. どの学校に通っていますか。

「篠津小学校」が14.4%、「菁莪小学校」が6.9%、「南小学校」が25.1%、「西小学校」が31.9%、「白岡東小学校」が21.6%となっている。



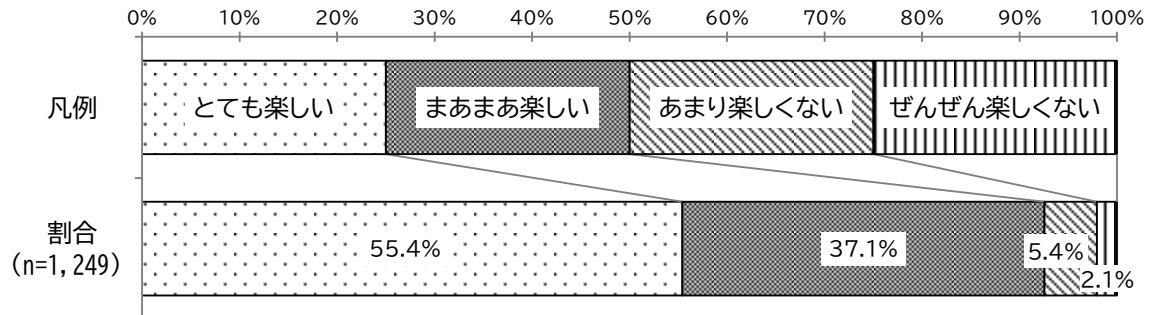
学年は、「4年生」が29.6%、「5年生」が34.1%、「6年生」が36.3%となっている。



2.1.2 学校生活の楽しさと友人関係について

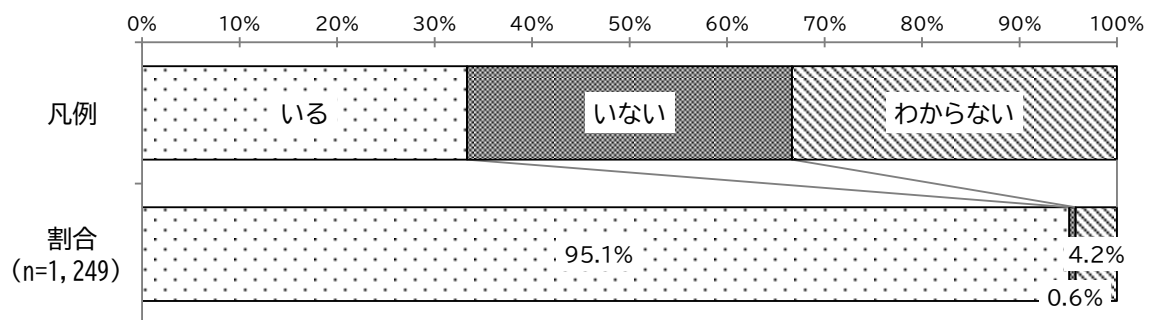
問2. 学校は楽しいですか。

「とても楽しい」が55.4%、「まあまあ楽しい」が37.1%となっている。



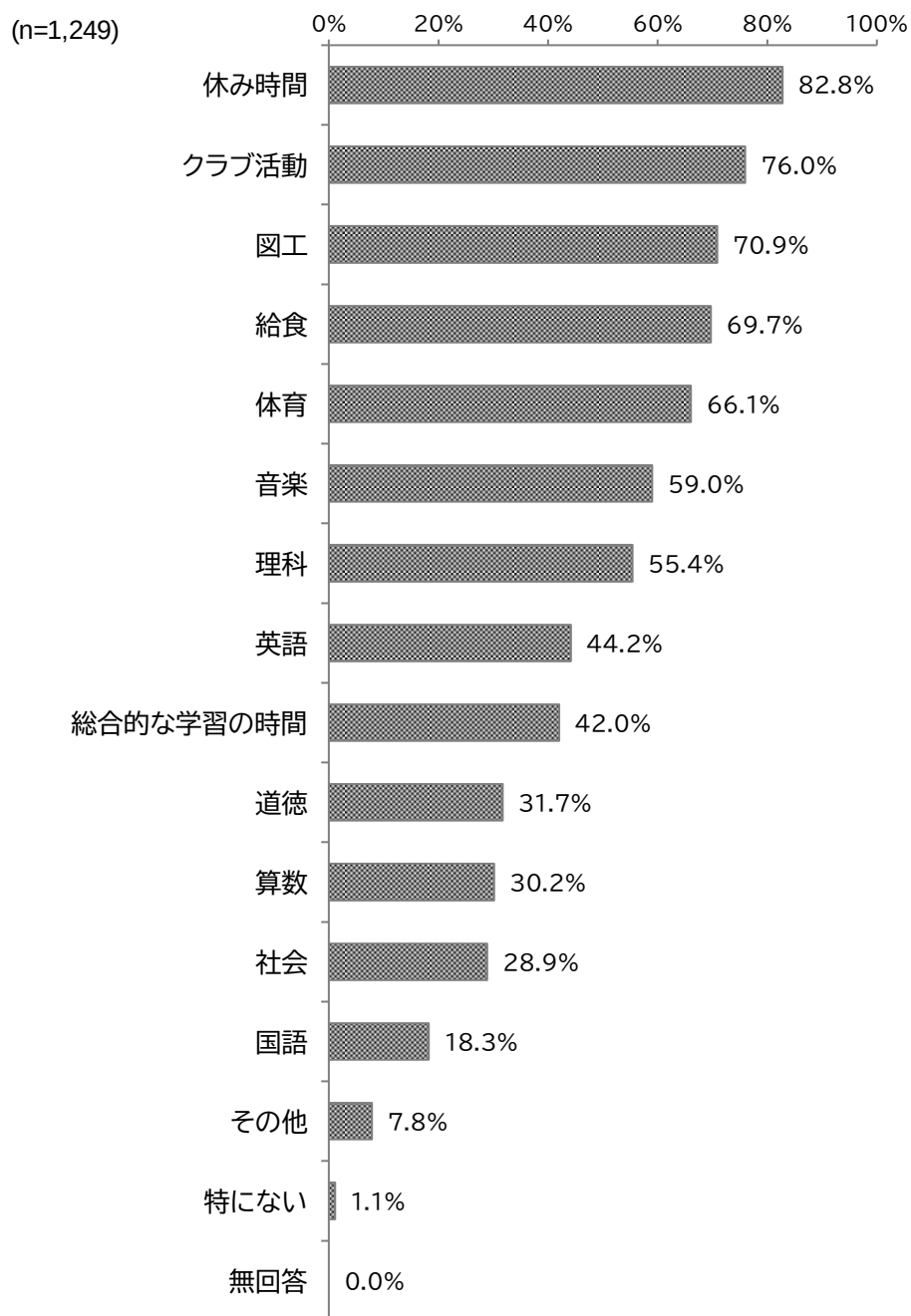
問3. 学校に、一緒にいて安心できる友達や、仲の良い友達はいますか。

「いる」が95.1%、「いない」が0.6%、「わからない」が4.2%となっている。



問4. 学校で楽しみな授業や活動は何ですか。
(あてはまるものすべて選んでください。)

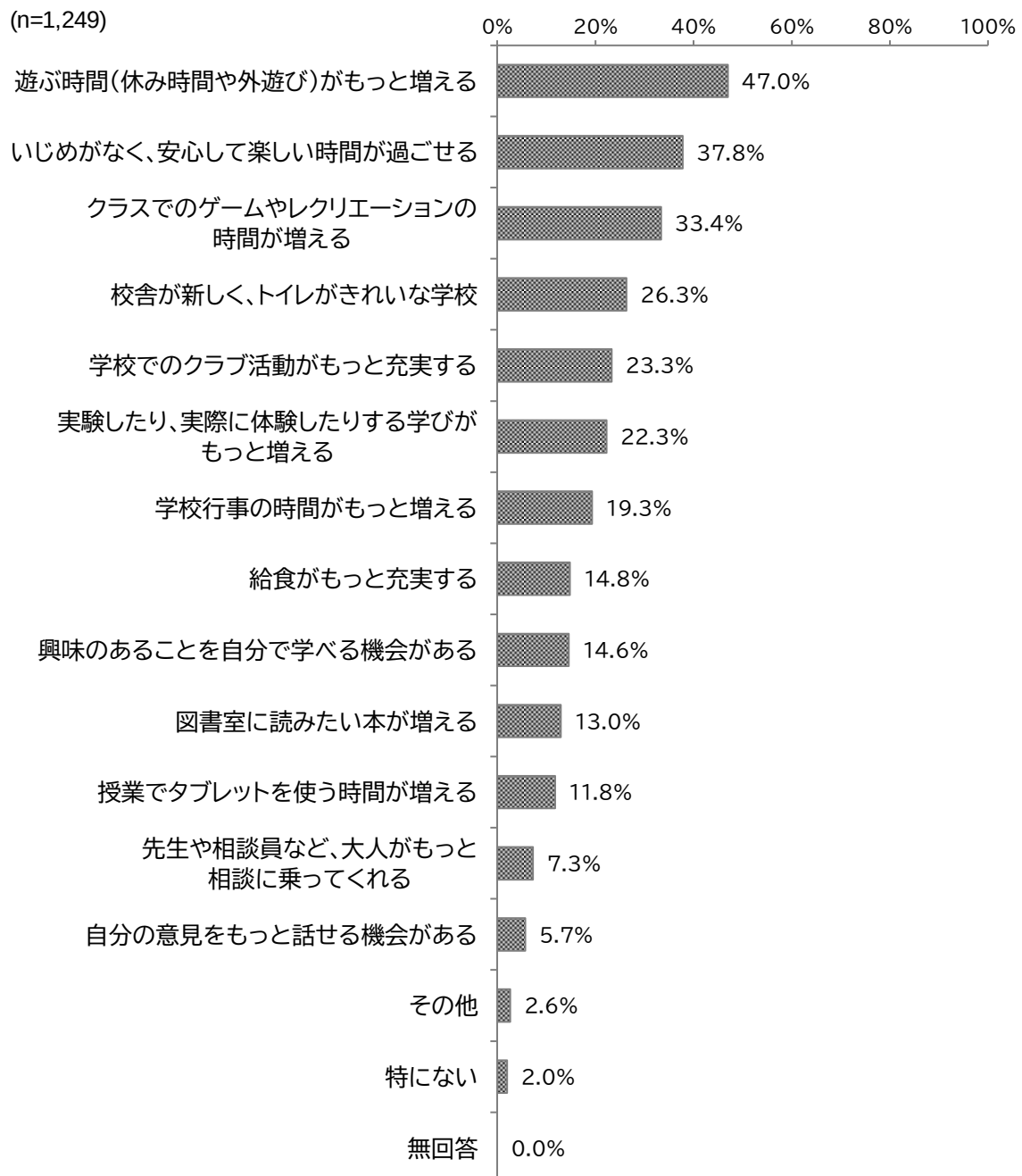
「休み時間」が 82.8%で最も多く、次いで「クラブ活動」76.0%、「図工」70.9%、「給食」69.7%となっている。



2.1.3 より良い学びの環境と相談体制について

問5. 学校がもっと過ごしやすくなるために、どんなことがあれば良いですか。
(3つまで選んでください。)

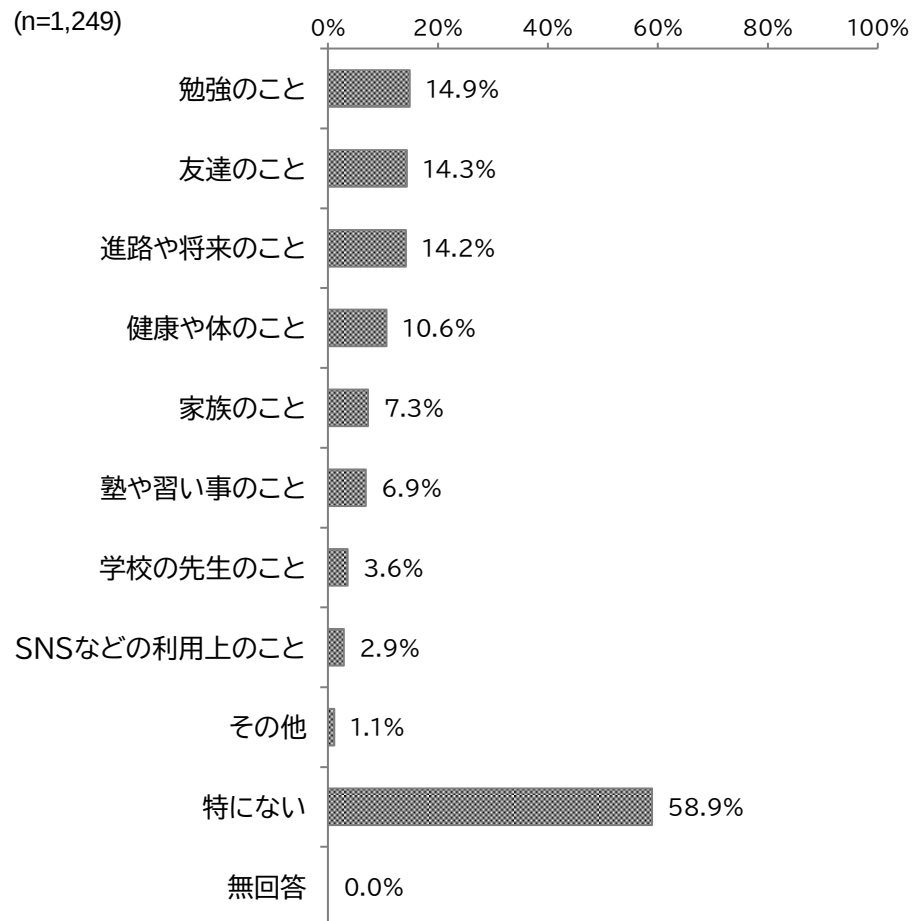
「遊ぶ時間（休み時間や外遊び）がもっと増える」が47.0%で最も多く、次いで「いじめがなく、安心して楽しい時間が過ごせる」37.8%、「クラスでのゲームやレクリエーションの時間が増える」33.4%、「校舎が新しく、トイレがきれいな学校」26.3%となっている。



問6. 困っていることや不安に感じていることはありますか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

「勉強のこと」が14.9%で最も多く、次いで「友達のこと」14.3%、「進路や将来のこと」14.2%、「健康や体のこと」10.6%となっている。また、「特にない」が58.9%となっている。

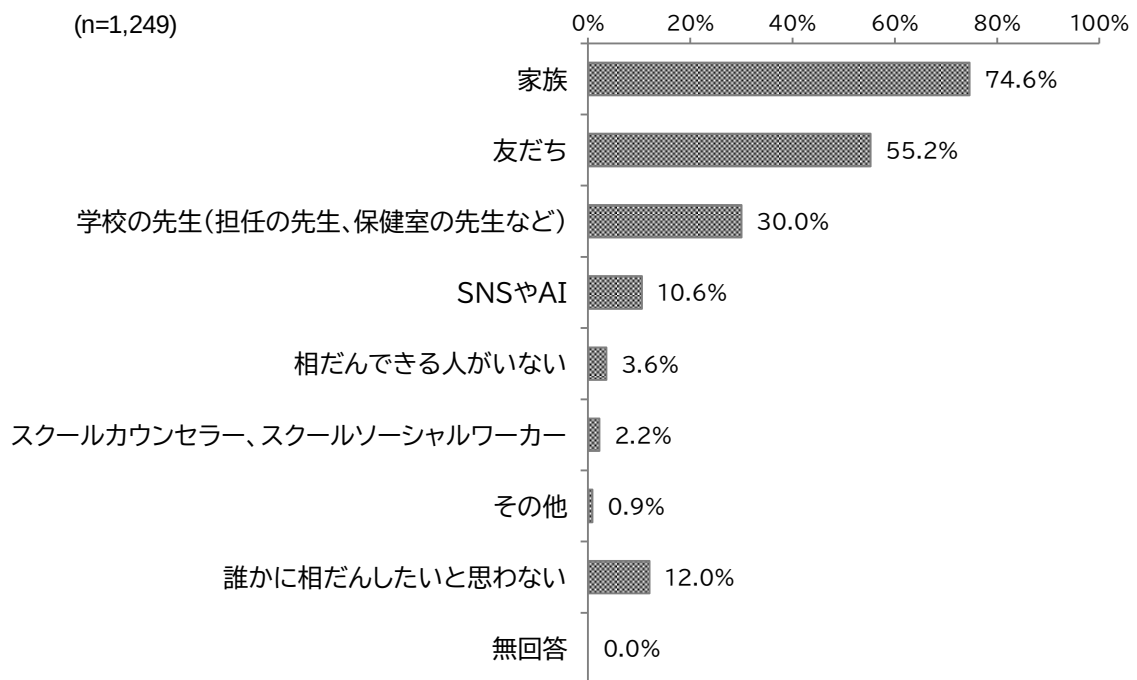


第2章 調査結果 2.1 小学生調査

問7. 困ったことがあった場合、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

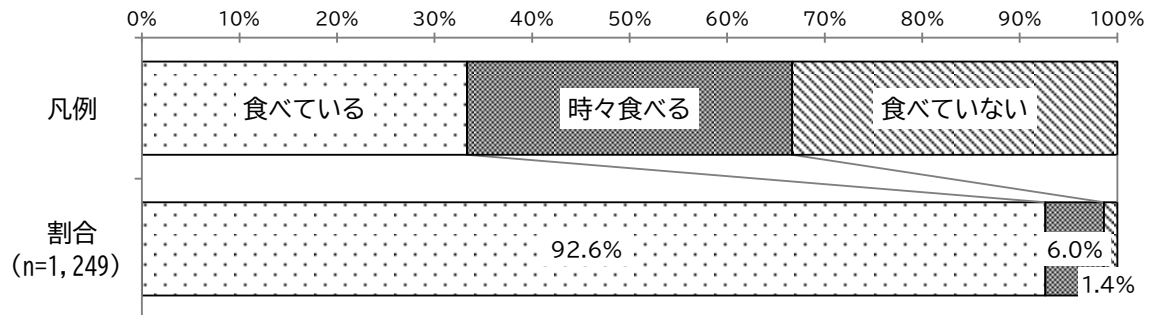
「家族」が74.6%で最も多く、次いで「友だち」55.2%、「学校の先生(担任の先生、保健室の先生など)」30.0%、「SNSやAI」10.6%となっている。また、「相談できる人がいない」が3.6%、「誰かに相談したいと思わない」が12.0%となっている。



2.1.4 生活習慣と読書、ネット利用について

問8. 朝食を食べていますか。

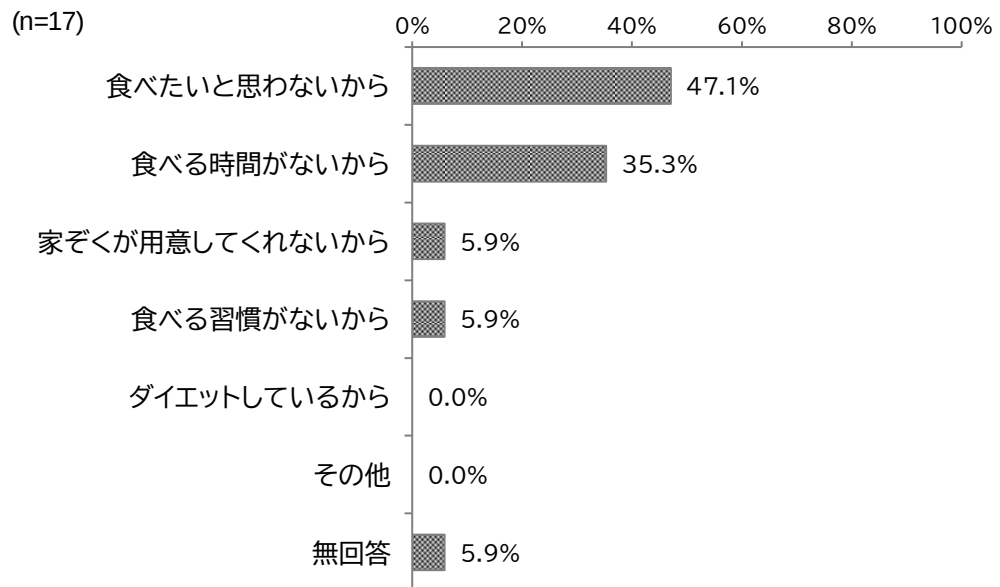
「食べている」が92.6%、「時々食べる」が6.0%、「食べていない」が1.4%となっている。



★（問8で「食べていない」を選択した回答者）

問8-1. その理由を教えてください。（あてはまるものすべてえらんでください。）

「食べたいと思わないから」が47.1%で最も多く、次いで「食べる時間がないから」が35.3%となっている。

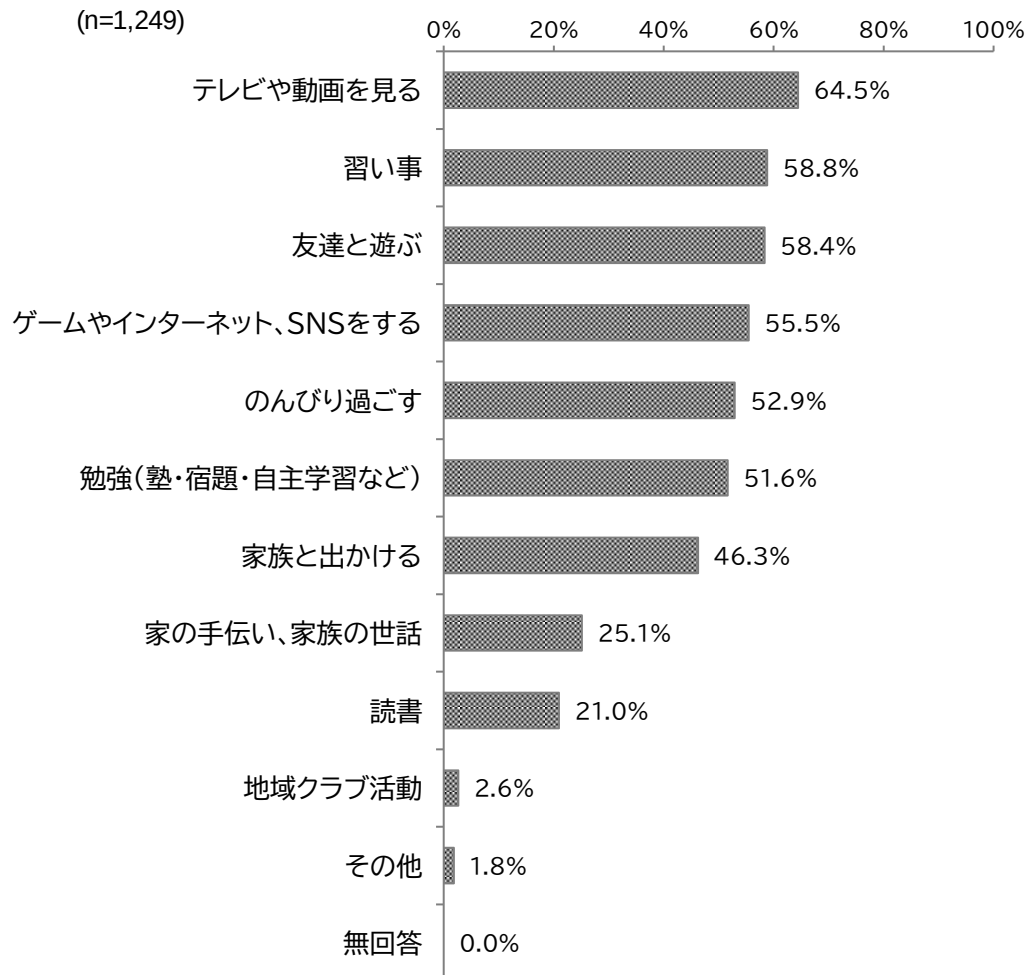


第2章 調査結果 2.1 小学生調査

問9. 放課後や休みの日は、主に何をしていますか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

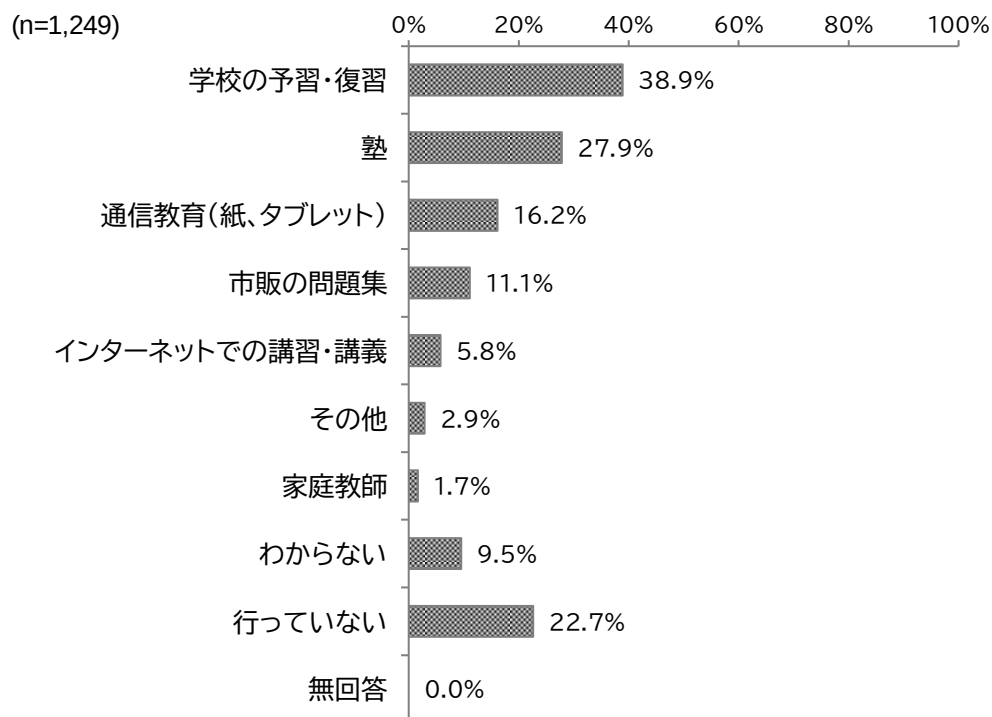
「テレビや動画を見る」が 64.5%で最も多く、次いで「習い事」58.8%、「友達と遊ぶ」58.4%、「ゲームやインターネット、SNSをする」55.5%となっている。



問 10. 学校の授業以外で、以下のような学習を行っていますか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

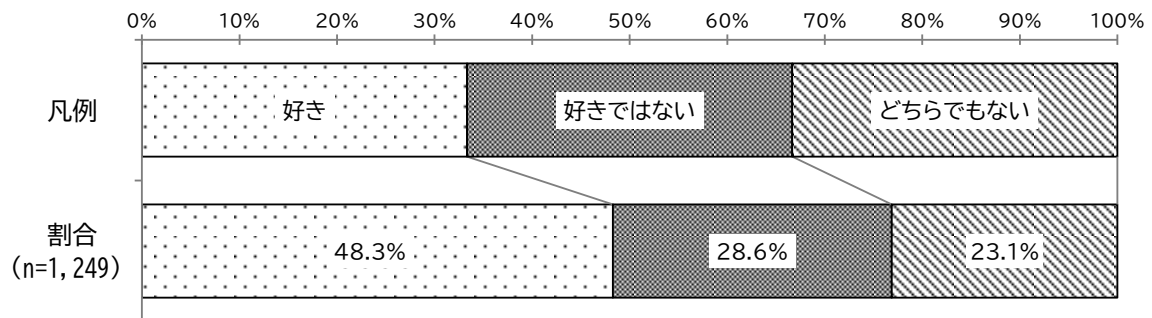
「学校の予習・復習」が 38.9%で最も多く、次いで「塾」27.9%、「通信教育（紙、タブレット）」16.2%、「市販の問題集」11.1%となっている。また、「行っていない」が 22.7%となっている。



第2章 調査結果 2.1 小学生調査

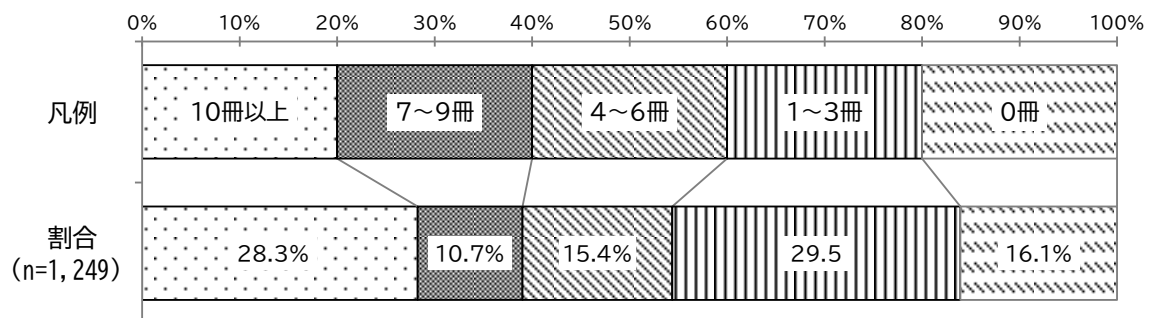
問 11. 本を読むことは好きですか。

「好き」が 48.3%、「好きではない」が 28.6%、「どちらでもない」が 23.1%となっている。



問 12. 1 か月にどのくらい本を読みますか。(漫画、雑誌、電子書籍も含みます。)

「1～3冊」が 29.5%で最も多く、次いで「10冊以上」29.5%、「0冊」16.1%、「4～6冊」15.4%となっている。

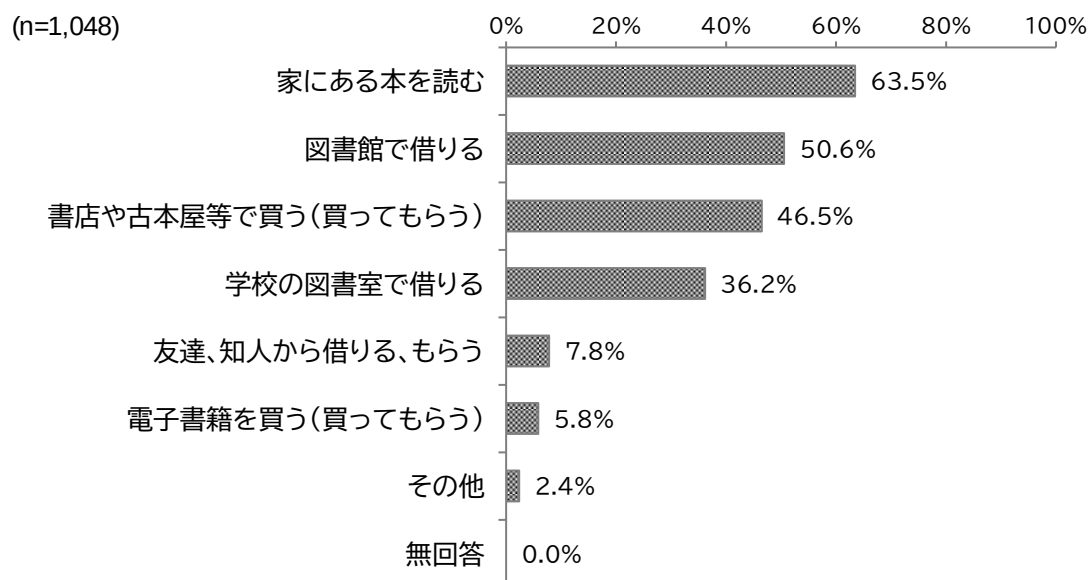


★（問 12 で、「10 冊以上」「7～9冊」「4～6冊」「1～3冊」を選択した回答者）

問 12-1-A. 主にどこから本を手に入れていますか。

（あてはまるものすべて選んでください。）

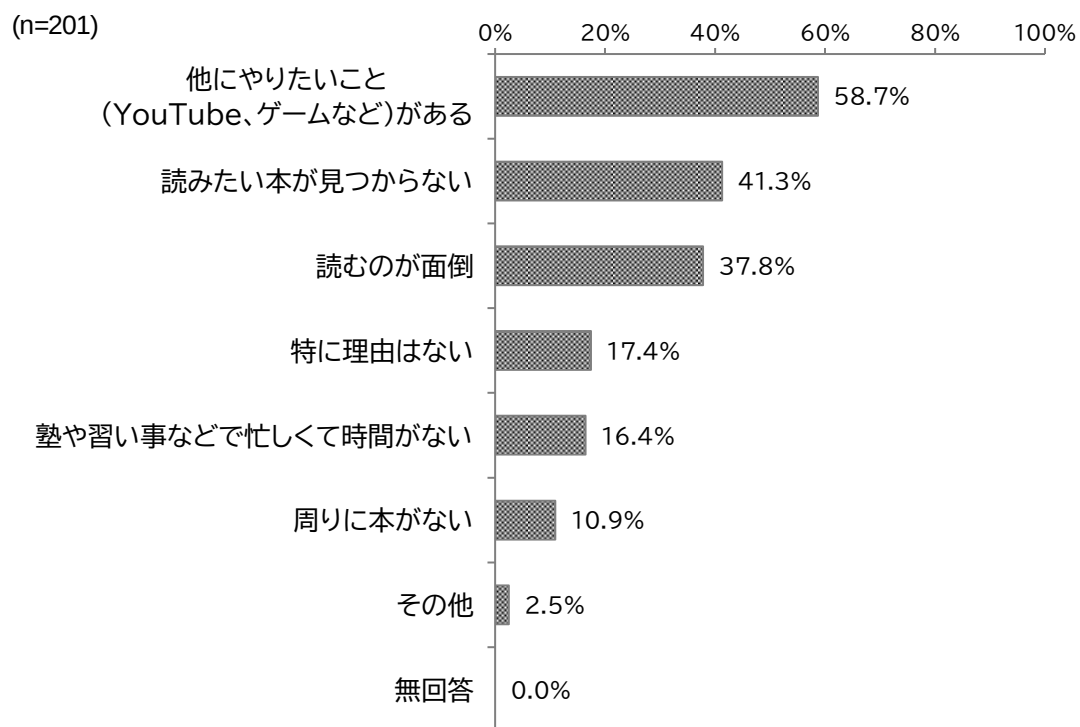
「家にある本を読む」が 63.5%で最も多く、次いで「図書館で借りる」50.6%、「書店や古本屋等で買う（買ってもらう）」46.5%、「学校の図書室で借りる」36.2%となっている。



☆（問 12 で、「0冊」を選択した回答者）

問 12-1-B. その理由も教えてください。(あてはまるものすべて選んでください。)

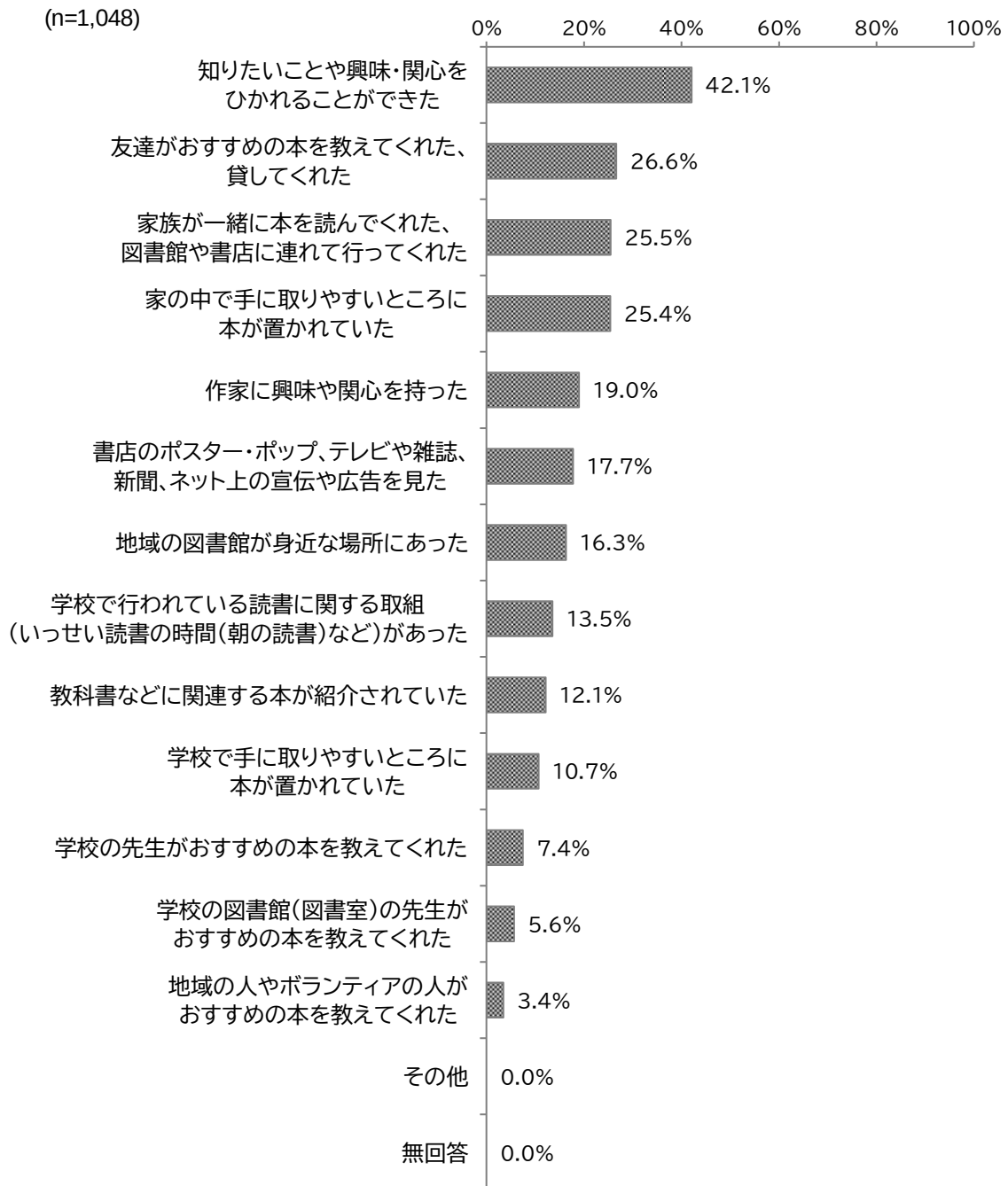
「他にやりたいこと (YouTube、ゲームなど)がある」が 58.7%で最も多く、次いで「読みたい本が見つからない」41.3%、「読むのが面倒」37.8%、「特に理由はない」17.4%となっている。



★（問 12 で、「10 冊以上」「7～9 冊」「4～6 冊」「1～3 冊」を選択した回答者）

問 12-2. 本を読むきっかけは何ですか。（あてはまるものすべて選んでください。）

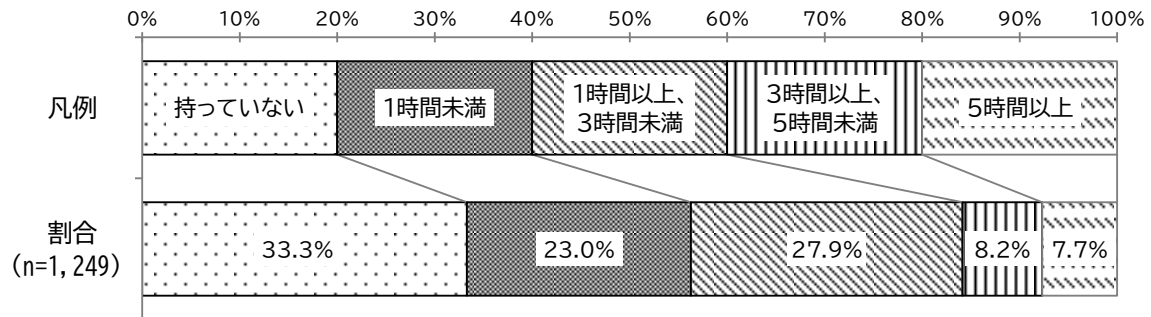
「知りたいことや興味・関心をひかれることができた」が 42.1%で最も多く、次いで「友達がおすすめの本を教えてくれた、貸してくれた」26.6%、「家族と一緒に本を読んでもくれた、図書館や書店に連れて行ってくれた」25.5%、「家の中で手に取りやすいところに本が置かれていた」25.4%となっている。



第2章 調査結果 2.1 小学生調査

問 13. 携帯電話やスマートフォンを1日どのくらい使いますか。

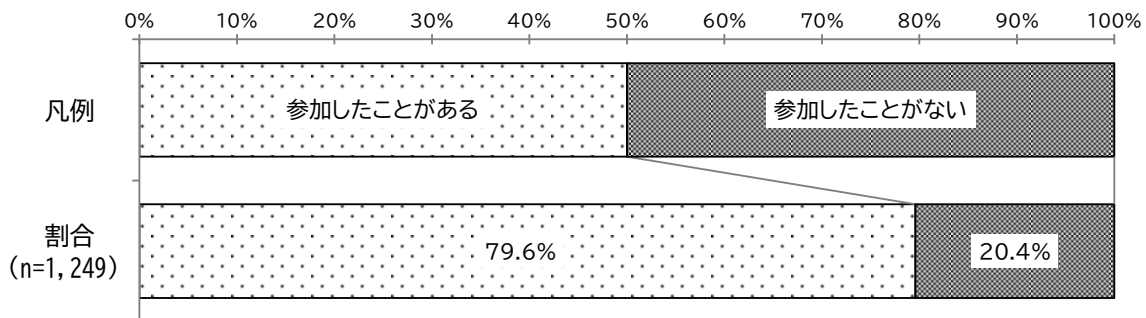
「持っていない」が33.3%で最も多く、「1時間以上3時間未満」が27.9%、「1時間未満」が23.0%、「3時間以上5時間未満」が8.2%、「5時間以上」が7.7%となっている。



2.1.5 地域へのかかわりと白岡市への愛着について

問 14. あなたは、この 1 年間に地域のイベントや行事（お祭りやごみ拾いなど）に参加したことがありますか。

「参加したことがある」が 79.6%、「参加したことがない」が 20.4%となっている。

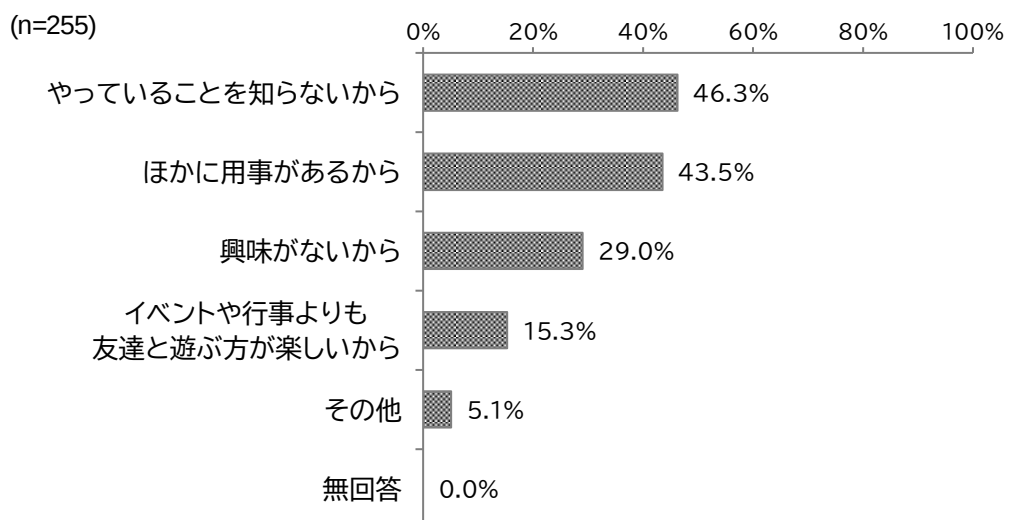


★（問 14 で、「参加したことがない」を選択した回答者）

問 14-1. 「参加したことがない」理由を教えてください。

（あてはまるものすべてえらんでください。）

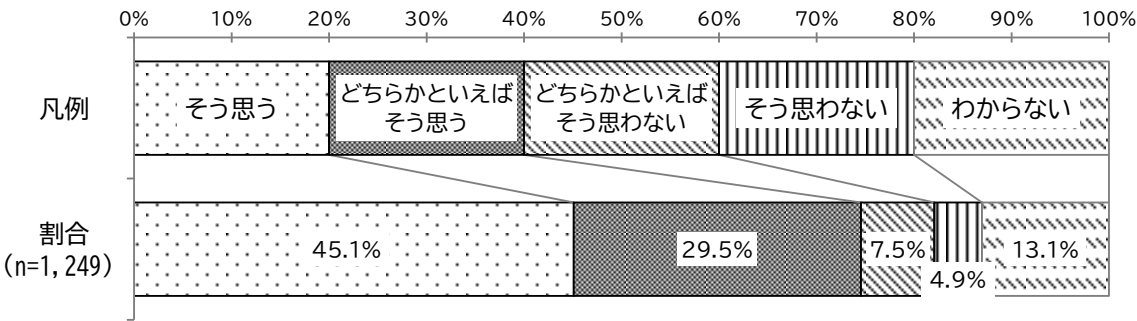
「やっていることを知らないから」が 46.3%で最も多く、次いで「ほかに用事があるから」43.5%、「興味がないから」29.0%、「イベントや行事よりも友達と遊ぶ方が楽しいから」15.3%となっている。



第2章 調査結果 2.1 小学生調査

問 15. あなたは、大人になっても白岡市に関わっていたい(住む、遊びに来る、働くなど)と思いますか。

「そう思う」が45.1%、「どちらかといえばそう思う」が29.5%となっており、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が7割以上となっている。また、「わからない」が13.1%となっている。

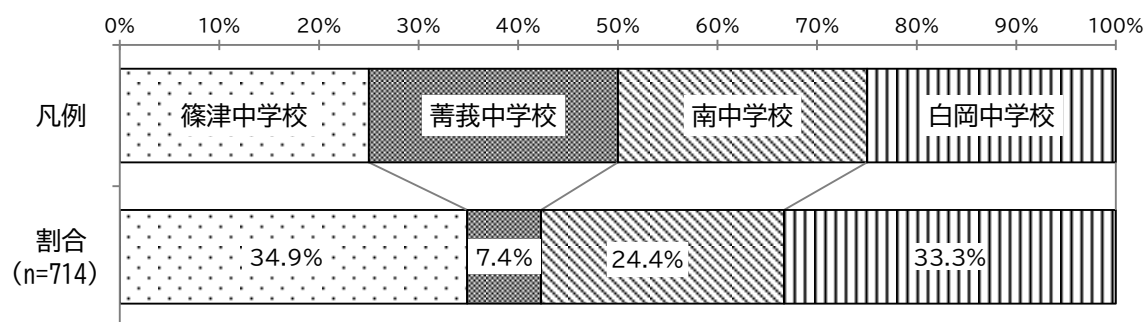


2.2 中学生調査（2・3年生）

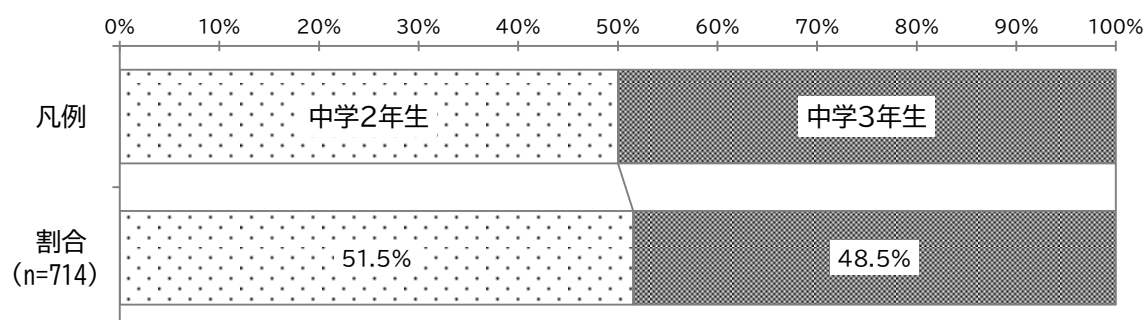
2.2.1 基本情報

問1. どの学校に通っていますか。

「篠津中学校」が34.9%、「菁莪中学校」が7.4%、「南中学校」が24.4%、「白岡小学校」が33.3%となっている。



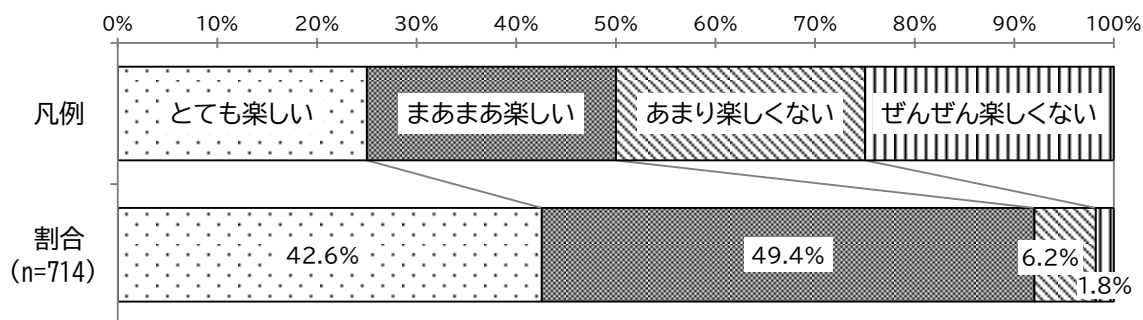
学年は、「中学2年生」が51.5%、「中学3年生」が48.5%となっている。



2.2.2 学校生活の楽しさと友人関係について

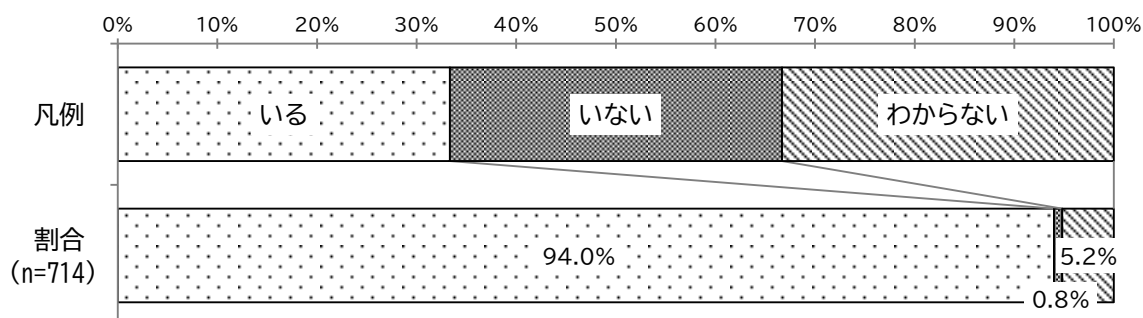
問2. 学校は楽しいですか。

「とても楽しい」が42.6%、「まあまあ楽しい」が49.4%となっており、「とても楽しい」「まあまあ楽しい」の合計が9割以上となっている。



問3. 学校に、一緒にいて安心できる友達や、仲の良い友達はいませんか。

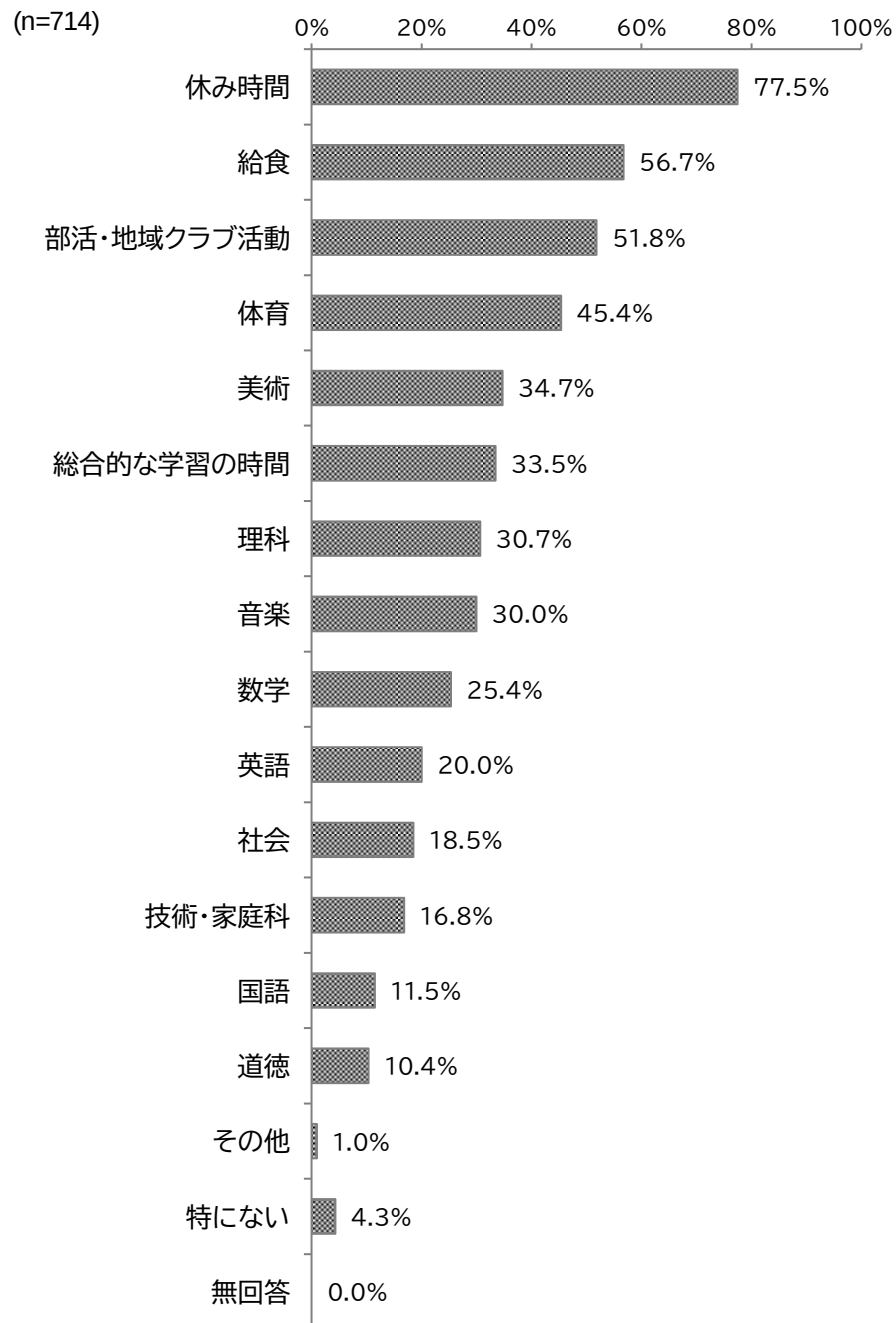
「いる」が94.0%、「いない」が0.8%、「わからない」が5.2%となっている。



問4. 学校で楽しい授業や活動は何ですか。

(あてはまるものすべてを選んでください。)

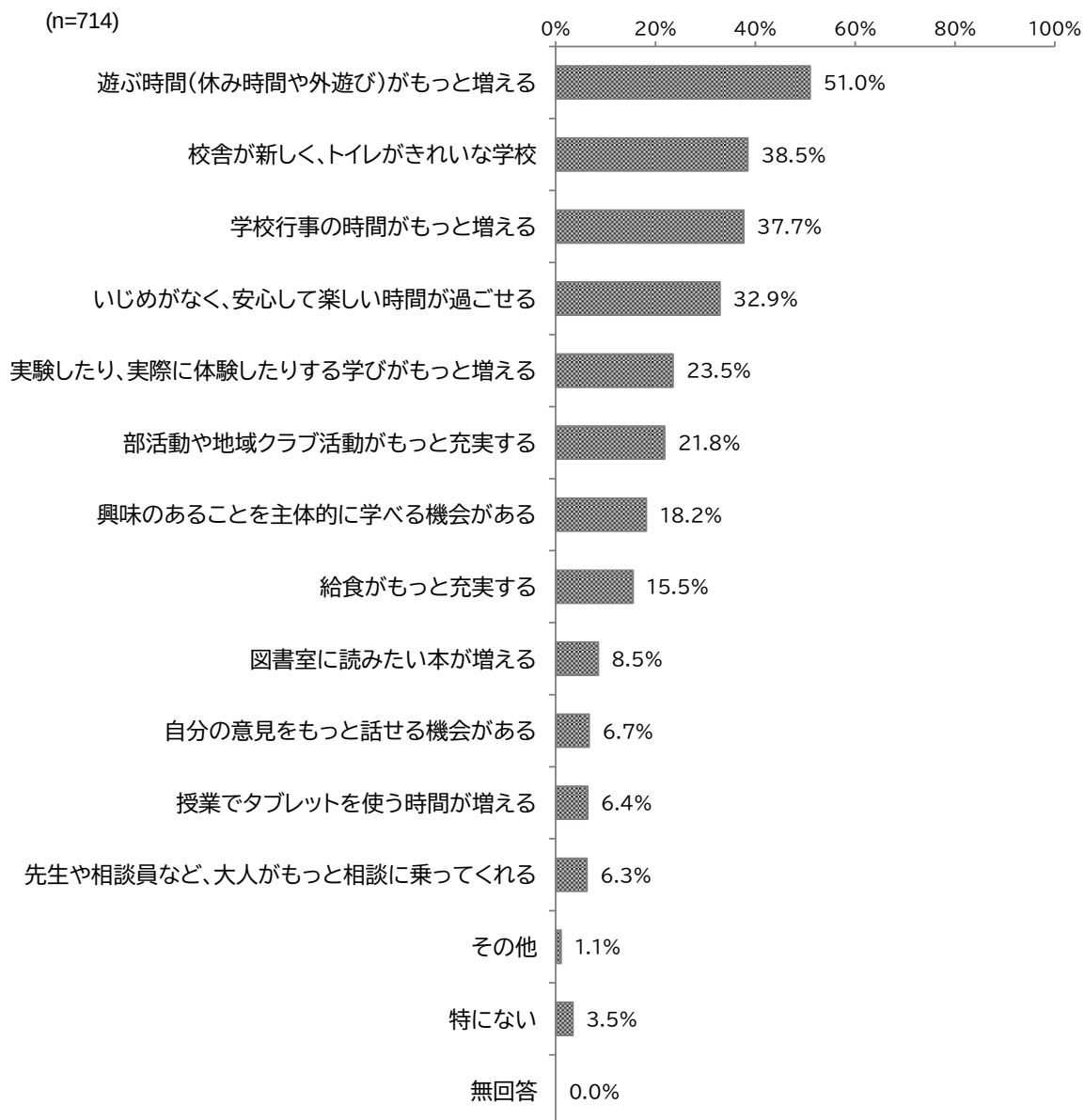
「休み時間」が77.5%で最も多く、次いで「給食」56.7%、「部活・地域クラブ活動」51.8%、「体育」45.4%となっている。



2.2.3 より良い学びの環境と相談体制について

問5. 学校がもっと過ごしやすくなるために、どんなことがあれば良いですか。
(3つまで選んでください。)

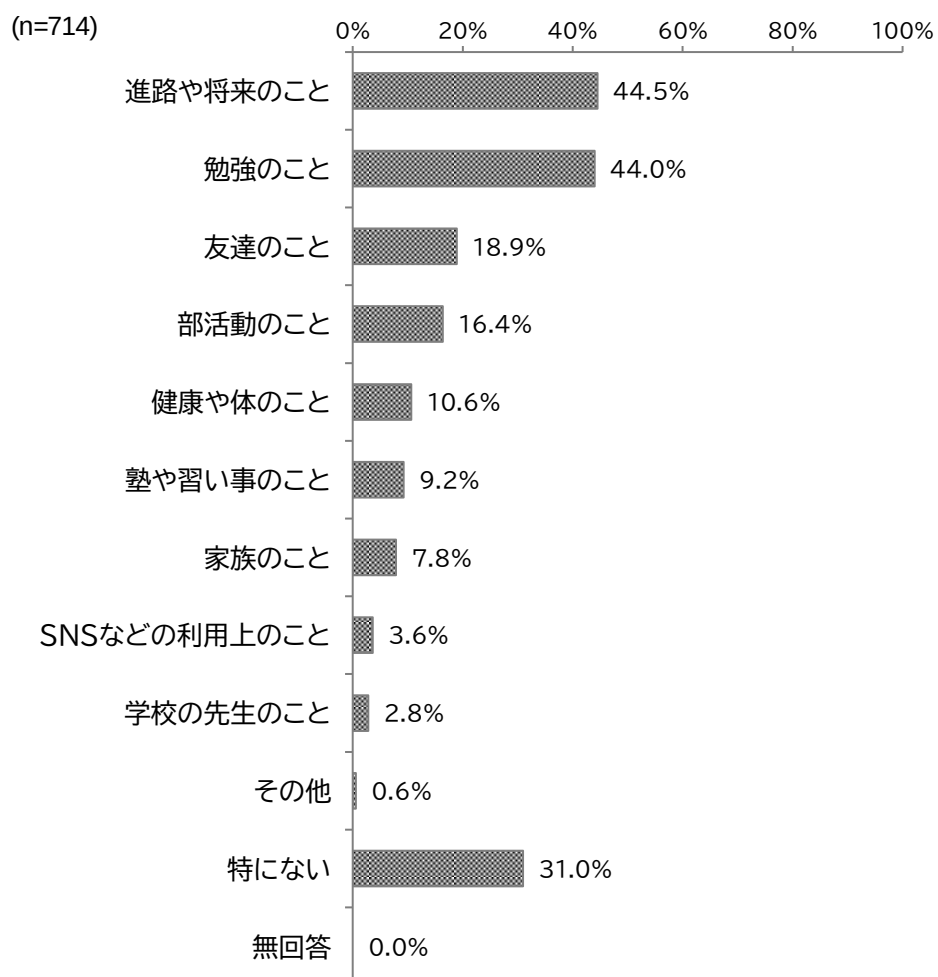
「遊ぶ時間（休み時間や外遊び）がもっと増える」が51.0%で最も多く、次いで「校舎が新しく、トイレがきれいな学校」38.5%、「学校行事の時間がもっと増える」37.7%、「いじめがなく、安心して楽しい時間が過ごせる」32.9%となっている。



問6. 困っていることや不安に感じていることはありますか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

「進路や将来のこと」が44.5%で最も多く、次いで「勉強のこと」44.0%、「友達のこと」18.9%、「部活動のこと」16.4%となっている。また、「特にない」が31.0%となっている。

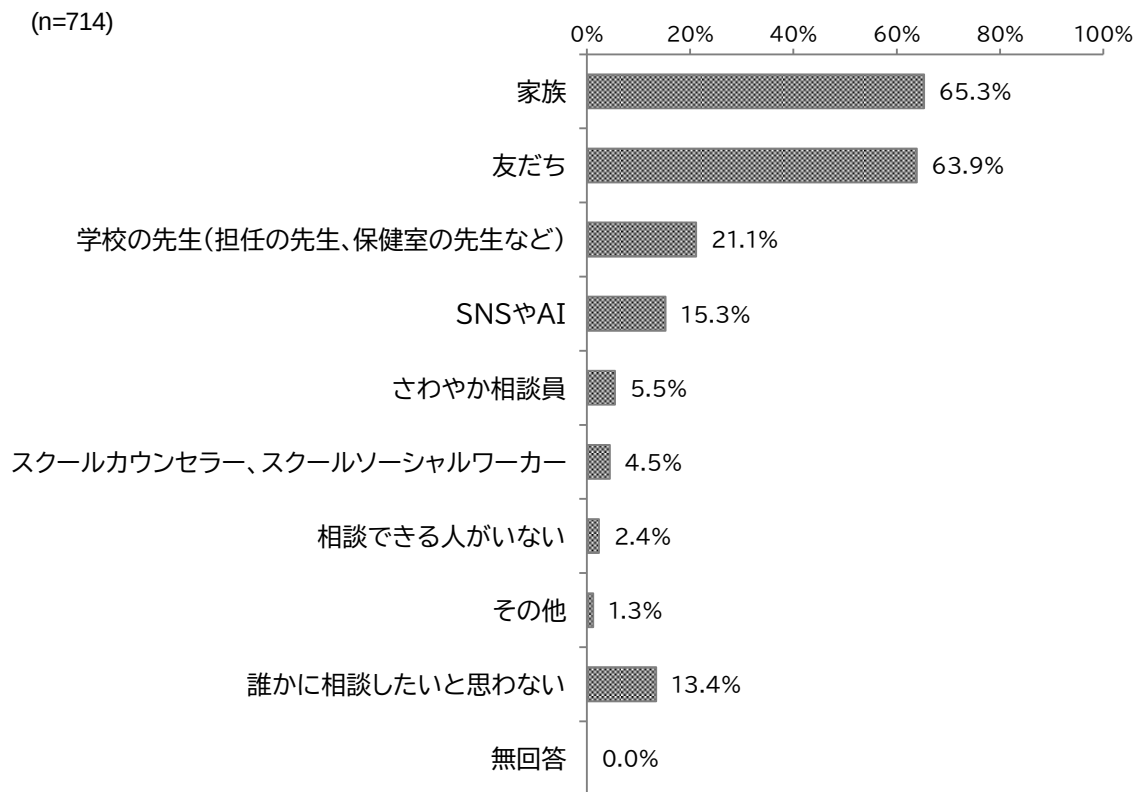


第2章 調査結果 2.2 中学生調査

問7. 困ったことがあった場合、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

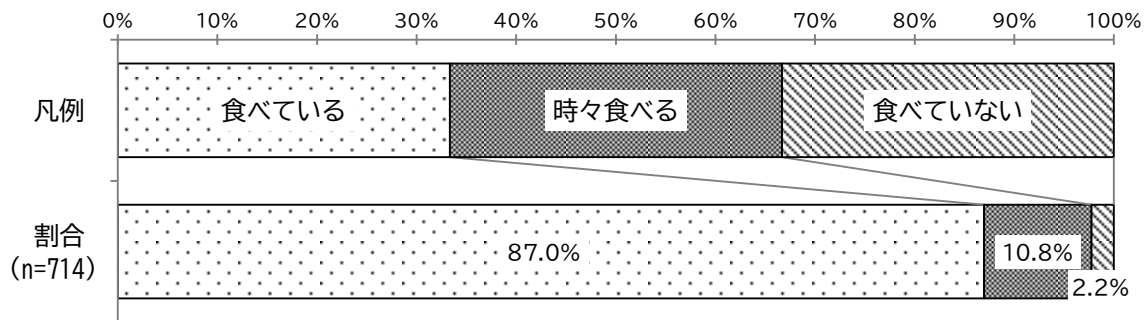
「家族」が65.3%で最も多く、次いで「友だち」63.9%、「学校の先生(担任の先生、保健室の先生など)」21.1%、「SNSやAI」15.3%となっている。また、「相談できる人がいない」が2.4%、「誰かに相談したいと思わない」が13.4%となっている。



2.2.4 生活習慣と読書、ネット利用について

問8. 朝食を食べていますか。

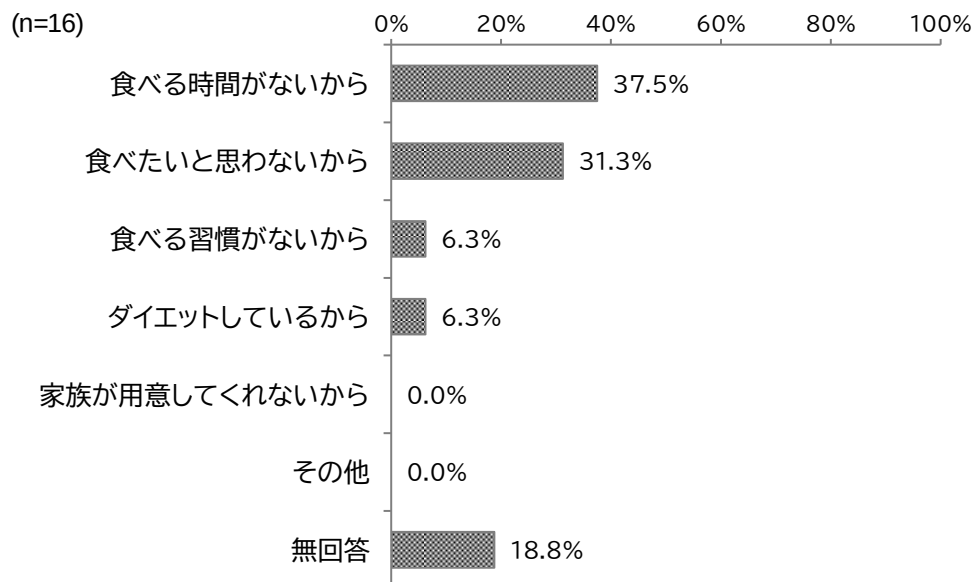
「食べている」が87.0%、「時々食べる」が10.8%、「食べていない」が2.2%となっている。



★（問8で「食べていない」を選択した回答者）

問8-1. その理由を教えてください。（あてはまるものすべて選んでください。）

「食べる時間がないから」が37.5%で最も多く、次いで「食べたいと思わないから」が31.3%となっている。

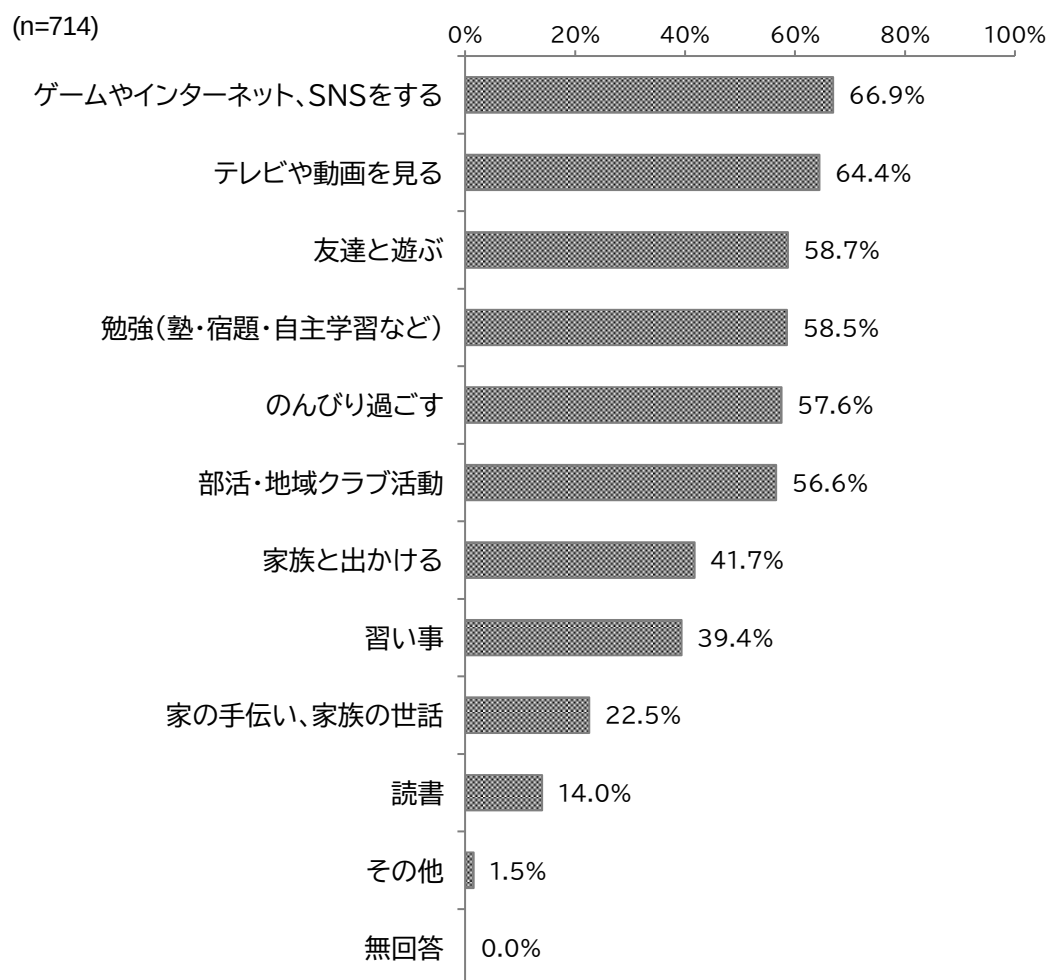


第2章 調査結果 2.2 中学生調査

問9. 放課後や休みの日は、主に何をしていますか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

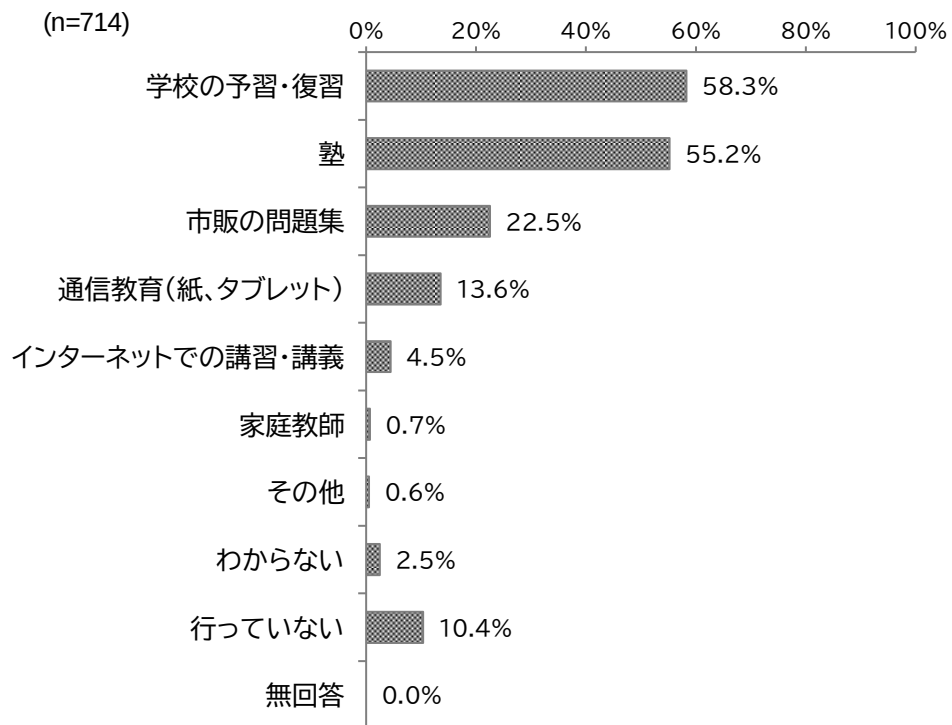
「ゲームやインターネット、SNSをする」が66.9%で最も多く、次いで「テレビや動画を見る」64.4%、「友達と遊ぶ」58.7%、「勉強(塾・宿題・自主学習など)」58.5%となっている。



問 10. 学校の授業以外で、以下のような学習を行っていますか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

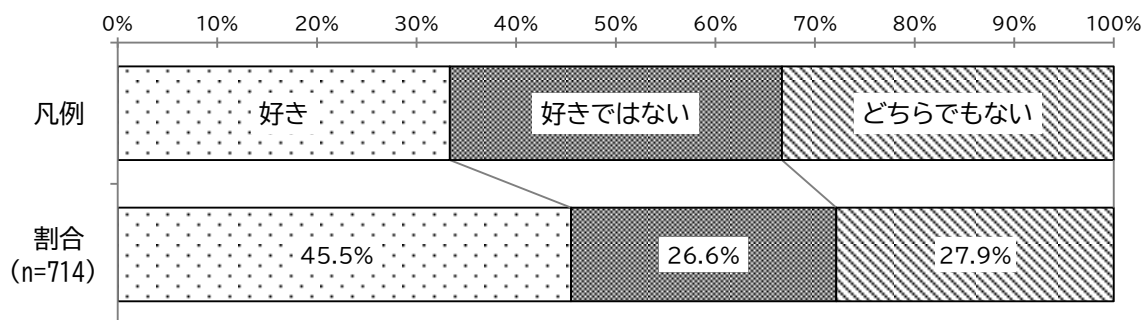
「学校の予習・復習」が 58.3%で最も多く、次いで「塾」55.2%、「市販の問題集」22.5%、「通信教育（紙、タブレット）」13.6%となっている。また、「行っていない」が 10.4%となっている。



第2章 調査結果 2.2 中学生調査

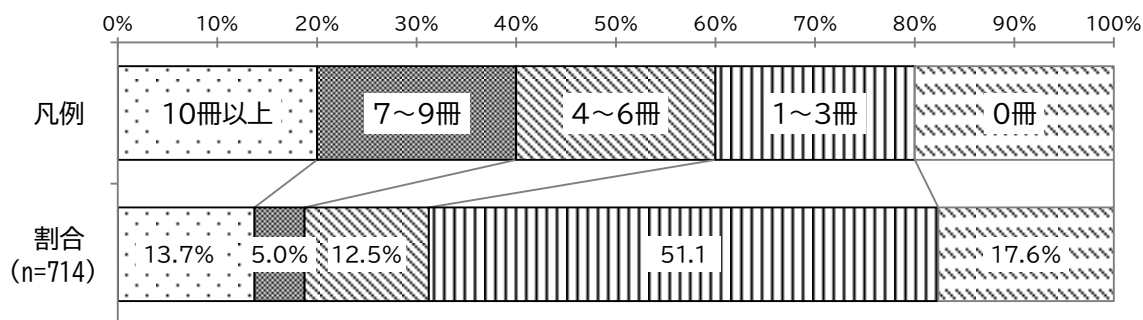
問 11. 本を読むことは好きですか。

「好き」が 45.5%、「好きではない」が 26.6%、「どちらでもない」が 27.9%となっている。



問 12. 1 か月にどのくらい本を読みますか。(マンガ、雑誌、電子書籍も含みます。)

「1～3冊」が 51.1%で最も多く、次いで「0冊」17.6%、「10冊以上」13.7%、「4～6冊」12.5%となっている。

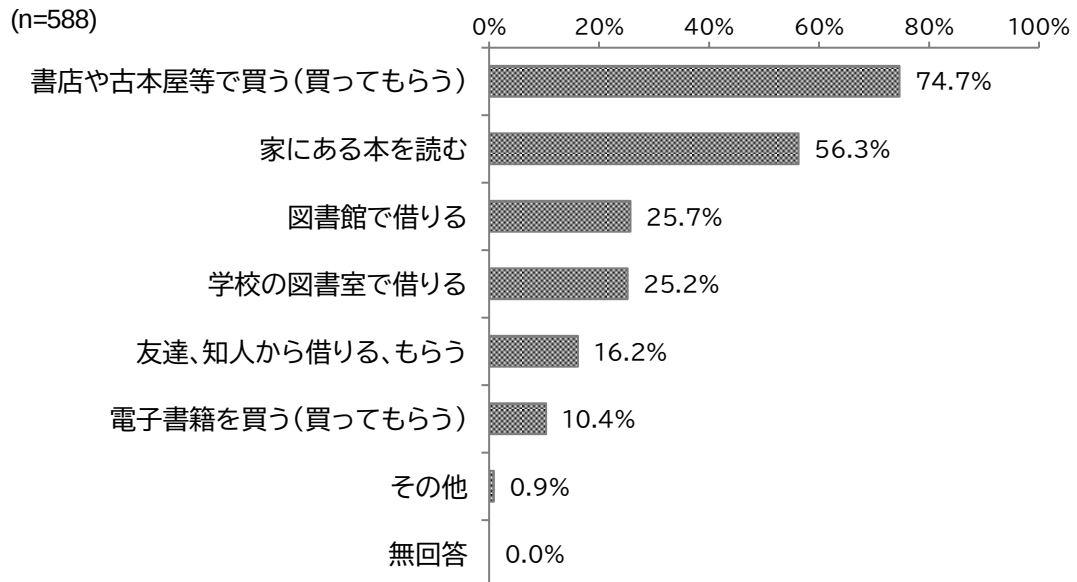


★（問 12 で、「10 冊以上」「7～9冊」「4～6冊」「1～3冊」を選択した回答者）

問 12-1-A. 主にどこから本を手に入れていますか。

（あてはまるものすべて選んでください。）

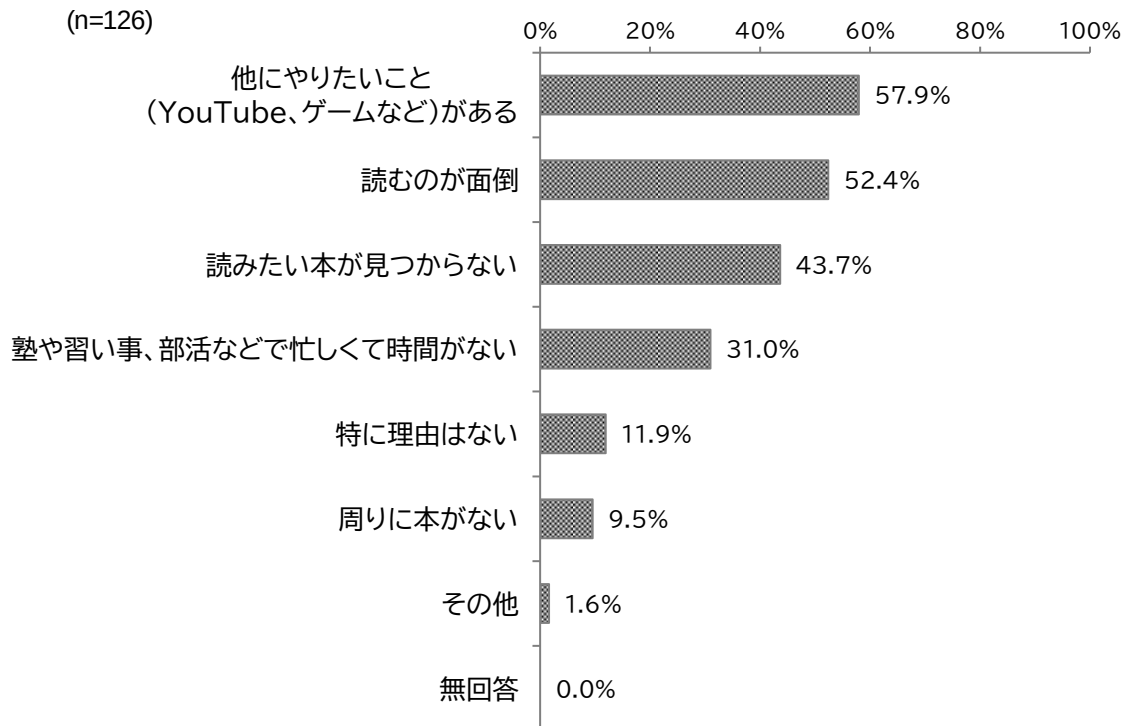
「書店や古本屋等で買う（買ってもらう）」が 74.7%で最も多く、次いで「家にある本を読む」56.3%、「図書館で借りる」25.7%、「学校の図書室で借りる」25.2%となっている。



☆（問 12 で、「0冊」を選択した回答者）

問 12-1-B. その理由も教えてください。(あてはまるものすべて選んでください。)

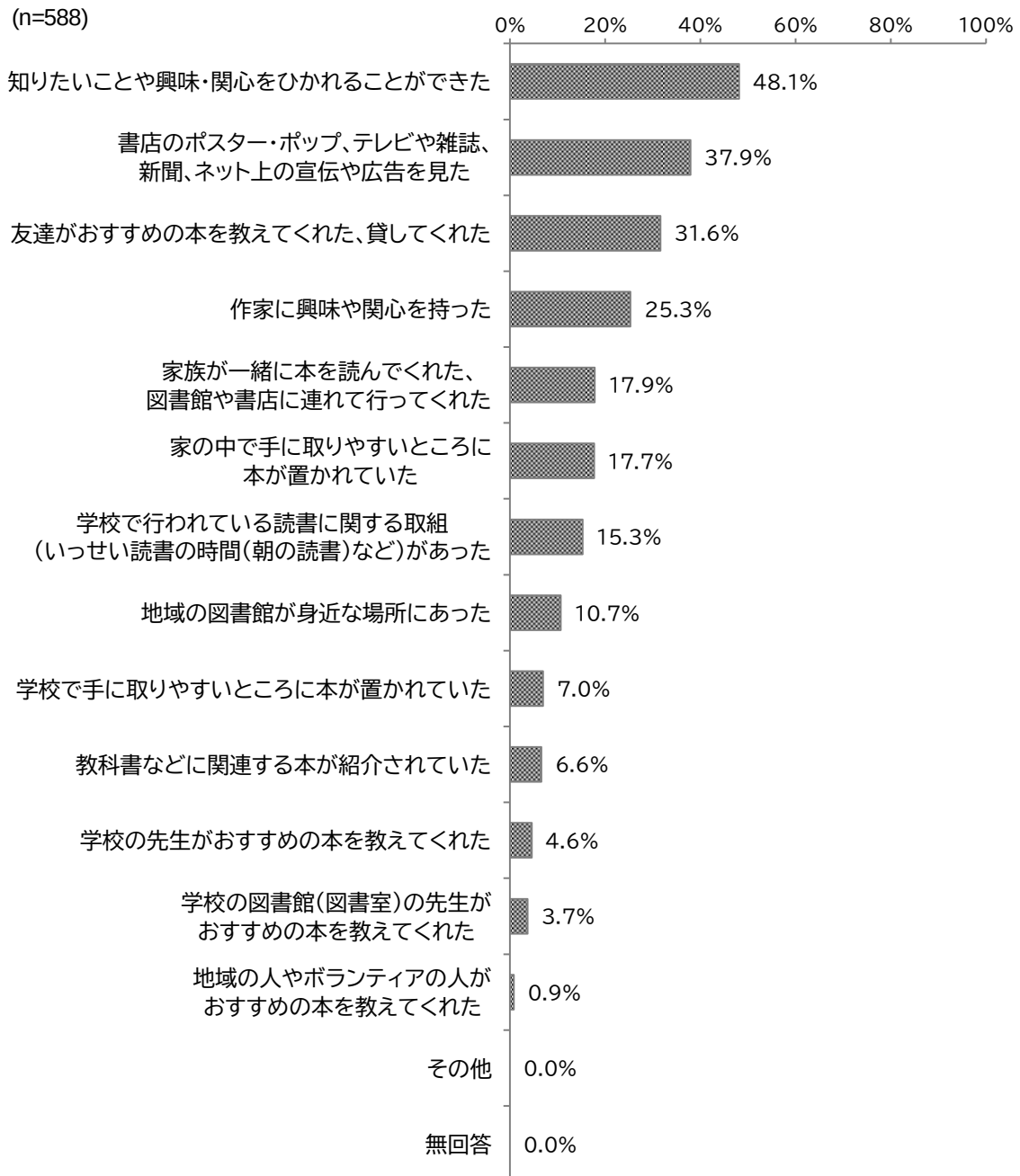
「他にやりたいこと(YouTube、ゲームなど)がある」が 57.9%で最も多く、次いで「読むのが面倒」52.4%、「読みたい本が見つからない」43.7%、「塾や習い事、部活などで忙しくて時間がない」31.0%となっている。



★（問12で、「10冊以上」「7～9冊」「4～6冊」「1～3冊」を選択した回答者）

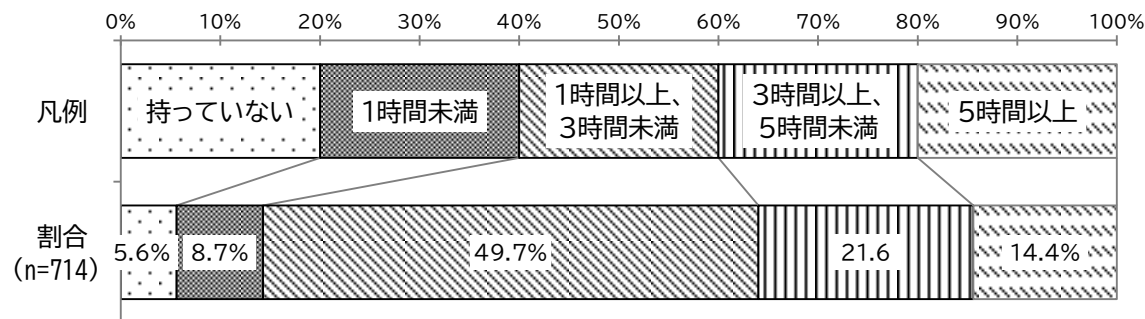
問12-2. 本を読むきっかけは何ですか。（あてはまるものすべて選んでください。）

「知りたいことや興味・関心をひかれることができた」が48.1%で最も多く、次いで「書店のポスター・ポップ、テレビや雑誌、新聞、ネット上の宣伝や広告を見た」37.9%、「友達がおすすめの本を教えてくれた、貸してくれた」31.6%、「作家に興味や関心を持った」25.3%となっている。



問 13. 携帯電話やスマートフォンを1日どのくらい使いますか。

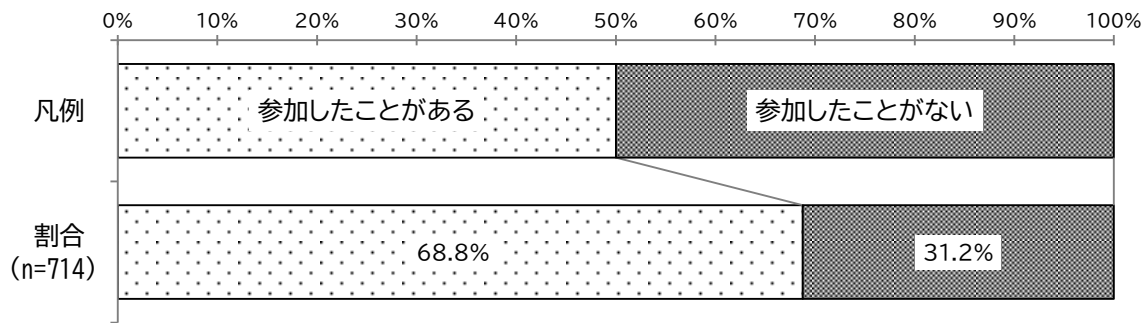
「1時間以上3時間未満」が49.7%で最も多く、「3時間以上5時間未満」が21.6%、「5時間以上」が14.4%、「1時間未満」が8.7%、「持っていない」が5.6%となっている。



2.2.5 地域へのかかわりと白岡市への愛着について

問 14. あなたは、この 1 年間に地域のイベントや行事（お祭りやごみ拾いなど）に参加したことがありますか。

「参加したことがある」が 68.6%、「参加したことがない」が 31.2%となっている。

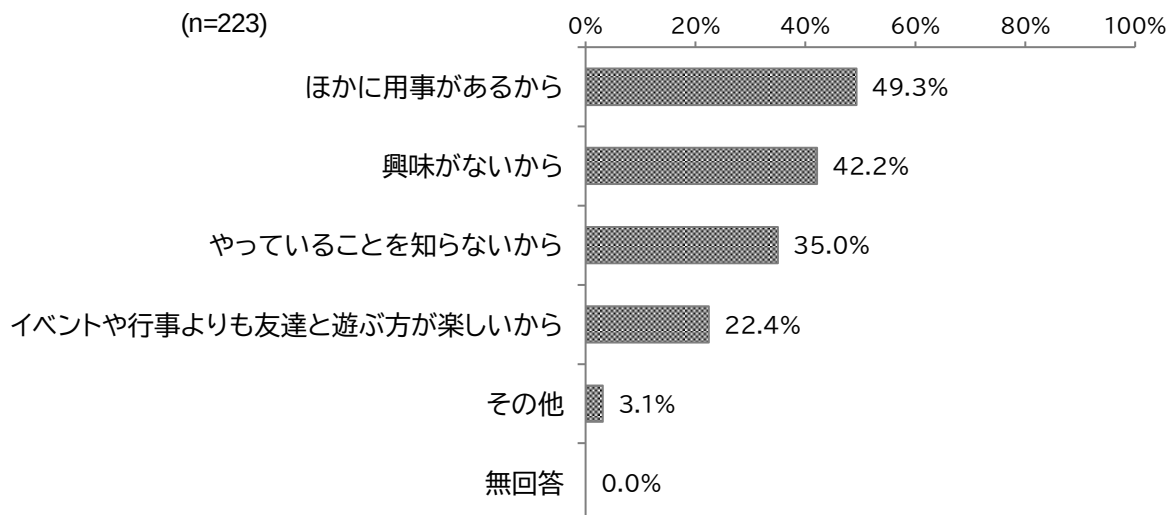


★（問 14 で、「参加したことがない」を選択した回答者）

問 14-1. 「参加したことがない」理由を教えてください。

（あてはまるものすべて選んでください。）

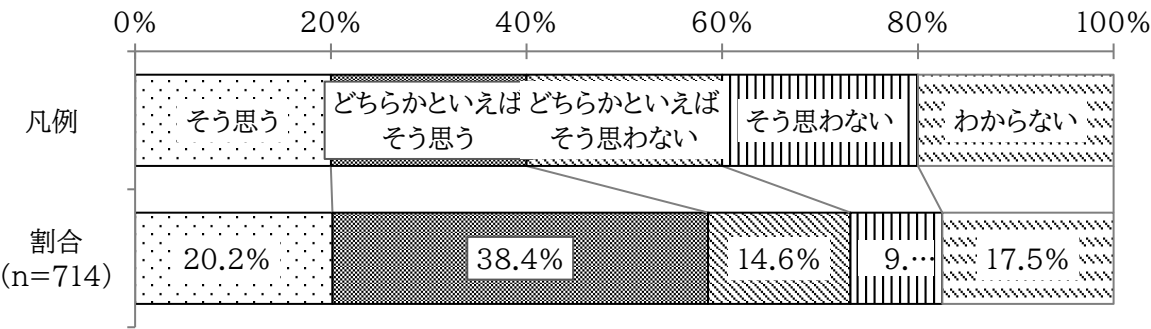
「ほかに用事があるから」が 49.3%で最も多く、次いで「興味がないから」42.2%、「やっていることを知らないから」35.0%、「イベントや行事よりも友達と遊ぶ方が楽しいから」22.4%となっている。



第2章 調査結果 2.2 中学生調査

問 15. あなたは、大人になっても白岡市に関わっていたい(住む、遊びに来る、働くなど)と思いますか。

「そう思う」が45.1%、「どちらかといえばそう思う」が29.5%となっており、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が7割以上となっている。また、「わからない」が13.1%となっている。

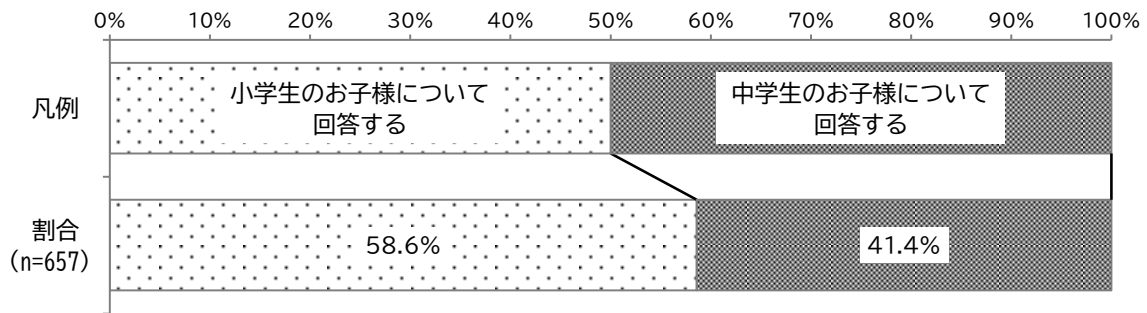


2.3 保護者調査

2.3.1 基本情報

問1. お子様について教えてください。

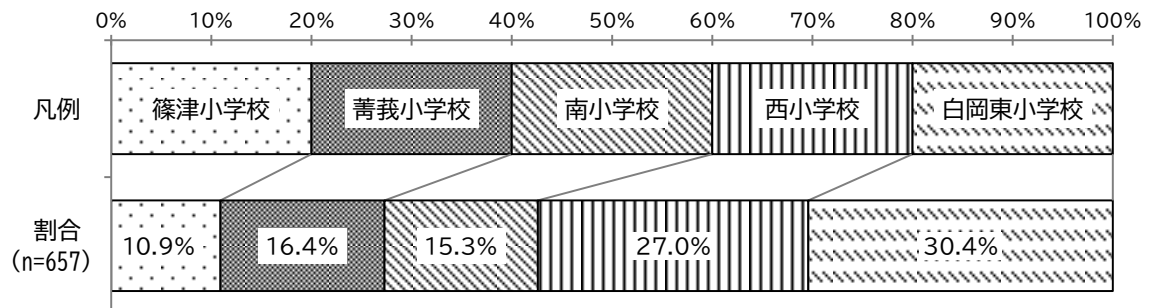
「小学生のお子様について回答する」が58.6%、「中学生のお子様について回答する」が41.4%となっている。



★（問1で、「小学生のお子様について回答する」を選択した回答者）

問1-1-A. お子さんの小学校名を教えてください。

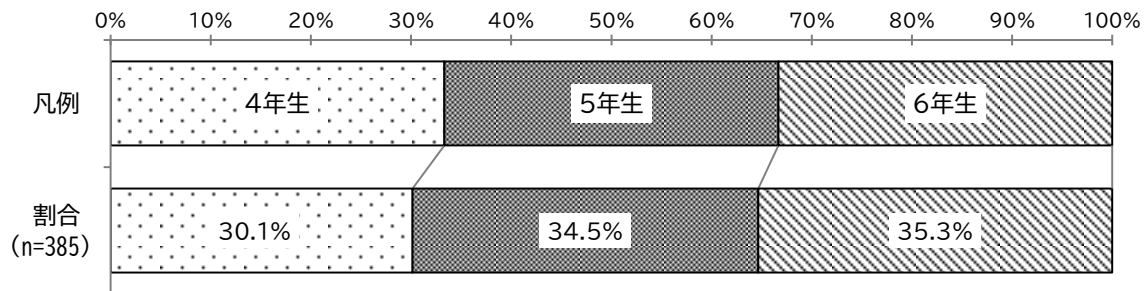
「篠津小学校」が10.9%、「菁莪小学校」が16.4%、「南小学校」が15.3%、「西小学校」が27.0%、「白岡東小学校」が30.4%となっている。



★（問1で、「小学生のお子様について回答する」を選択した回答者）

問1-2-A. お子さんの学年を教えてください。

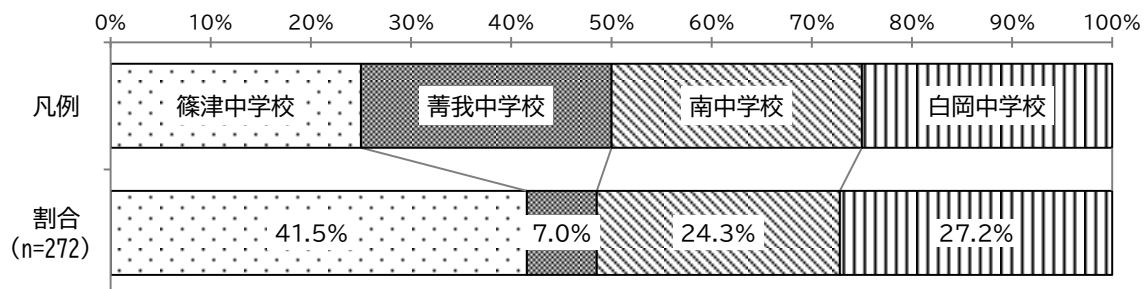
「4年生」が30.1%、「5年生」が34.5%、「6年生」が35.3%となっている。



☆（問1で、「中学生のお子様について回答する」を選択した回答者）

問1-1-B. お子さんの中学校名を教えてください。

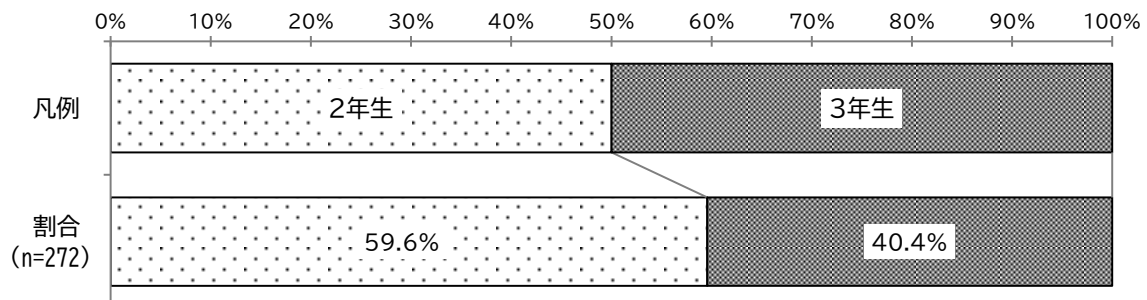
「篠津中学校」が41.5%、「菁莪中学校」が7.0%、「南中学校」が24.3%、「白岡小学校」が27.2%となっている。



☆（問1で、「中学生のお子様について回答する」を選択した回答者）

問1-2-B. お子さんの学年を教えてください。

「中学2年生」が59.6%、「中学3年生」が40.4%となっている。

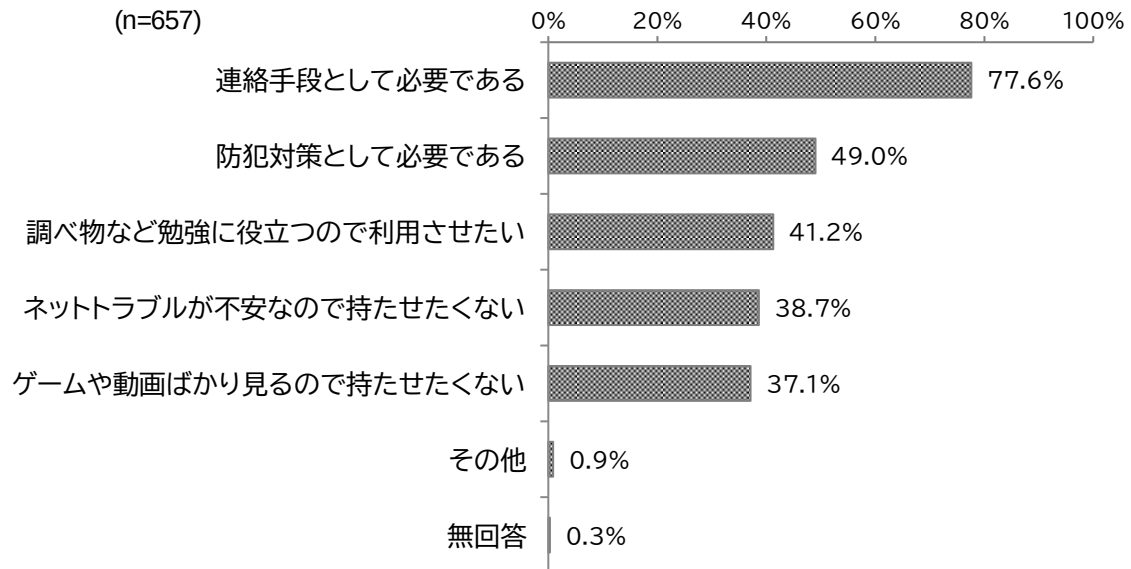


2.3.2 お子さんの家庭学習とデジタル利用について

問2. 児童・生徒がスマートフォン等を利用することについてのお考えを伺います。

(あてはまるものすべて選んでください。)

「連絡手段として必要である」が77.6%で最も多く、次いで「防犯対策として必要である」49.0%、「調べ物など勉強に役立つので利用させたい」41.2%、「ネットトラブルが不安なので持たせたくない」38.7%となっている。

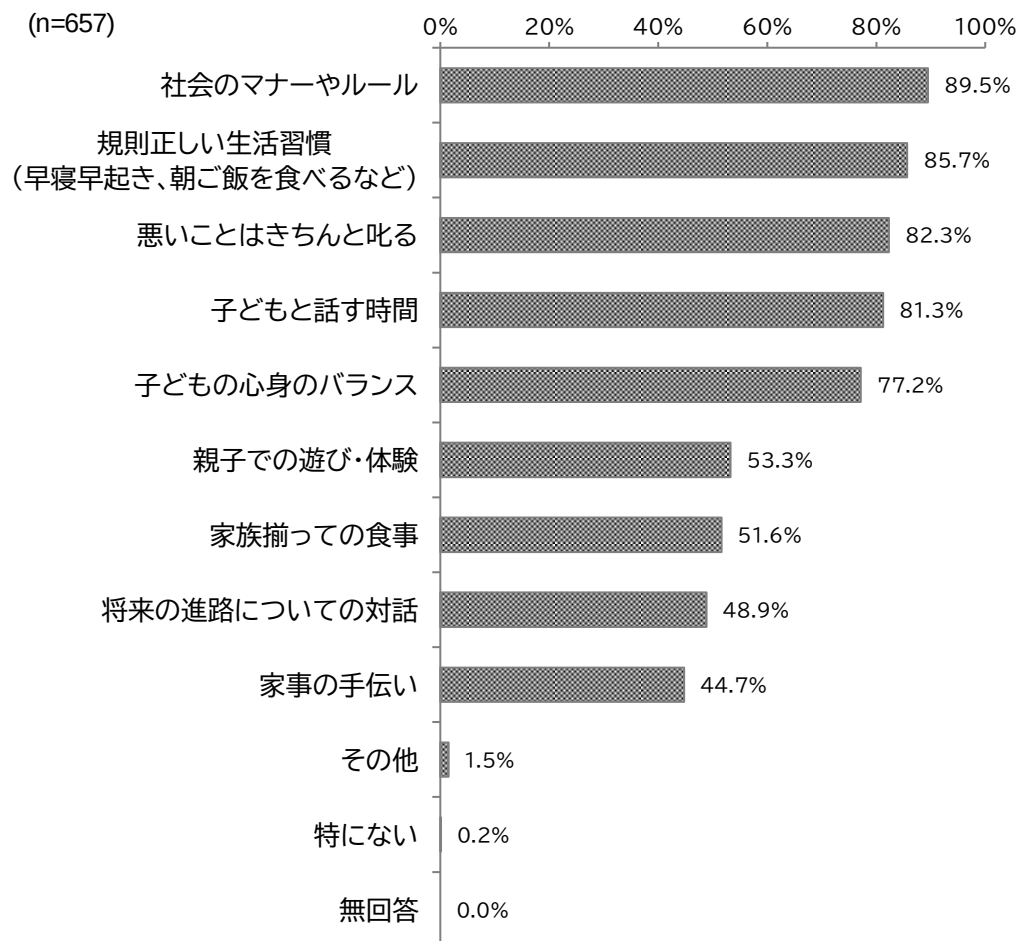


2.3.3 家庭教育のあり方と悩み・相談先について

問3. ご家庭でのしつけや教育で重要だと思うものは何ですか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

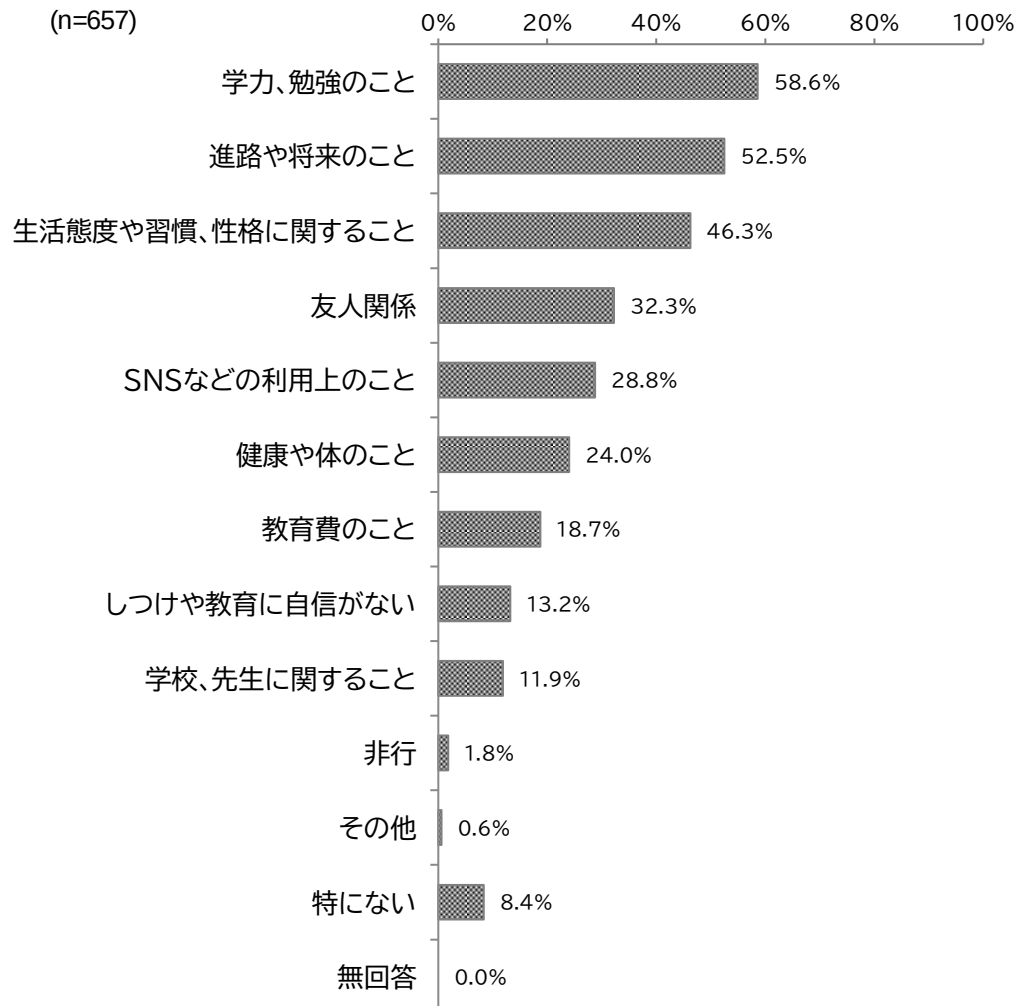
「社会のマナーやルール」が89.5%で最も多く、次いで「規則正しい生活習慣（早寝早起き、朝ご飯を食べるなど）」85.7%、「悪いことはきちんと叱る」82.3%、「子どもと話す時間」81.3%となっている。



問4. お子さんへの教育についてどのような悩みがありますか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

「学力、勉強のこと」が58.6%で最も多く、次いで「進路や将来のこと」52.5%、「生活態度や習慣、性格に関すること」46.3%、「友人関係」32.3%となっている。

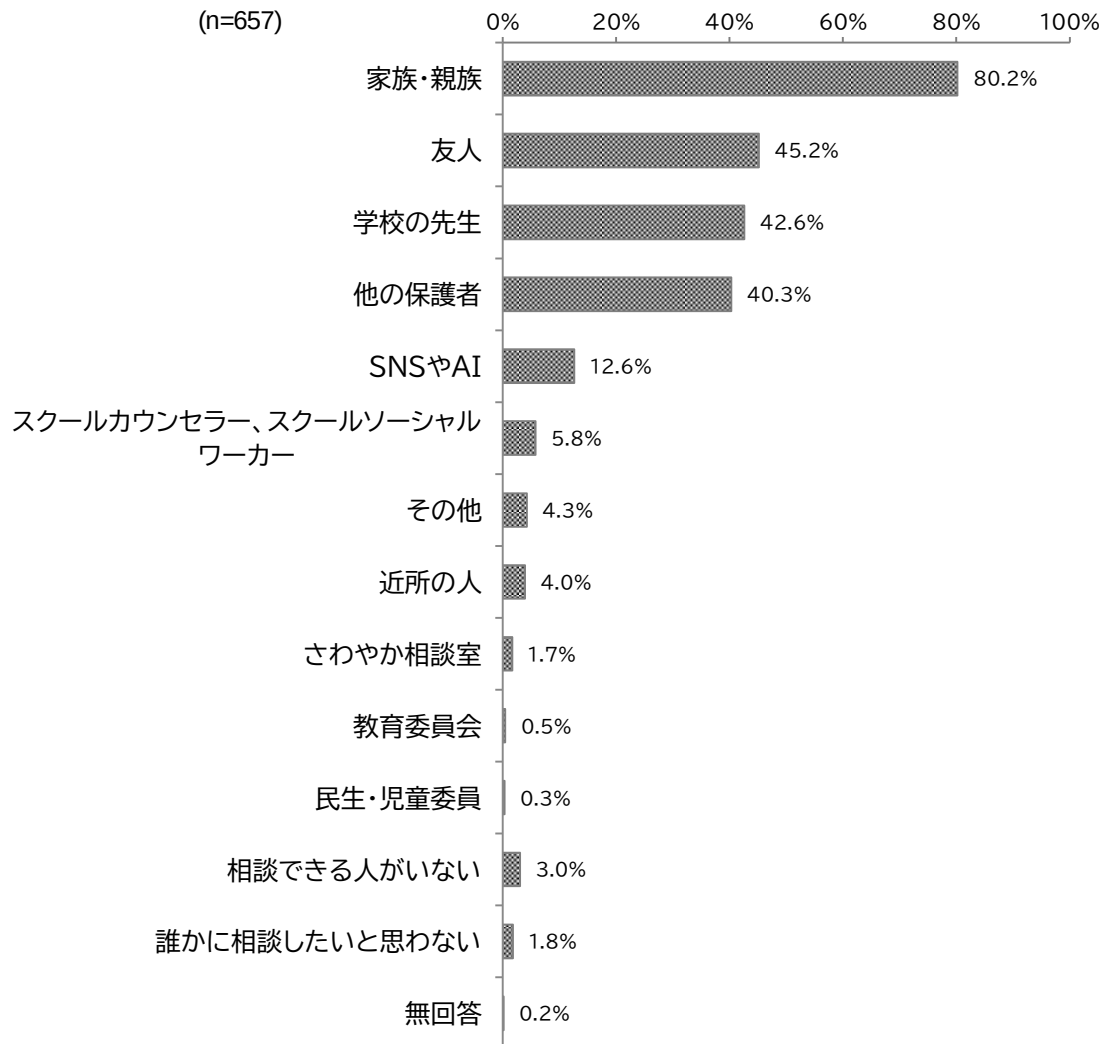


第2章 調査結果 2.3 保護者調査

問5. お子さんの教育について不安を感じた時の相談先はどこですか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

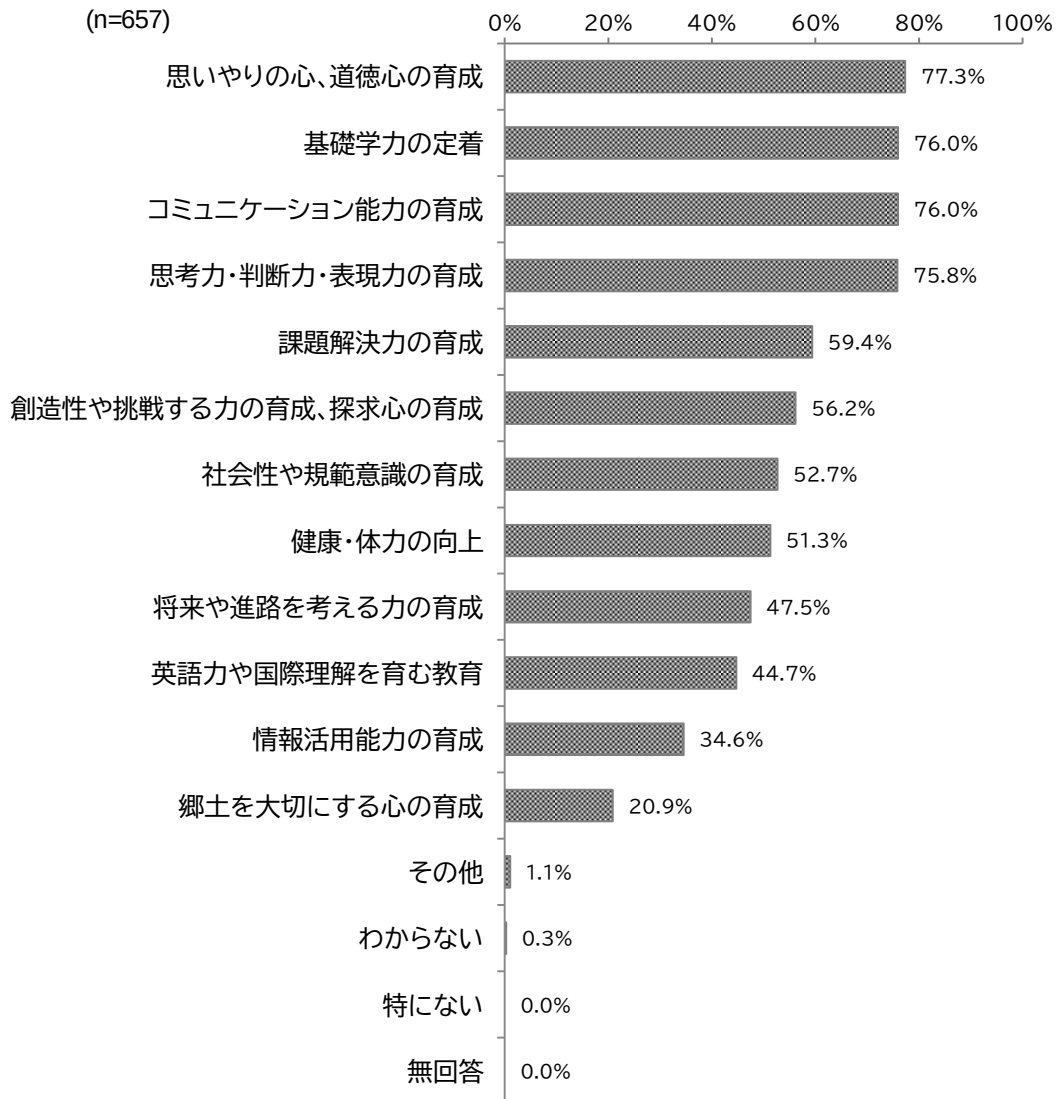
「家族・親族」が 80.2%で最も多く、次いで「友人」45.2%、「学校の先生」42.6%、「他の保護者」40.3%となっている。



2.3.4 これからの学校教育に期待すること

問6. お子さんのどのような力を身に着けてほしい、お子さんにどのように育ててほしいと思いますか。(あてはまるものすべて選んでください。)

「思いやりの心、道徳心の育成」が77.3%で最も多く、次いで「基礎学力の定着」76.0%、「コミュニケーション能力の育成」76.0%、「思考力・判断力・表現力の育成」75.8%となっている。

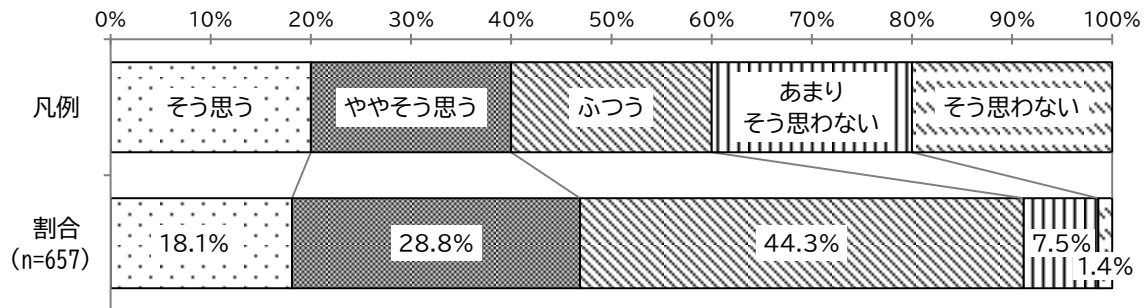


第2章 調査結果 2.3 保護者調査

問7. 次のそれぞれの市の取組について、5段階で評価してください。

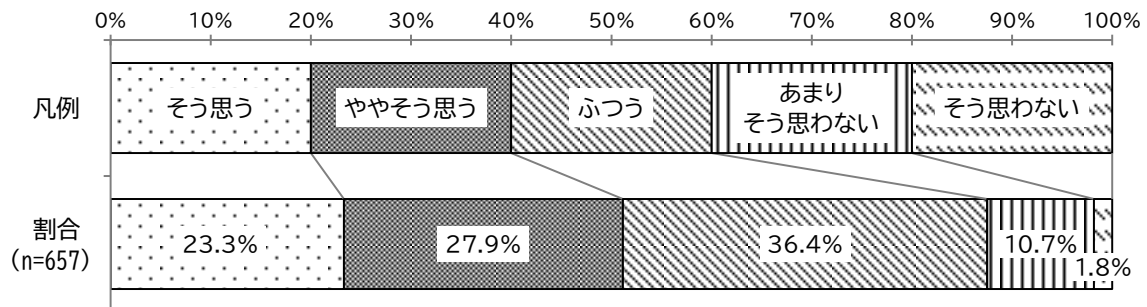
問7-1 学びの充実

「ふつう」が44.3%で最も多く、次いで「ややそう思う」28.8%、「そう思う」18.1%、「あまり そう思わない」7.5%となっている。



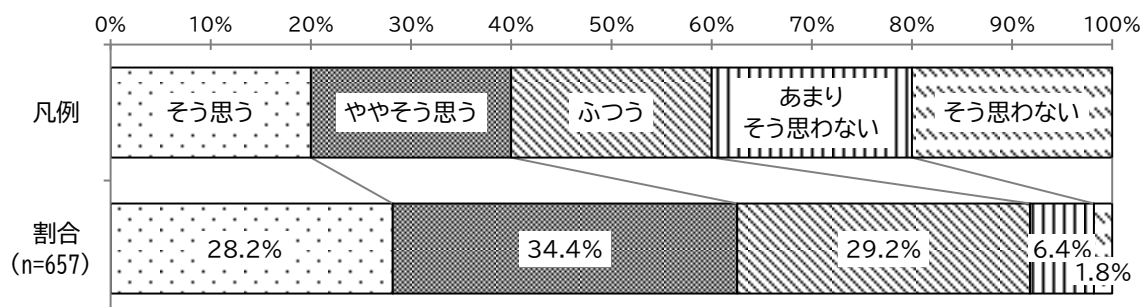
問7-2 安心して通える学校

「ふつう」が36.4%で最も多く、次いで「ややそう思う」27.9%、「そう思う」23.3%、「あまり そう思わない」10.7%となっている。



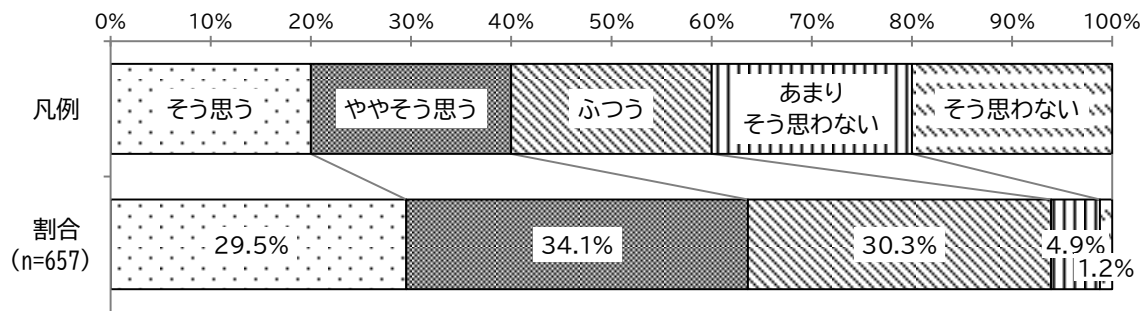
問7-3 学校生活の充実

「ややそう思う」が34.4%で最も多く、次いで「ふつう」29.2%、「そう思う」28.2%、「あまり そう思わない」6.4%となっている。



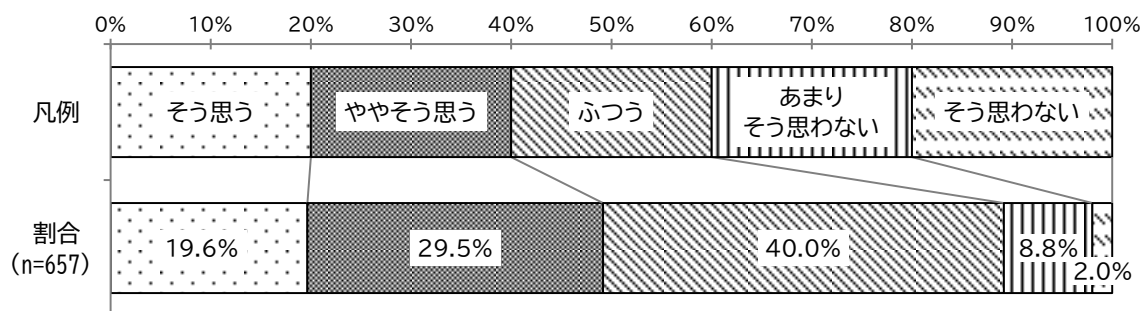
問7-4 心身の成長

「ややそう思う」が34.1%で最も多く、次いで「ふつう」30.3%、「そう思う」29.5%、「あまり そう思わない」4.9%となっている。



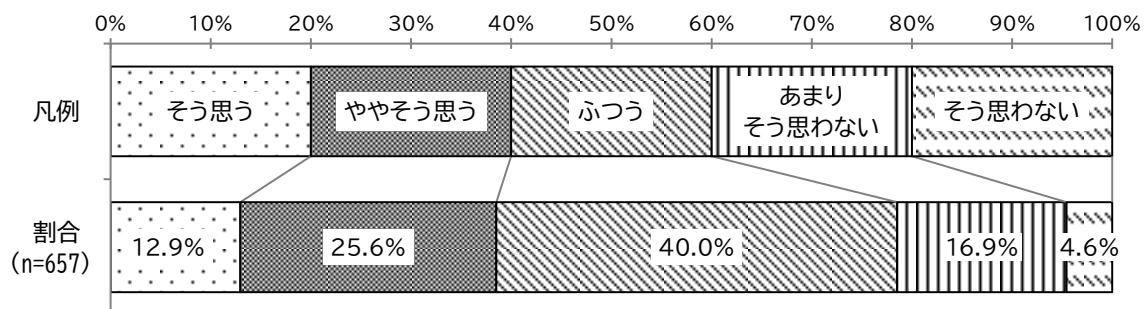
問7-5 学校の安全・緊急時対応

「ふつう」が40.0%で最も多く、次いで「ややそう思う」29.5%、「そう思う」19.6%、「あまり そう思わない」8.8%となっている。



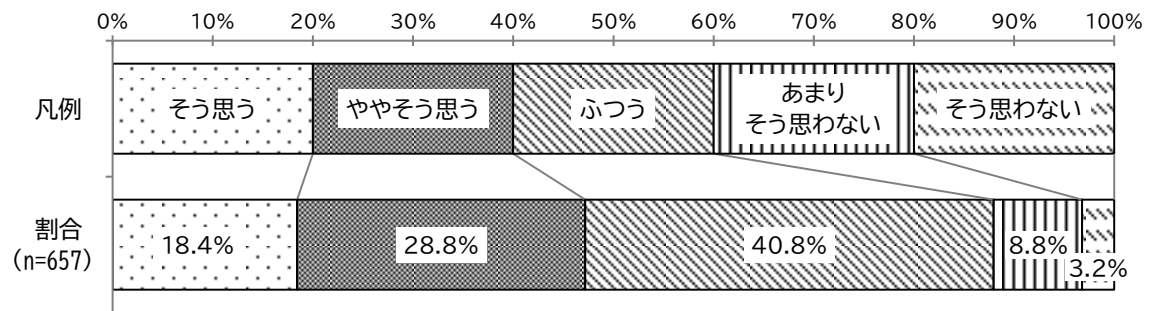
問7-6 教育環境

「ふつう」が40.0%で最も多く、次いで「ややそう思う」25.6%、「あまり そう思わない」16.9%、「そう思う」12.9%となっている。



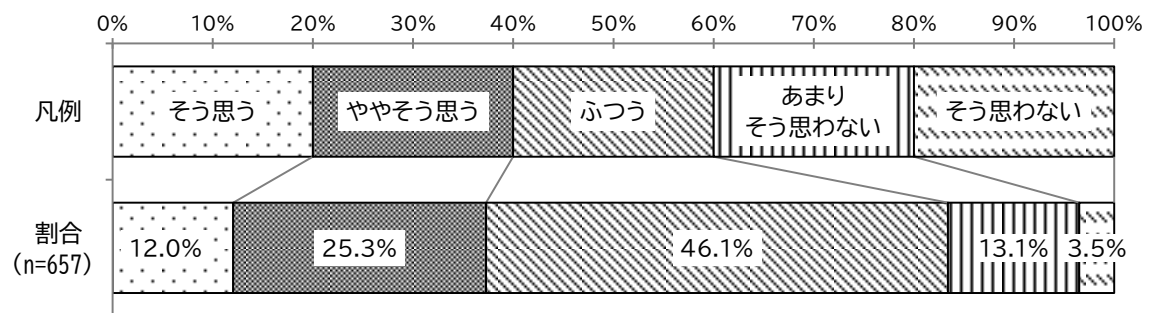
問7-7 地域での子どもの見守り

「ふつう」が40.8%で最も多く、次いで「ややそう思う」28.8%、「そう思う」18.4%、「あまり そう思わない」8.8%となっている。



問7-8 小・中学校のつながり

「ふつう」が46.1%で最も多く、次いで「ややそう思う」25.3%、「あまり そう思わない」13.1%、「そう思う」12.0%となっている。

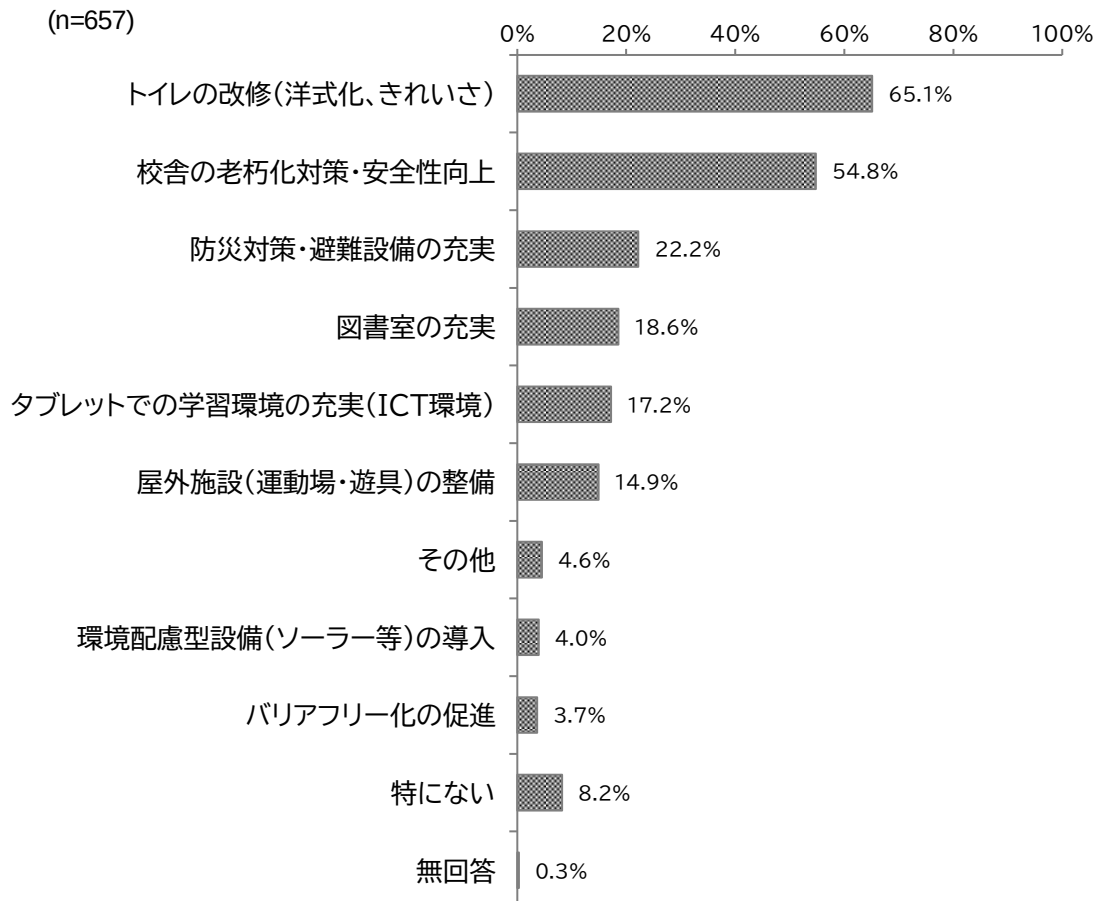


2.3.5 教育施設・設備と学校・地域の連携について

問8. 学校施設・設備について改善してほしい点はどこですか。

(あてはまるもの3つまで選んでください)

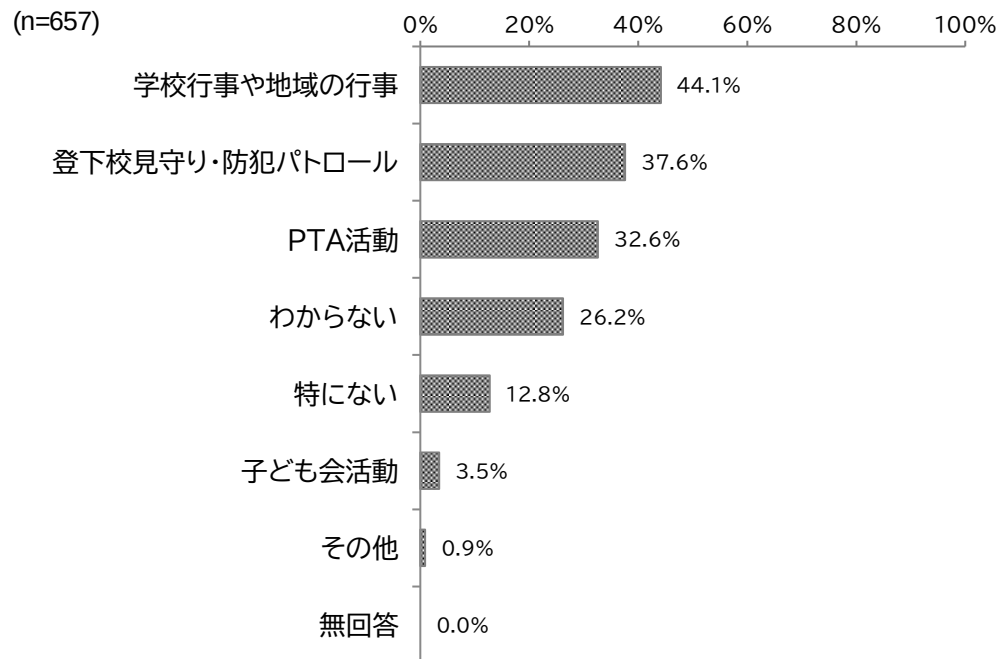
「トイレの改修(洋式化、きれいさ)」が 65.1%で最も多く、次いで「校舎の老朽化対策・安全性向上」54.8%、「防災対策・避難設備の充実」22.2%、「図書室の充実」18.6%となっている。



第2章 調査結果 2.3 保護者調査

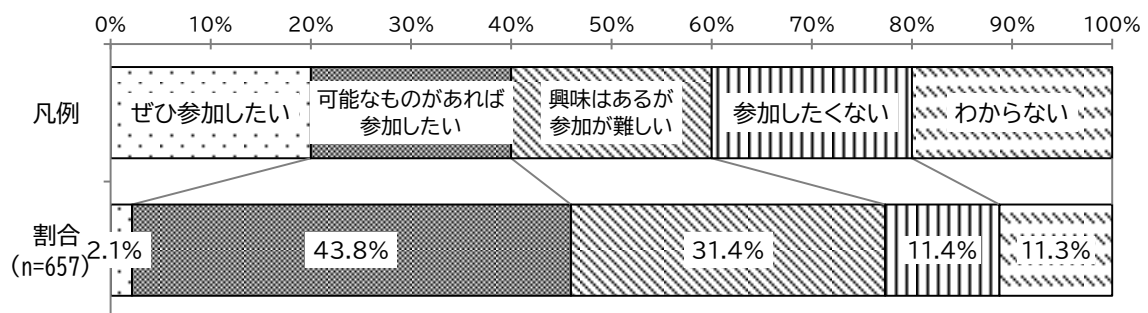
問9. 以下の活動について、学校・家庭・地域の連携が図れていると思いますか。
(あてはまるものすべて選んでください。)

「学校行事や地域の行事」が44.1%で最も多く、次いで「登下校見守り・防犯パトロール」37.6%、「PTA活動」32.6%、「わからない」26.2%となっている。



問10. 地域で行う教育活動に参加したいと思いますか。

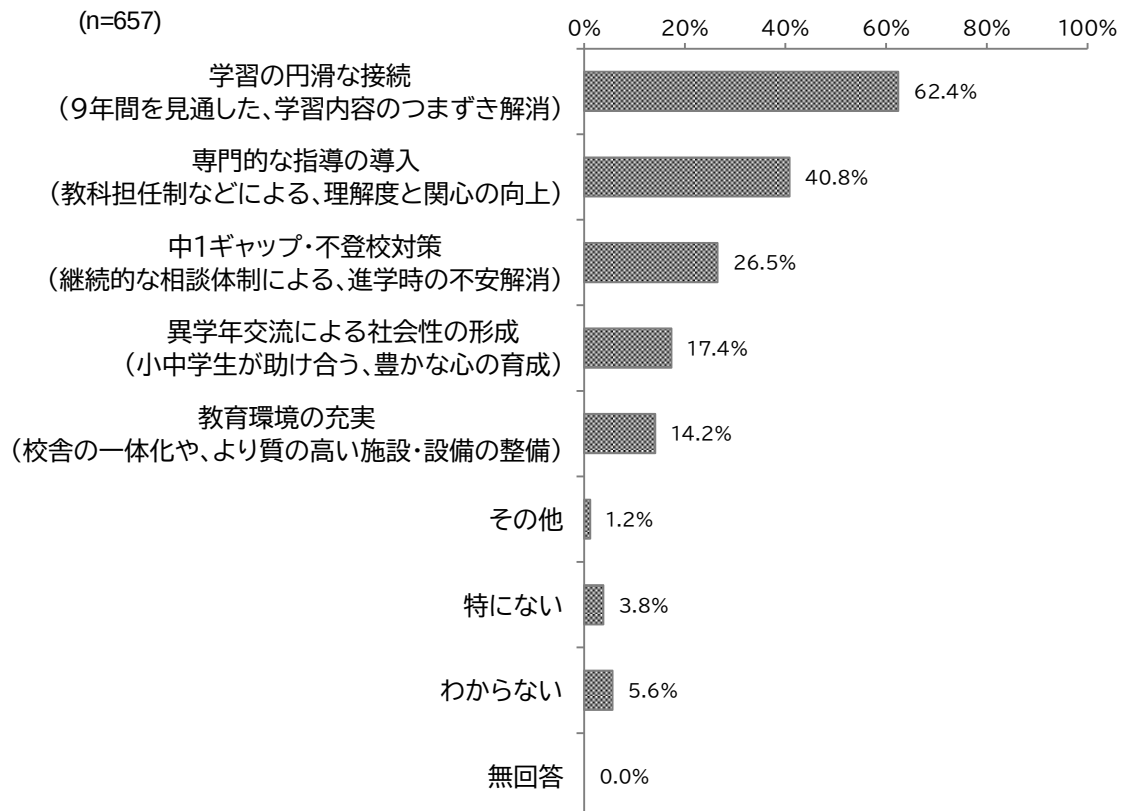
「可能なものがあれば参加したい」が43.8%で最も多く、次いで「興味はあるが参加が難しい」31.4%、「参加したくない」11.4%、「わからない」11.3%となっている。



問 11. 「小中連携教育」について、どのような効果を期待しますか。

(特に期待する効果を2つまで選んでください。)

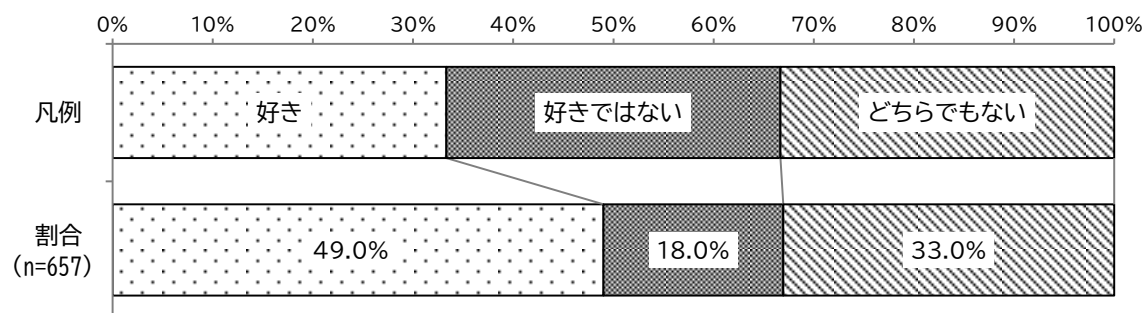
「学習の円滑な接続(9年間を見通した、学習内容のつまずき解消)」が62.4%で最も多く、次いで「専門的な指導の導入(教科担任制などによる、理解度と関心の向上)」40.8%、「中1ギャップ・不登校対策(継続的な相談体制による、進学時の不安解消)」26.5%、「異学年交流による社会性の形成(小中学生が助け合う、豊かな心の育成)」17.4%となっている。



2.3.6 保護者の読書習慣について

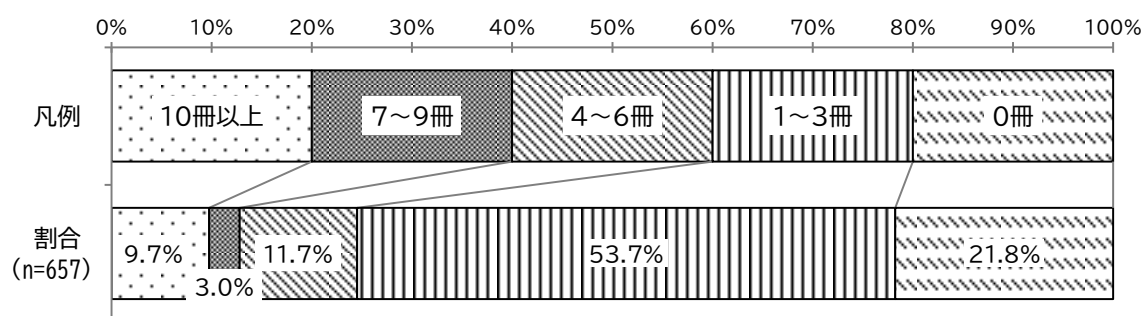
問 12. 本を読むことは好きですか。

「好き」が 49.0%、「好きではない」が 18.0%、「どちらでもない」が 33.0%となっている。



問 13. 1 か月にどのくらい本を読みますか。(漫画、雑誌、電子書籍も含みます。)

「1～3冊」が 53.7%で最も多く、次いで「0冊」21.8%、「4～6冊」11.7%、「10冊以上」9.7%となっている。

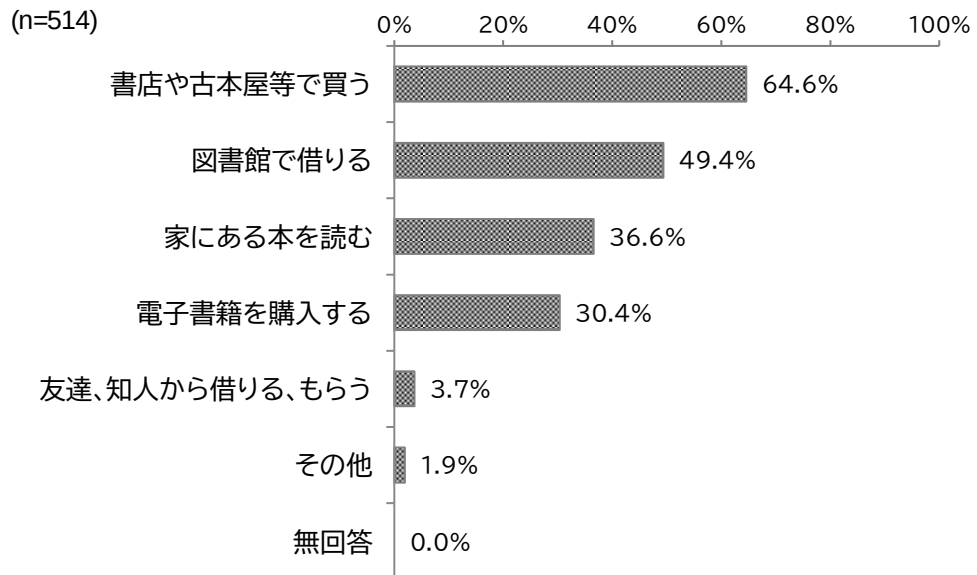


★（問13で、「10冊以上」「7～9冊」「4～6冊」「1～3冊」を選択した回答者）

問13-1-A. 主にどこから本を手に入れていますか。

（あてはまるものすべて選んでください。）

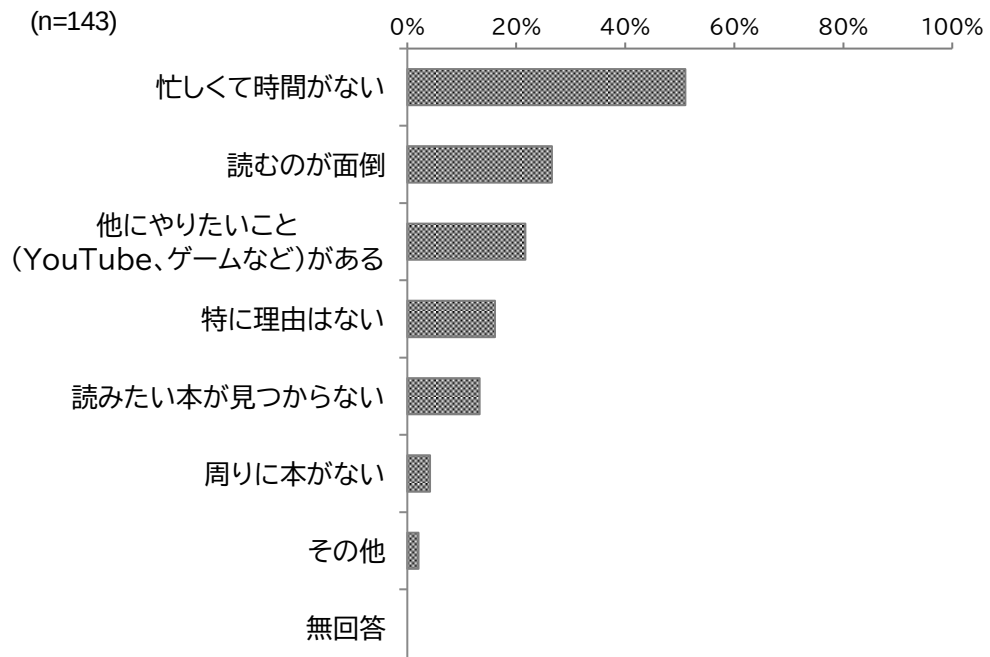
「書店や古本屋等で買う」が64.6%で最も多く、次いで「図書館で借りる」49.4%、「家にある本を読む」36.6%、「電子書籍を購入する」30.4%となっている。



☆（問13で、「0冊」を選択した回答者）

問13-1-B. その理由も教えてください。（あてはまるものすべて選んでください。）

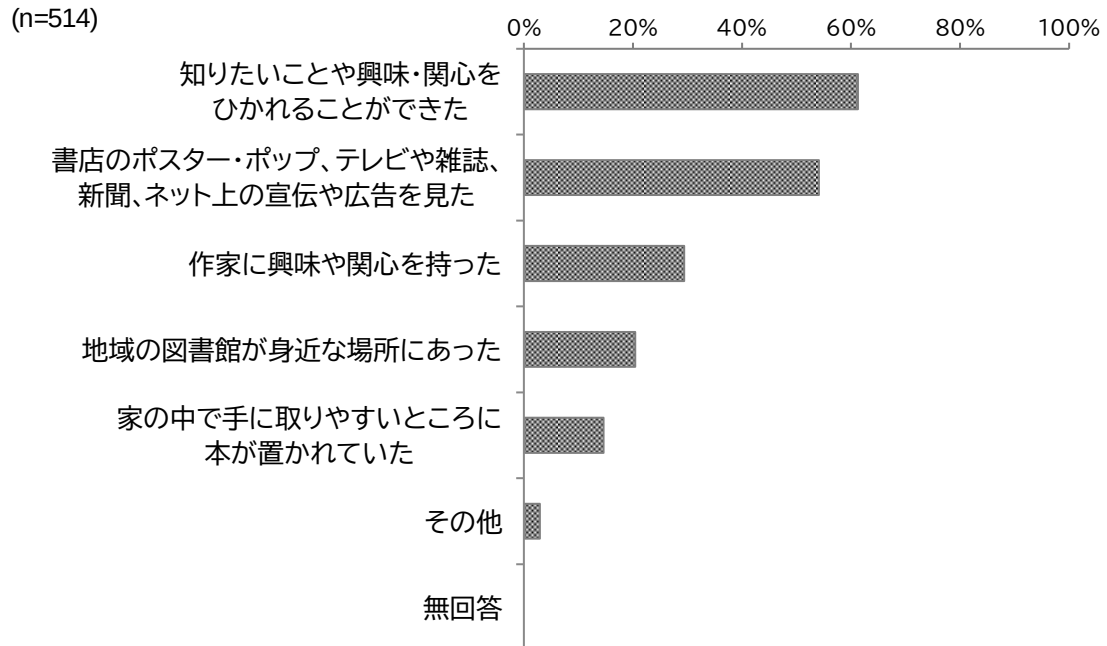
「忙しくて時間がない」が51.0%で最も多く、次いで「読むのが面倒」26.6%、「他にやりたいこと（YouTube、ゲームなど）がある」21.7%、「特に理由はない」16.1%となっている。



★（問13で、「10冊以上」「7～9冊」「4～6冊」「1～3冊」を選択した回答者）

問13-2. 本を読むきっかけは何ですか。（あてはまるものすべて選んでください。）

「知りたいことや興味・関心をひかれることができた」が61.3%で最も多く、次いで「書店のポスター・ポップ、テレビや雑誌、新聞、ネット上の宣伝や広告を見た」54.1%、「作家に興味や関心を持った」29.4%、「地域の図書館が身近な場所にあった」20.4%となっている。

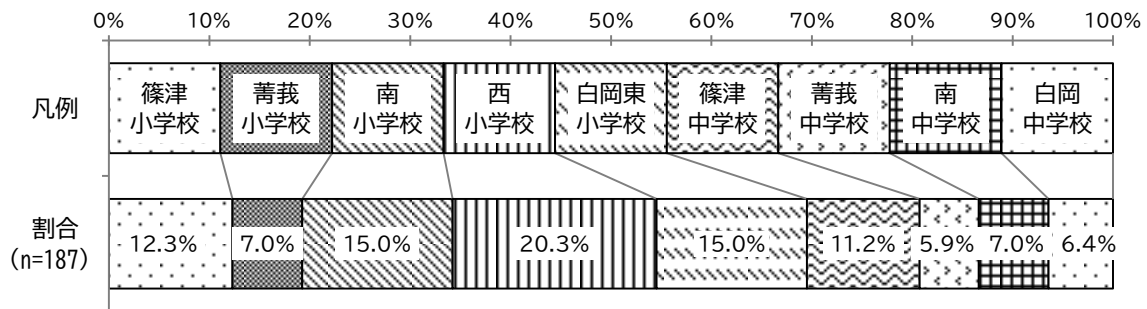


2.4 教職員調査

2.4.1 基本情報

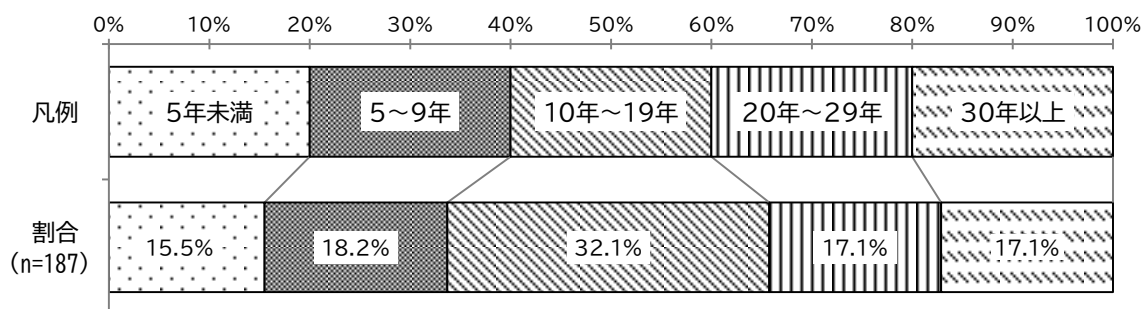
問1. 勤務校を教えてください。

「篠津小学校」が12.3%、「菁莪小学校」が7.0%、「南小学校」が15.0%、「西小学校」が20.3%、「白岡東小学校」が15.0%、「篠津中学校」が11.2%、「菁莪中学校」が5.9%、「南中学校」が7.0%、「白岡中学校」が6.4%となっている。



問2. 教員になってからの年数を教えてください。

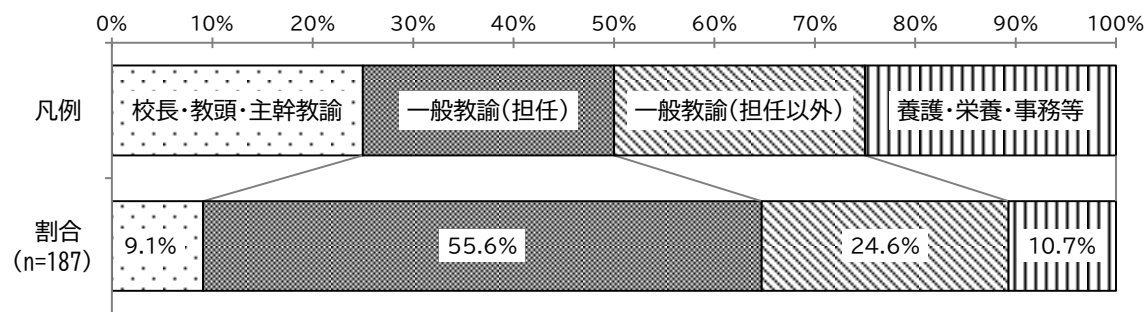
「5年未満」が15.5%、「5～9年」が18.2%、「10年～19年」が32.1%、「20年～29年」が17.1%、「30年以上」が17.1%となっている。



第2章 調査結果 2.4 教職員調査

問3. 職名を教えてください。

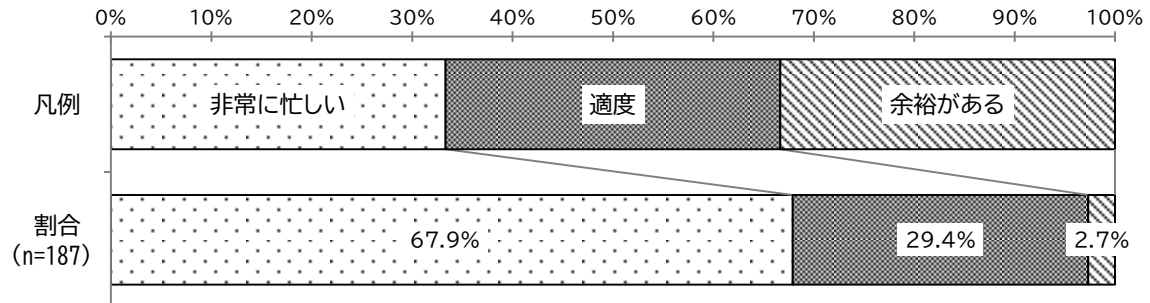
「校長・教頭・主幹教諭」が 9.1%、「一般教諭(担任)」が 55.6%、「一般教諭(担任以外)」が 24.6%、「養護・栄養・事務等」が 10.7%となっている。



2.4.2 勤務環境とワークライフバランスについて

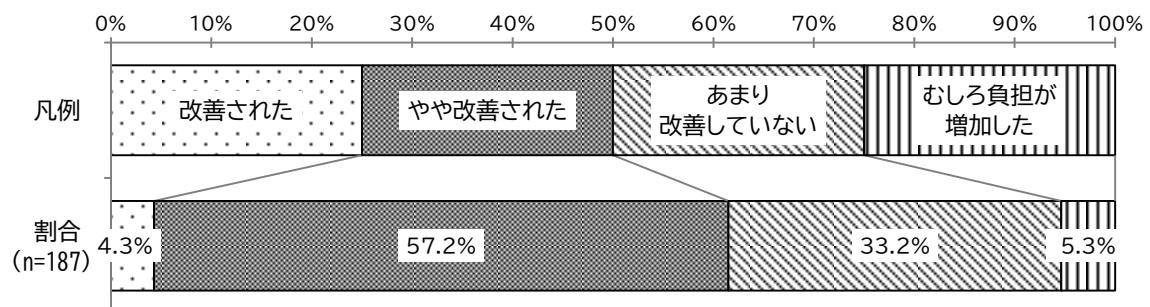
問4．現在の業務量についてどう感じていますか。

「非常に忙しい」が67.9%で最も多く、次いで「適度」29.4%、「余裕がある」2.7%となっている。



問5．校務のICT化により業務効率は改善されましたか。

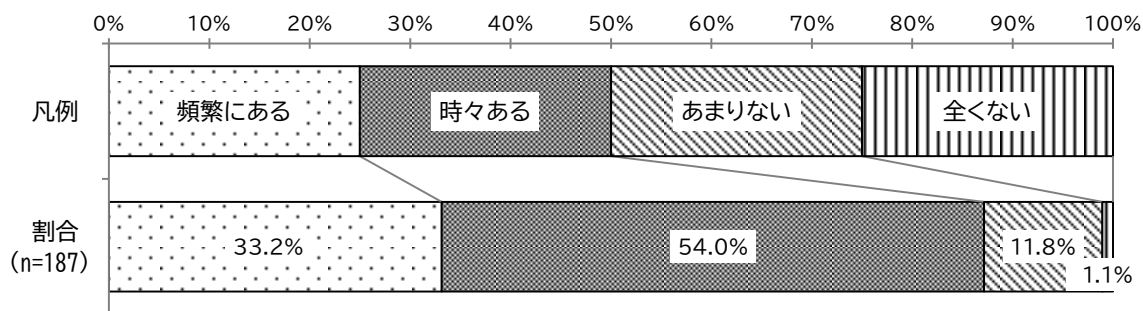
「やや改善された」が57.2%で最も多く、次いで「あまり改善していない」33.2%、「むしろ負担が増加した」5.3%、「改善された」4.3%となっている。



第2章 調査結果 2.4 教職員調査

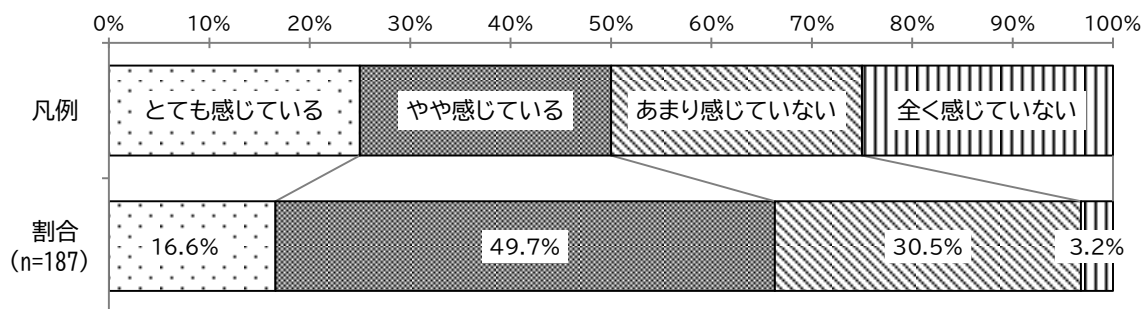
問6. ワークライフバランスを図れないことはありますか。

「時々ある」が54.0%で最も多く、次いで「頻繁にある」33.2%、「あまりない」11.8%、「全くない」1.1%となっている。



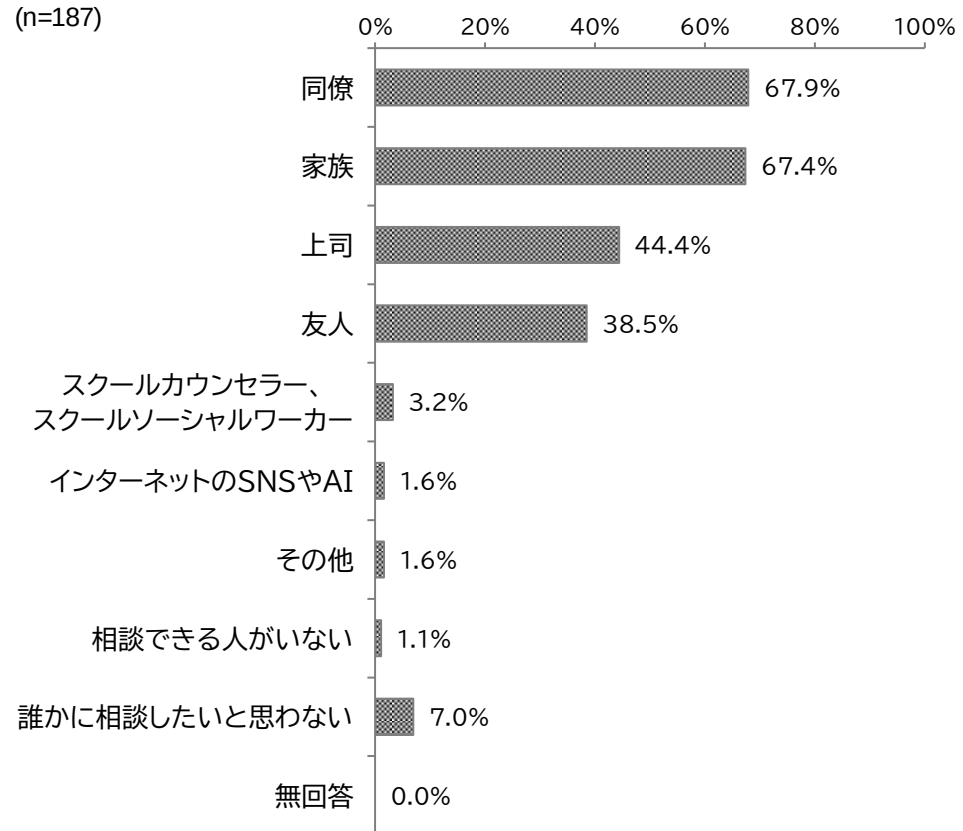
問7. 学校行事やPTA活動などに負担を感じていますか。

「やや感じている」が49.7%で最も多く、次いで「あまり感じていない」30.5%、「とても感じている」16.6%、「全く感じていない」3.2%となっている。



問8. 職務上の悩みを誰に相談しますか。(あてはまるものすべて選んでください。)

「同僚」が67.9%で最も多く、次いで「家族」67.4%、「上司」44.4%、「友人」38.5%となっている。

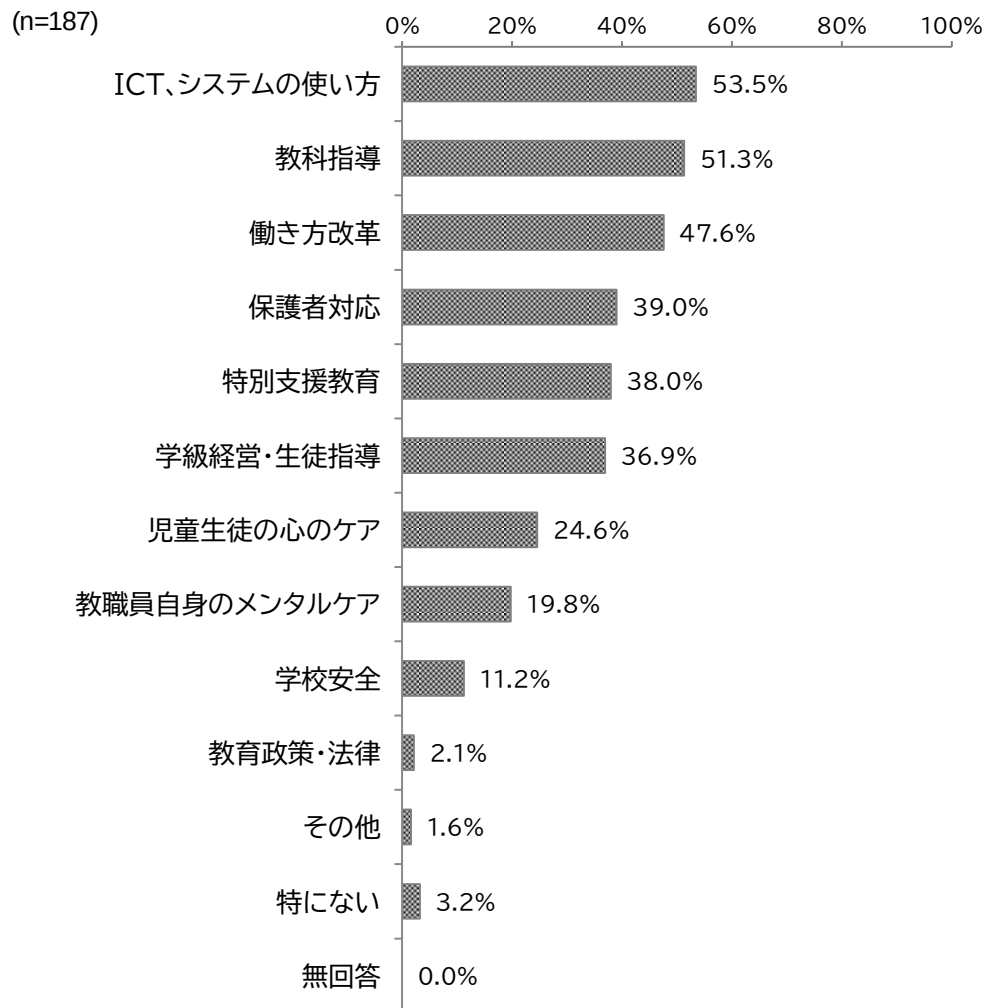


2.4.3 専門性の向上とこれからの教育施策について

問9. 今より充実させるべき研修内容はどれですか。

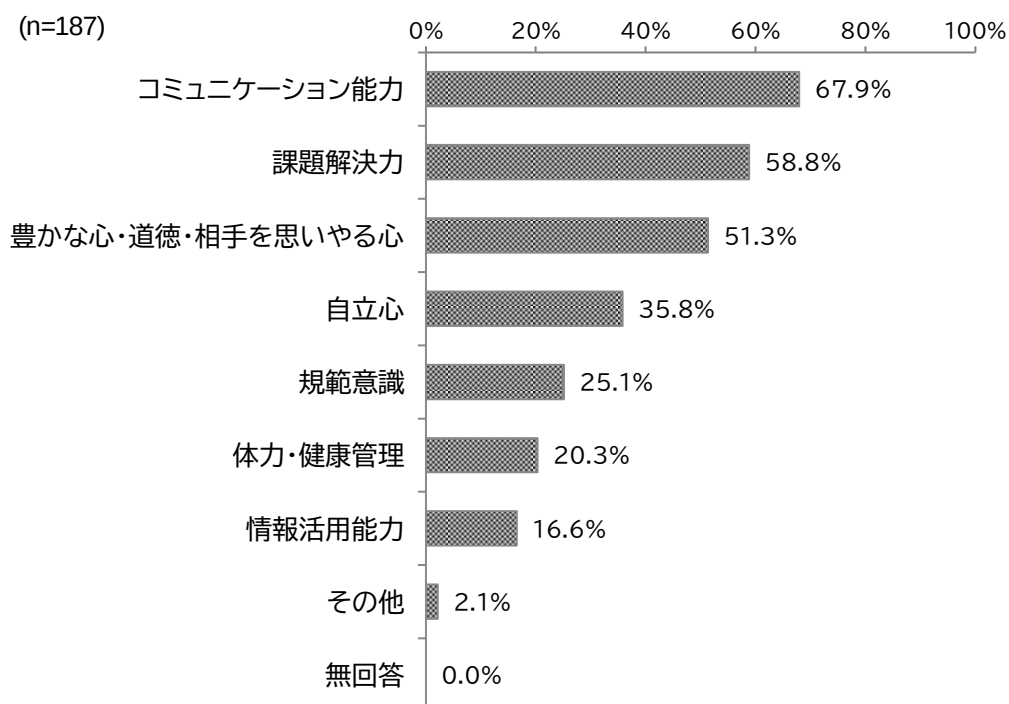
(あてはまるものすべて選んでください。)

「ICT、システムの使い方」が53.5%で最も多く、次いで「教科指導」51.3%、「働き方改革」47.6%、「保護者対応」39.0%となっている。



問 10. 現在の業務において、学校教育を通じて子どもたちが身につける力として重要だと思うものはどれですか。(あてはまるもの3つまで選んでください。)

「コミュニケーション能力」が67.9%で最も多く、次いで「課題解決力」58.8%、「豊かな心・道徳・相手を思いやる心」51.3%、「自立心」35.8%となっている。

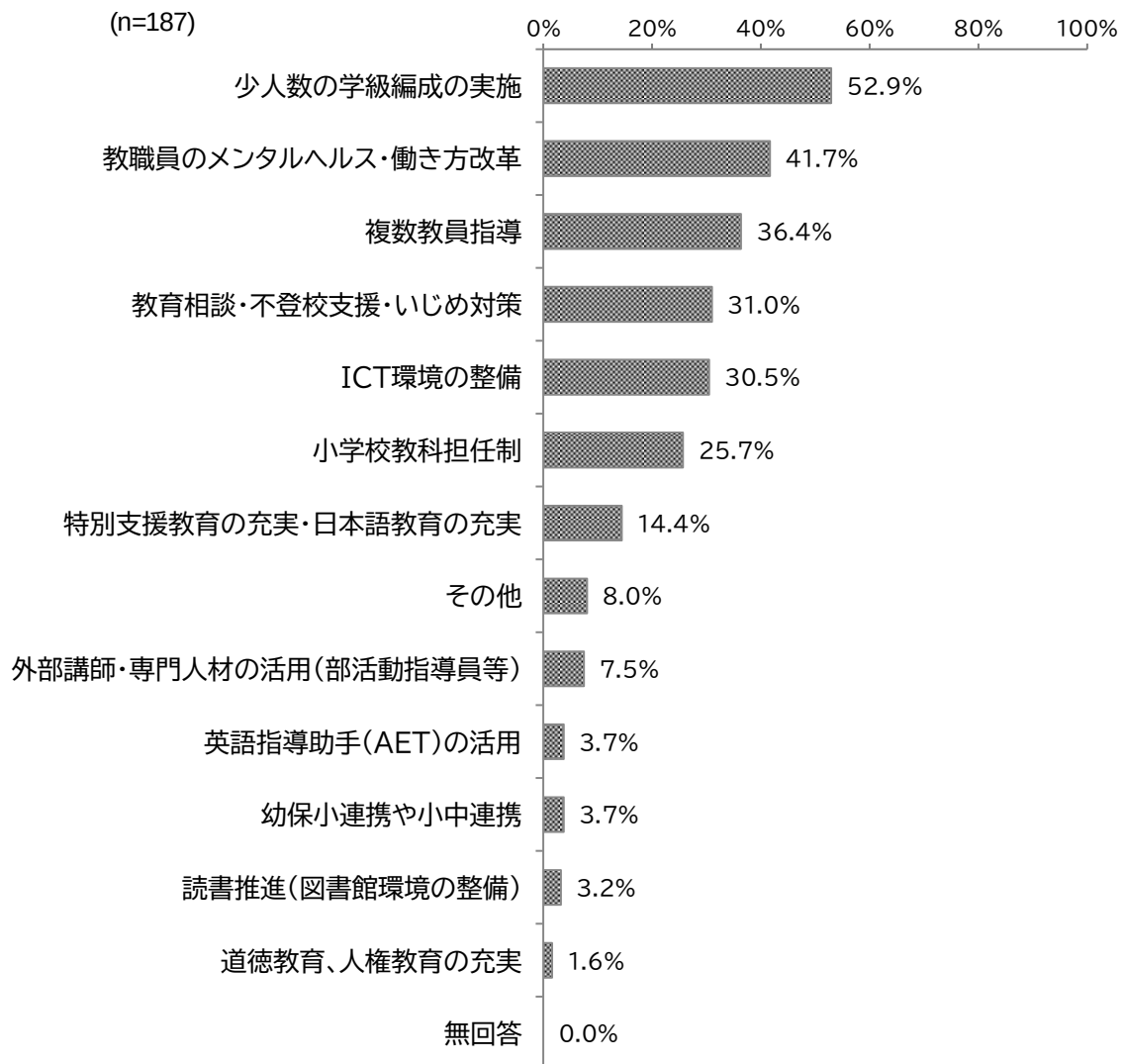


第2章 調査結果 2.4 教職員調査

問 11. 市が優先的に取り組むべき施策は何だと思われますか。

(あてはまるもの3つまで選んでください。)

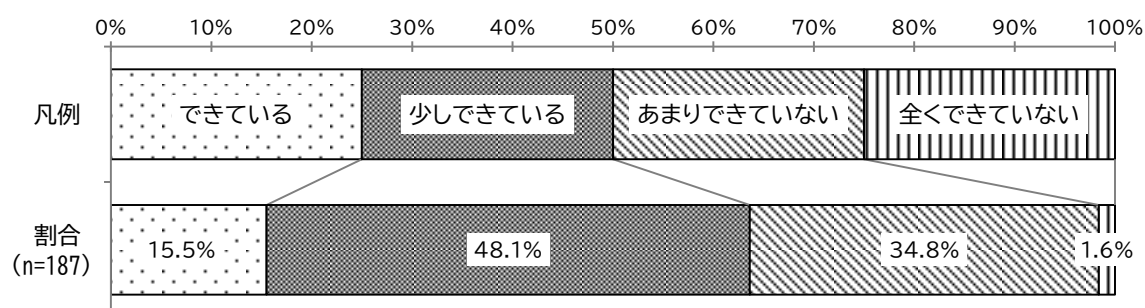
「少人数の学級編成の実施」が52.9%で最も多く、次いで「教職員のメンタルヘルス・働き方改革」41.7%、「複数教員指導」36.4%、「教育相談・不登校支援・いじめ対策」31.0%となっている。



問 12. 次の項目について、市の取り組みを 4 段階で評価してください。

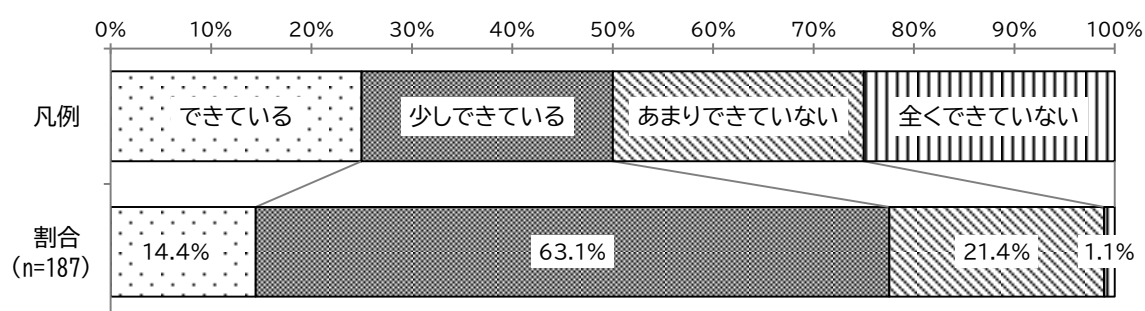
問 12 【不登校対策】

「少しできている」が 48.1%で最も多く、次いで「あまりできていない」34.8%、「できている」15.5%、「全くできていない」1.6%となっている。



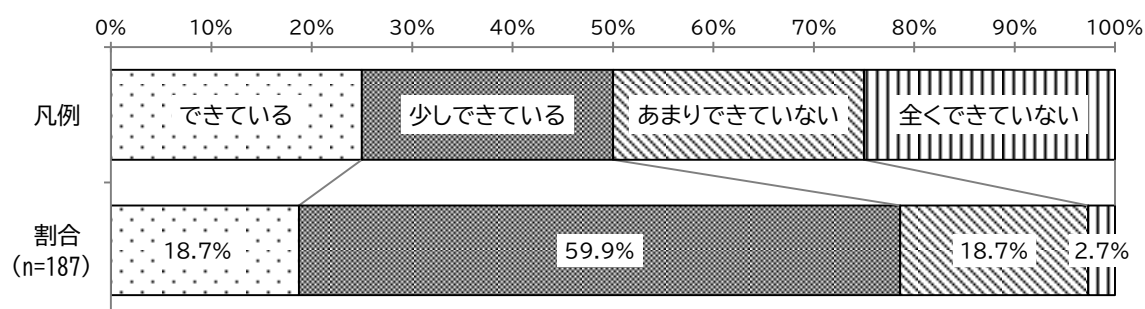
問 12 【いじめ防止対策】

「少しできている」が 63.1%で最も多く、次いで「あまりできていない」21.4%、「できている」14.4%、「全くできていない」1.1%となっている。



問 12 【特別支援教育】

「少しできている」が 59.9%で最も多く、次いで「できている」18.7%、「あまりできていない」18.7%、「全くできていない」2.7%となっている。

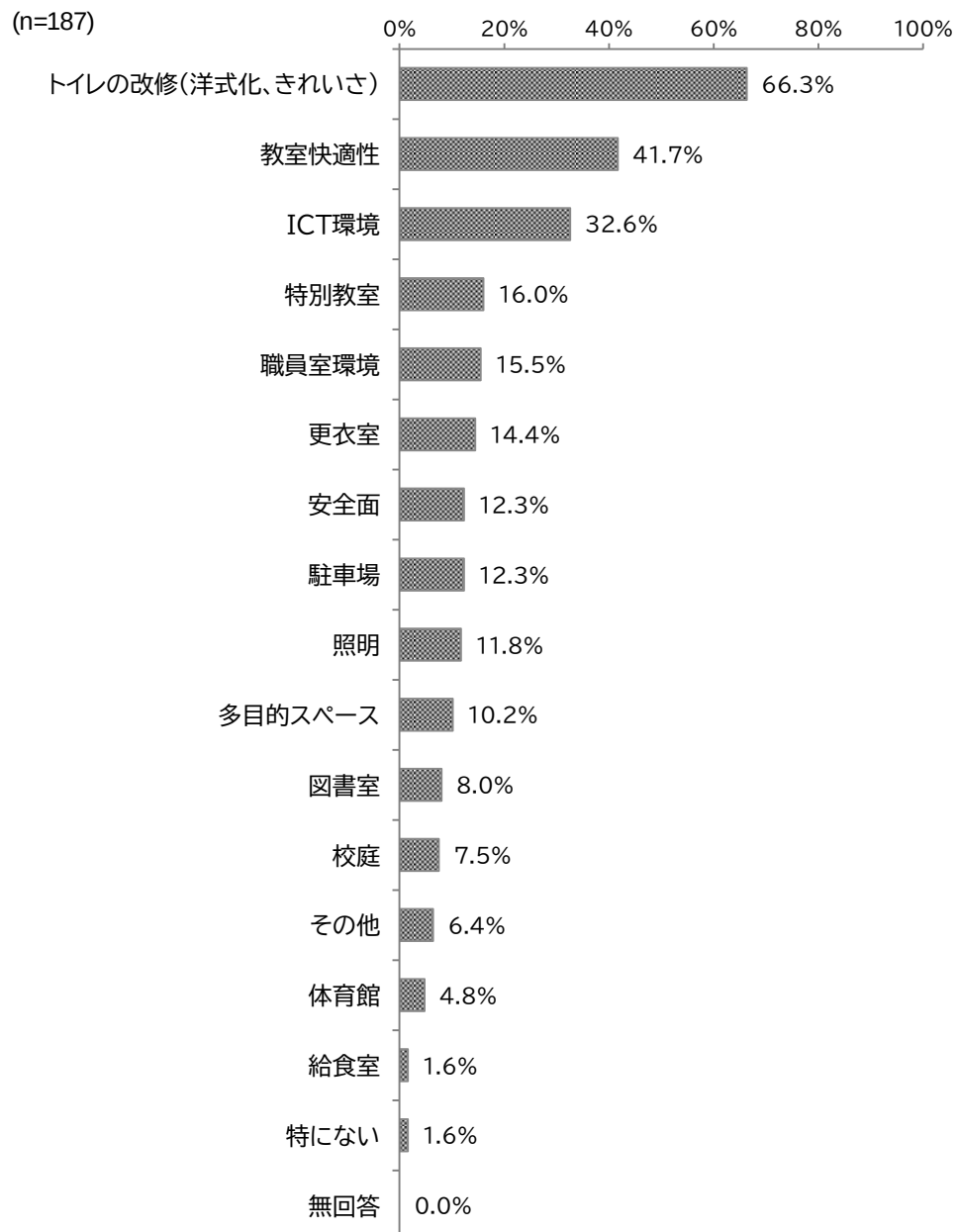


2.4.4 学校施設の改善と地域連携について

問 13. 学校施設・設備について改善を希望する点はどこですか。

(あてはまるもの3つまで選んでください。)

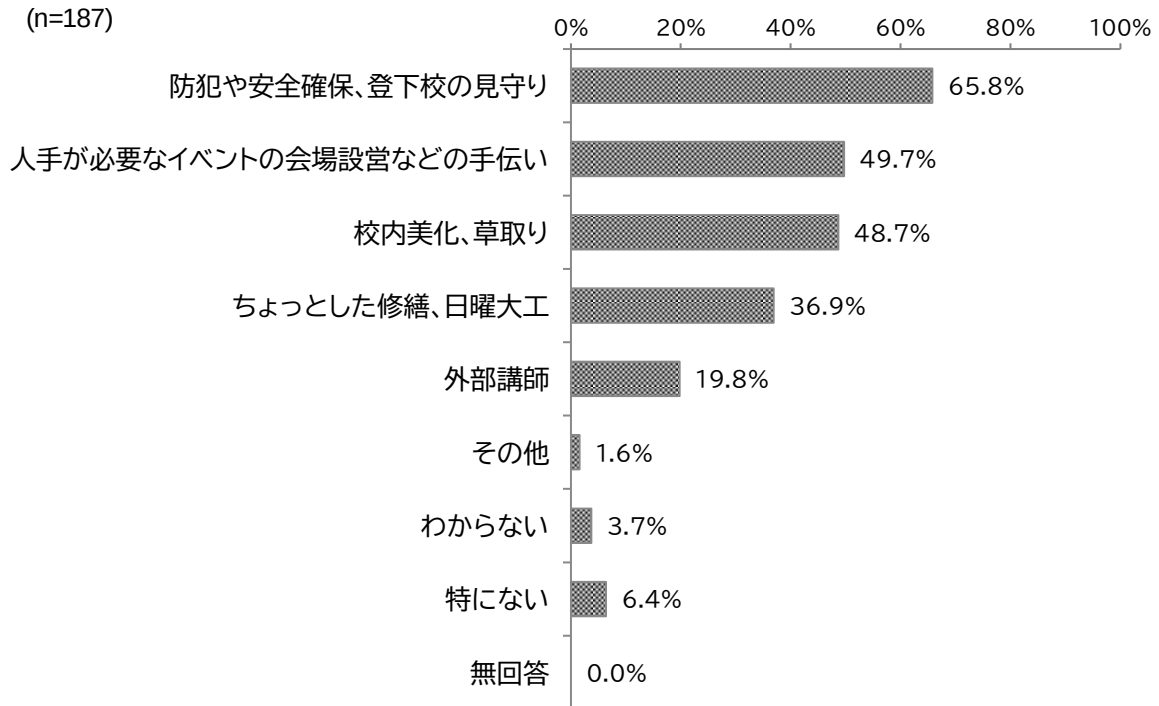
「トイレの改修(洋式化、きれいさ)」が66.3%で最も多く、次いで「教室快適性」41.7%、「ICT環境」32.6%、「特別教室」16.0%となっている。



問 14. 家庭、地域に協力を求めたい活動は何ですか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

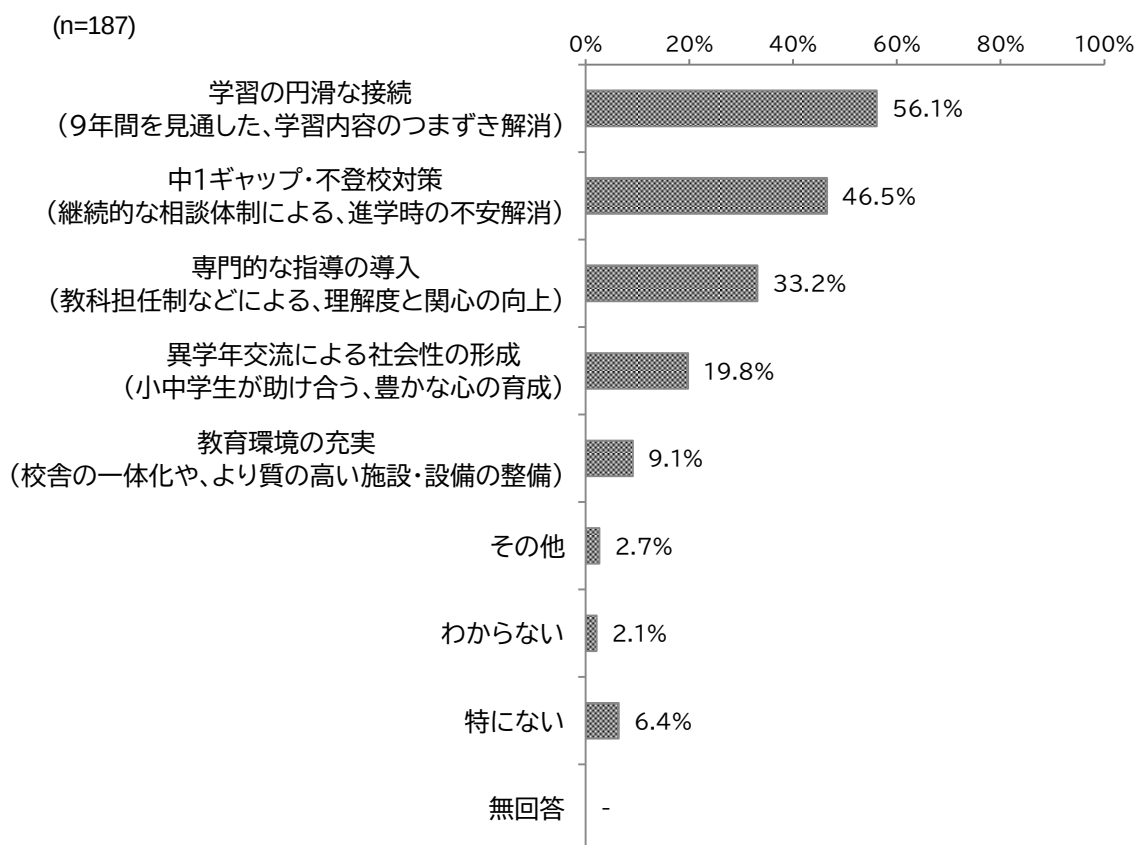
「防犯や安全確保、登下校の見守り」が 65.8%で最も多く、次いで「人手が必要なイベントの会場設営などの手伝い」49.7%、「校内美化、草取り」48.7%、「ちょっとした修繕、日曜大工」36.9%となっている。



問 15. 「小中連携教育」について、どのような効果を期待しますか。

(あてはまるもの2つまで選んでください。)

「学習の円滑な接続(9年間を見通した、学習内容のつまずき解消)」が56.1%で最も多く、次いで「中1ギャップ・不登校対策(継続的な相談体制による、進学時の不安解消)」46.5%、「専門的な指導の導入(教科担任制などによる、理解度と関心の向上)」33.2%、「異学年交流による社会性の形成(小中学生が助け合う、豊かな心の育成)」19.8%となっている。

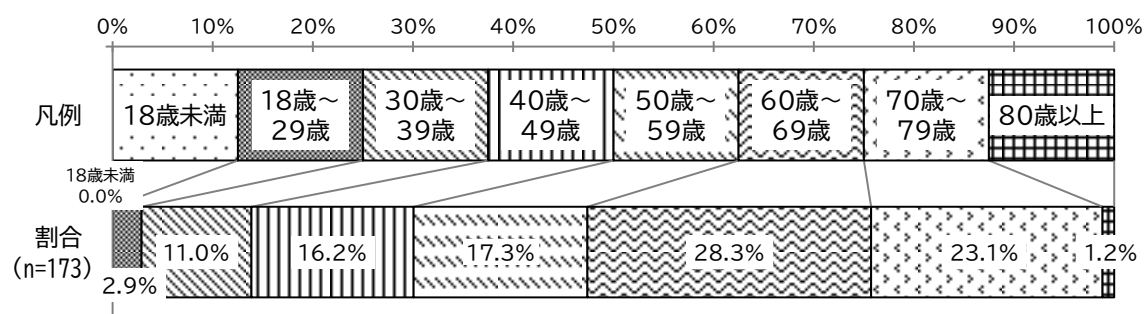


2.5 一般市民調査

2.5.1 基本情報

問1. あなたの年齢を教えてください。

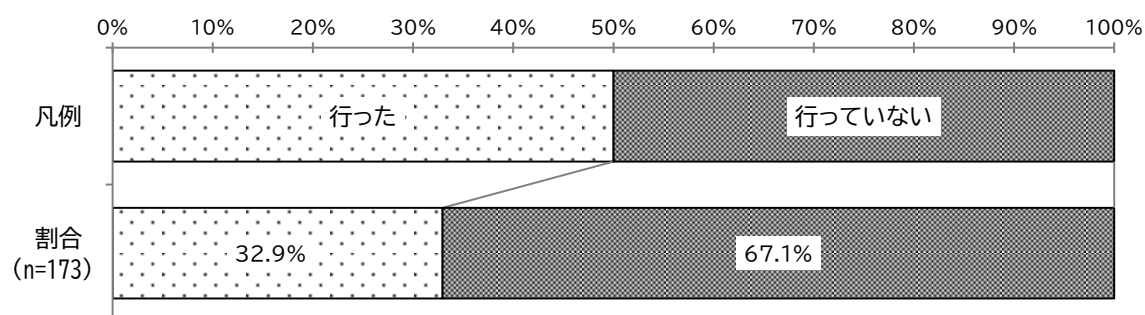
「18歳未満」が0.0%、「18歳～29歳」が2.9%、「30歳～39歳」が11.0%、「40歳～49歳」が16.2%、「50歳～59歳」が17.3%、「60歳～69歳」が28.3%、「70歳～79歳」が23.1%、「80歳以上」が1.2%となっている。



2.5.2 生涯学習活動の現状と課題について

問2. あなたはこの1年の間に生涯学習活動をしましたか。

「行った」が32.9%、「行っていない」が67.1%となっている。

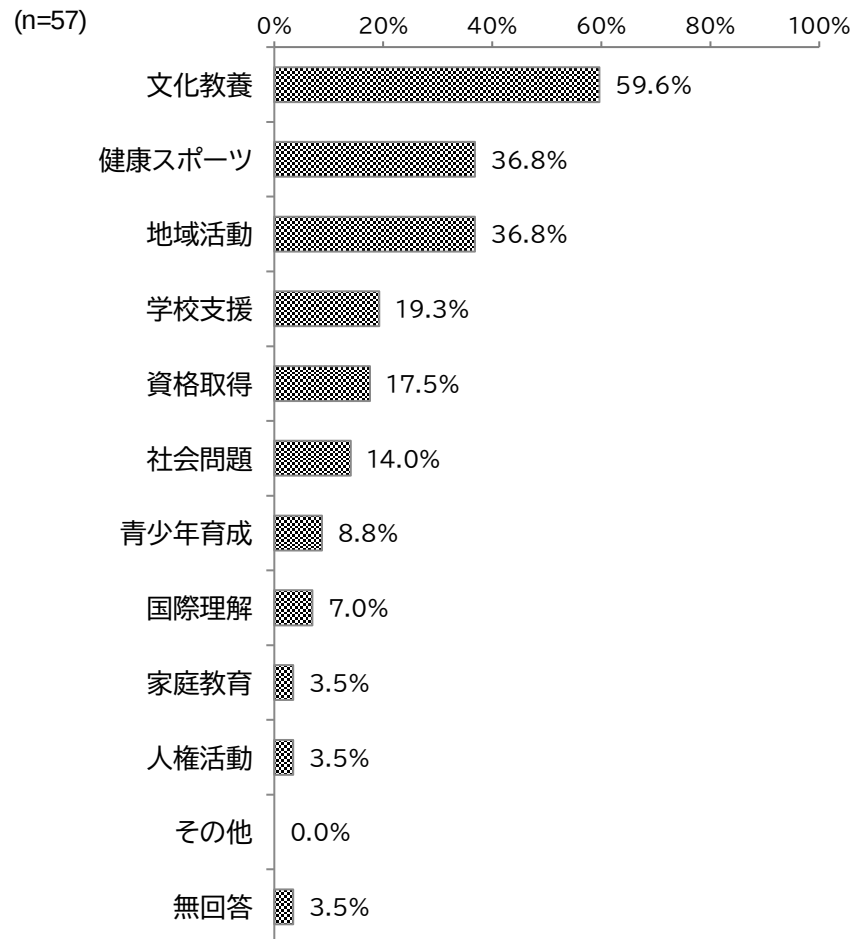


★（問2で、「行った」を選択した回答者）

問2-1-A. あなたはこの1年の間にどんな生涯学習活動をしましたか。

（あてはまるものすべて選んでください。）

「文化教養」が59.6%で最も多く、次いで「健康スポーツ」36.8%、「地域活動」36.8%、「学校支援」19.3%となっている。

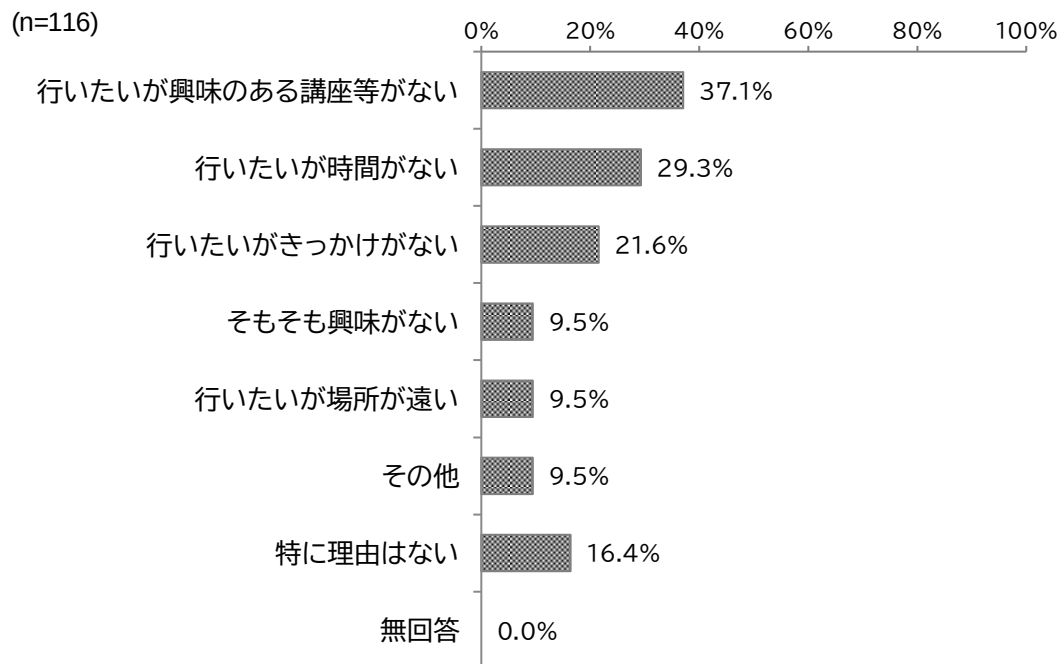


☆（問2で、「行っていない」を選択した回答者）

問2-1-B. 「行っていない」その理由は何ですか。

（あてはまるものすべて選んでください。）

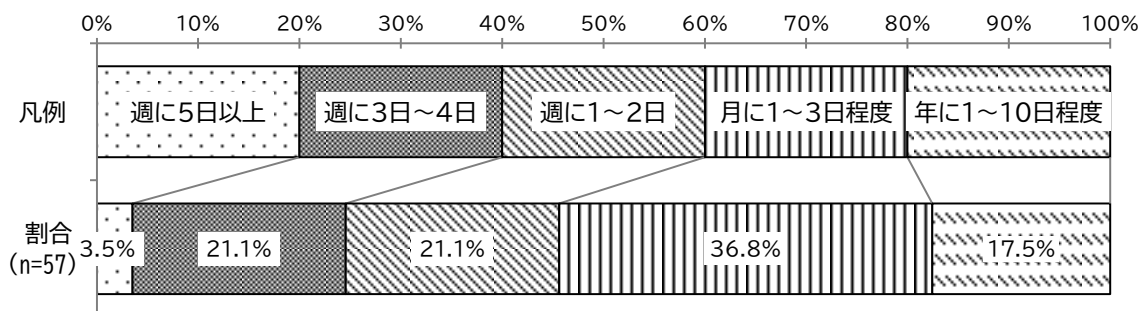
「行いたいに興味のある講座等がない」が37.1%で最も多く、次いで「行いたい没有时间がない」29.3%、「行いたいがかきかけがない」21.6%、「特に理由はない」16.4%となっている。



★（問2で、「行った」を選択した回答者）

問2-2. 問2-1-Aで答えた生涯学習活動をどの程度行いましたか。

「月に1～3日程度」が36.8%で最も多く、次いで「週に3日～4日」21.1%、「週に1～2日」21.1%、「年に1～10日程度」17.5%となっている。

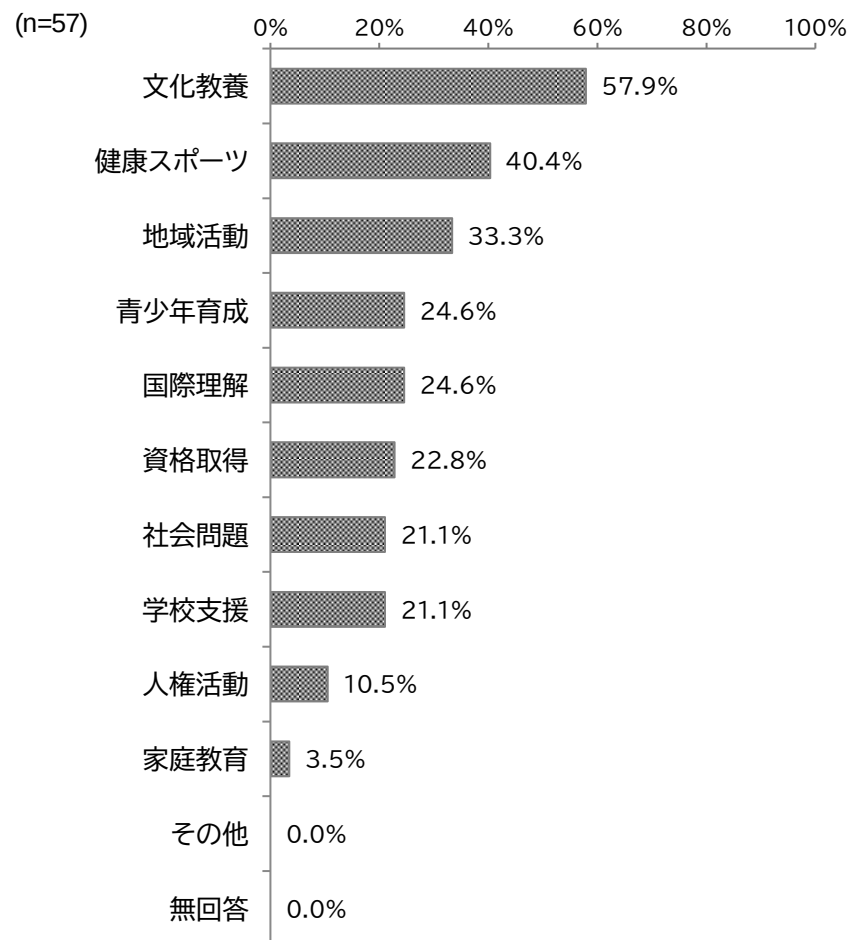


★（問2で、「行った」を選択した回答者）

問2-3. あなたが今後、行ってみたい生涯学習活動はどれですか。

（あてはまるものすべて選んでください。）

「文化教養」が57.9%で最も多く、次いで「健康スポーツ」40.4%、「地域活動」33.3%、「青少年育成」24.6%となっている。

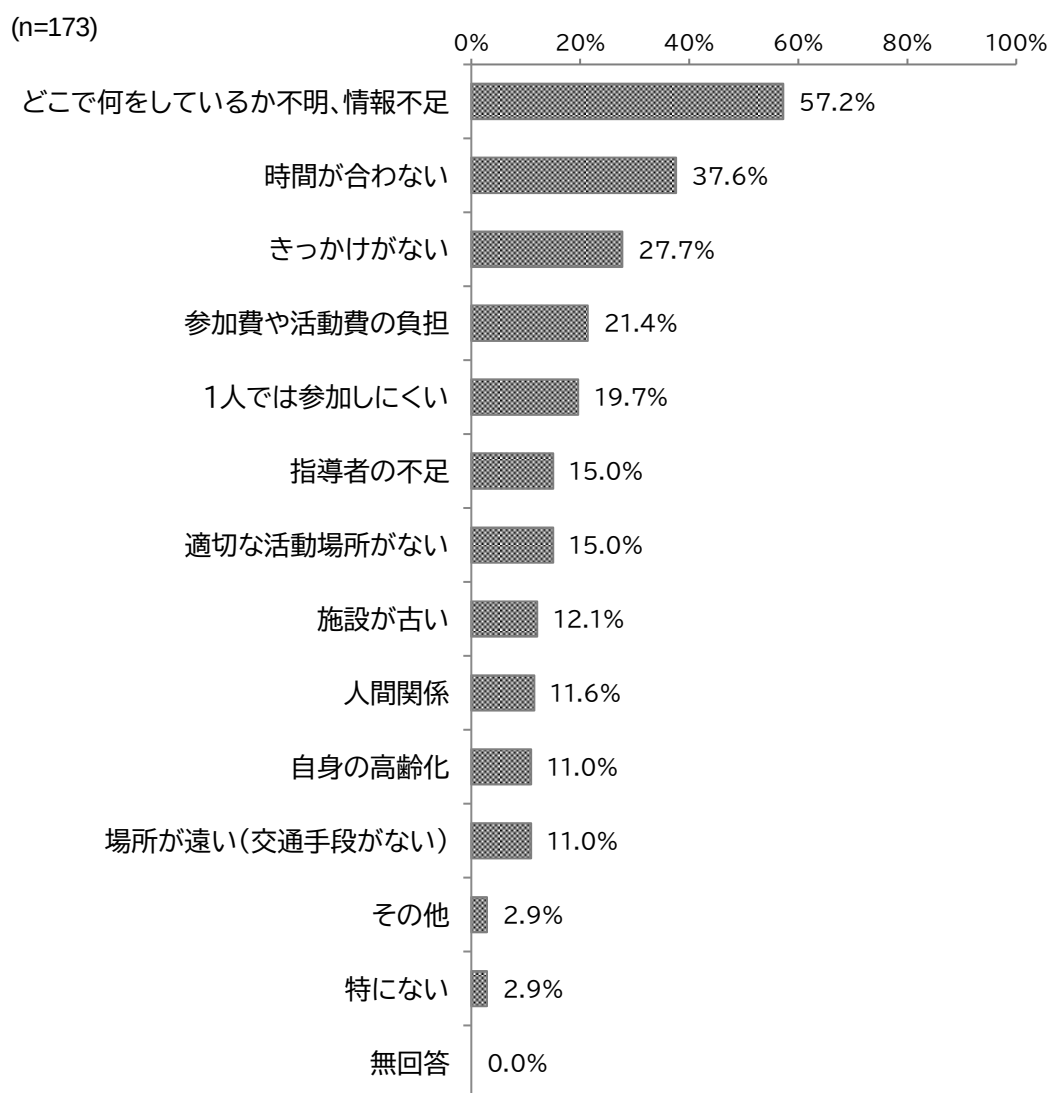


2.5.3 市の生涯学習施設のあり方について

問3. 生涯学習活動を行う上での課題は何ですか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

「どこで何をしているか不明、情報不足」が 57.2%で最も多く、次いで「時間が合わない」37.6%、「きっかけがない」27.7%、「参加費や活動費の負担」21.4%となっている。

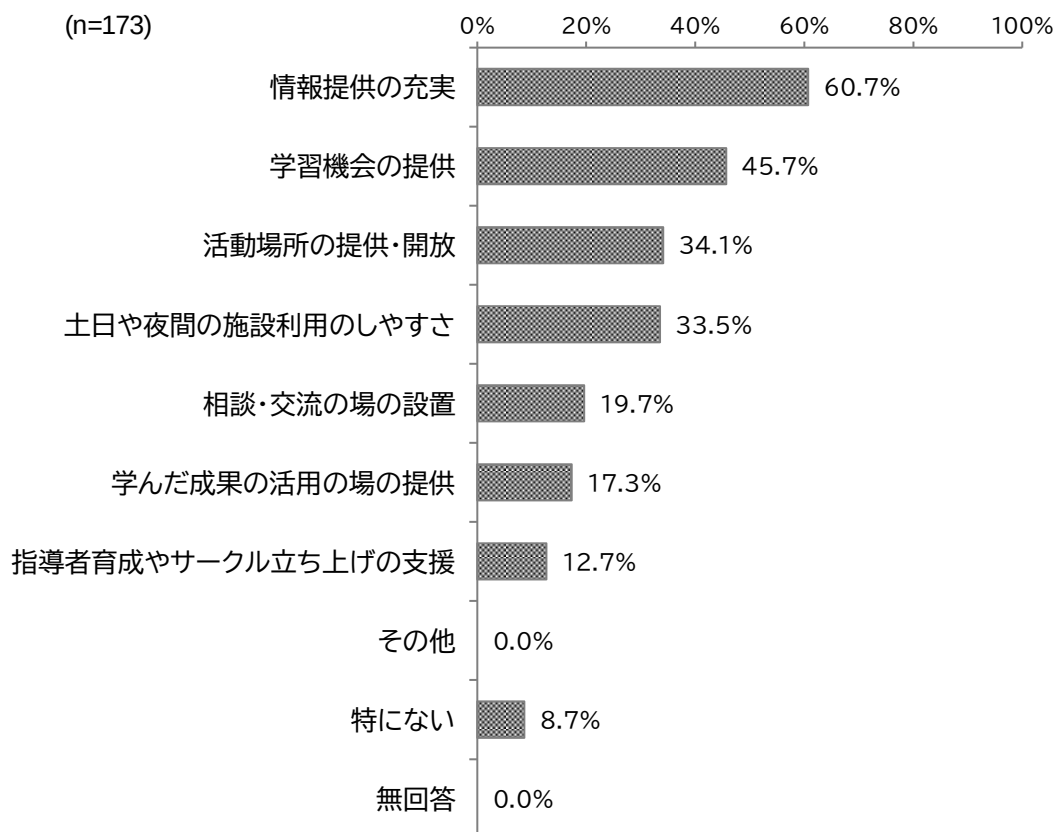


第2章 調査結果 2.5 一般市民調査

問4. 特に市に期待する生涯学習支援は何ですか。

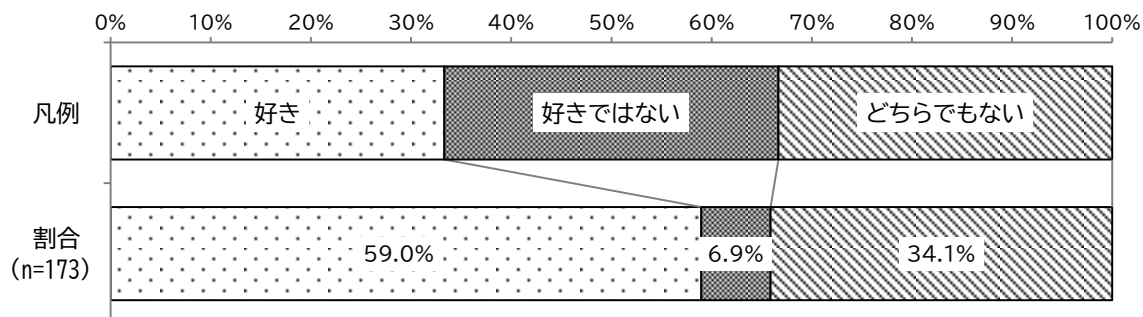
(あてはまるものすべて選んでください。)

「情報提供の充実」が60.7%で最も多く、次いで「学習機会の提供」45.7%、「活動場所の提供・開放」34.1%、「土日や夜間の施設利用のしやすさ」33.5%となっている。



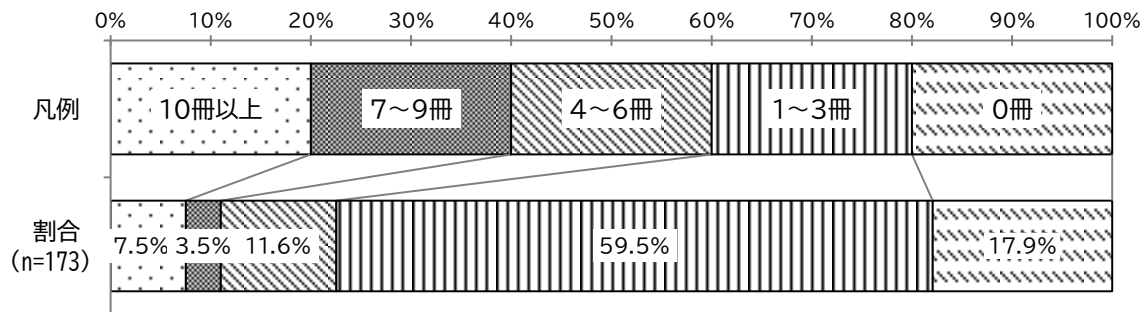
問5. 本を読むことは好きですか。

「好き」が59.0%で最も多く、次いで「どちらでもない」34.1%、「好きではない」6.9%となっている。



問6. 1ヵ月にどのくらい本を読みますか。(漫画、雑誌、電子書籍も含みます。)

「1～3冊」が59.5%で最も多く、次いで「0冊」17.9%、「4～6冊」11.6%、「10冊以上」7.5%となっている。

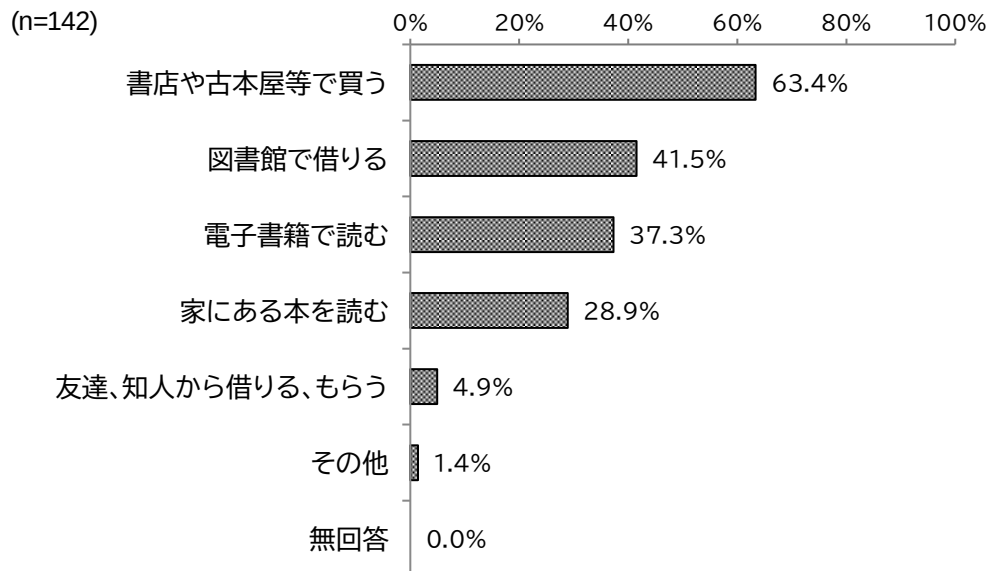


★（問6で、「10冊以上」「7～9冊」「4～6冊」「1～3冊」を選択した回答者）

問6-1-A. 主にどこから本を手に入れていますか。

（あてはまるものすべて選んでください。）

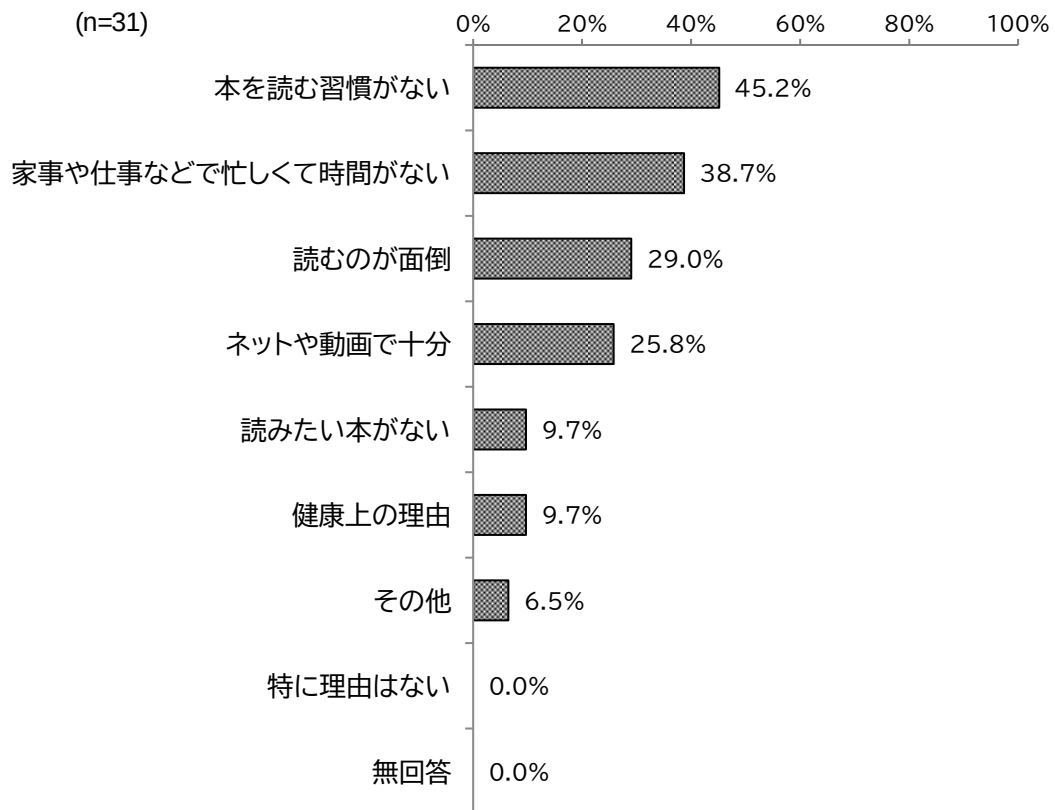
「書店や古本屋等で買う」が63.4%で最も多く、次いで「図書館で借りる」41.5%、「電子書籍で読む」37.3%、「家にある本を読む」28.9%となっている。



☆（問6で、「0冊」を選択した回答者）

問6-1-B. その理由も教えてください。（あてはまるものすべて選んでください。）

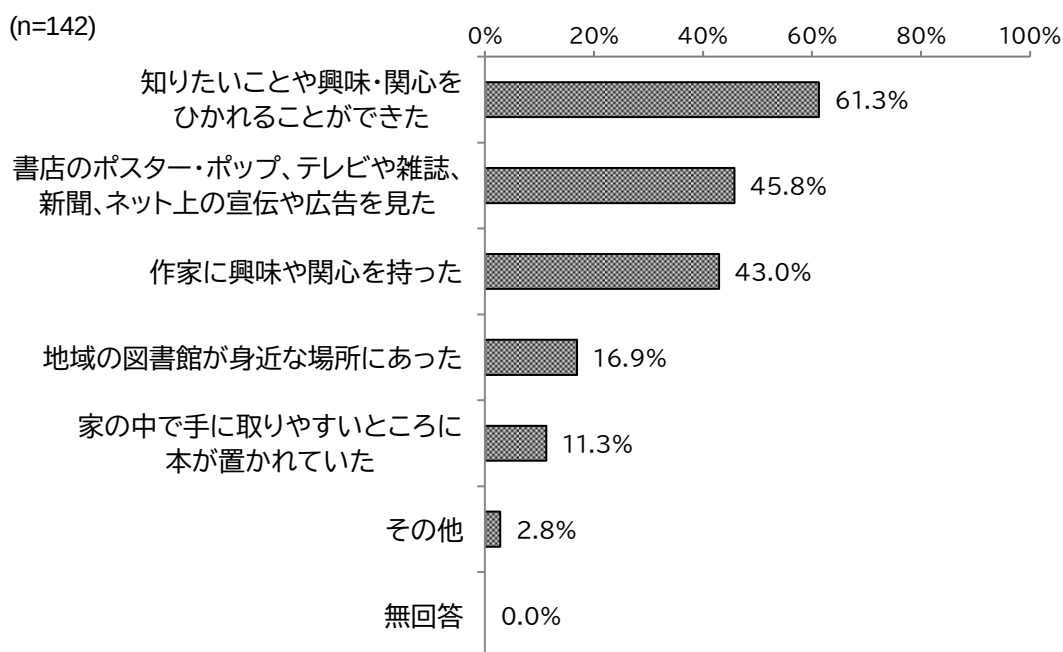
「本を読む習慣がない」が45.2%で最も多く、次いで「家事や仕事などで忙しくて時間がない」38.7%、「読むのが面倒」29.0%、「ネットや動画で十分」25.8%となっている。



★（問13で、「10冊以上」「7～9冊」「4～6冊」「1～3冊」を選択した回答者）

問6-2. 本を読むきっかけは何ですか。（あてはまるものすべて選んでください。）

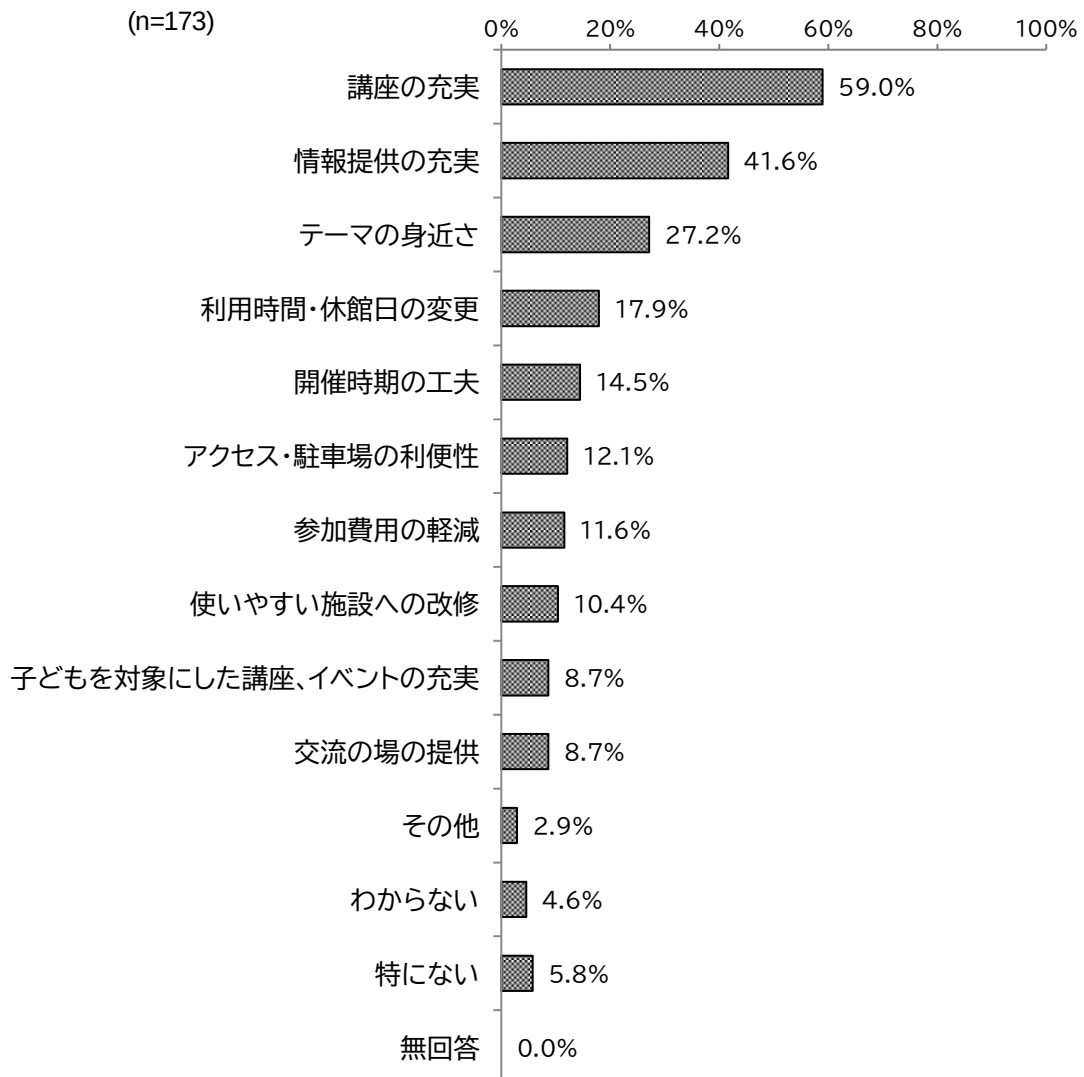
「知りたいことや興味・関心をひかれることができた」が61.3%で最も多く、次いで「書店のポスター・ポップ、テレビや雑誌、新聞、ネット上の宣伝や広告を見た」45.8%、「作家に興味や関心を持った」43.0%、「地域の図書館が身近な場所にあった」16.9%となっている。



2.5.4 生涯学習施設の利用と地域連携のあり方について

問7. 市の生涯学習施設(生涯学習センター〔こもれびの森〕、中央公民館)の事業に参加してもらうために何を工夫するべきだと思いますか。(3つまで選んでください。)

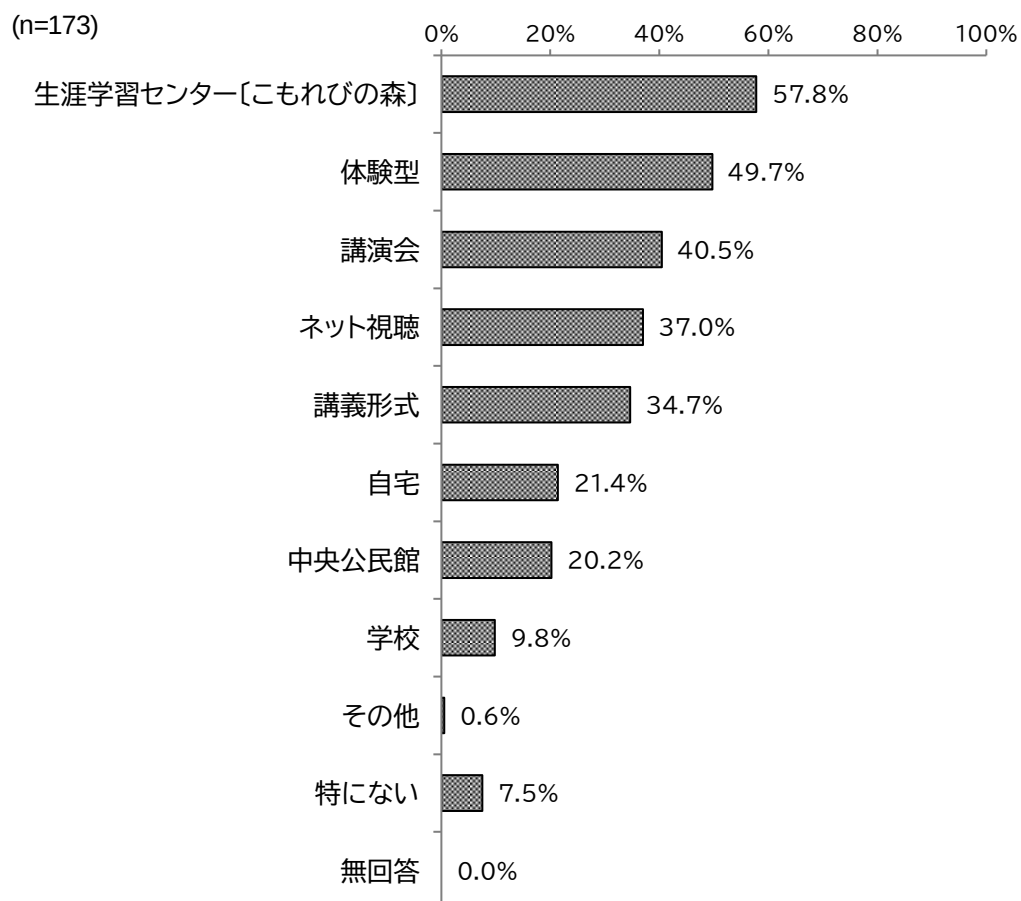
「講座の充実」が59.0%で最も多く、次いで「情報提供の充実」41.6%、「テーマの身近さ」27.2%、「利用時間・休館日の変更」17.9%となっている。



問8. 今後、どのような方法や場所で学習したいですか。

(あてはまるものすべて選んでください。)

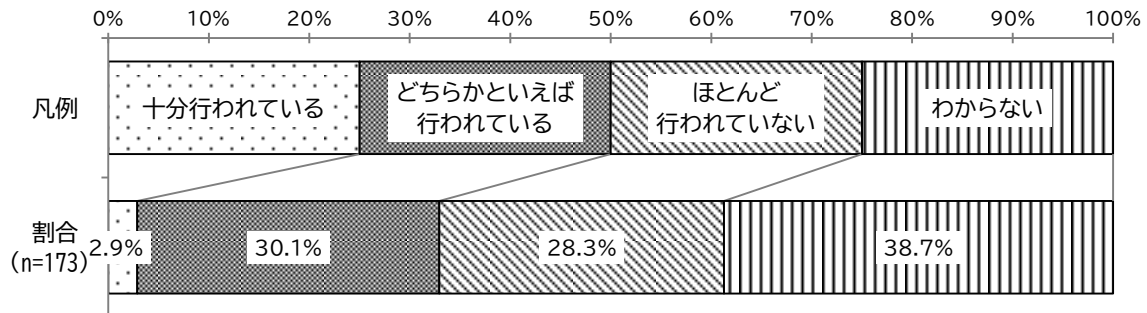
「生涯学習センター〔こもれびの森〕」が57.8%で最も多く、次いで「体験型」49.7%、「講演会」40.5%、「ネット視聴」37.0%となっている。



2.5.5 学校・家庭・地域の連携に関する現状認識と参加意向

問9. 学校・家庭・地域(PTA 活動や地元のお祭りへの参加など)の連携が図られていると思いますか。

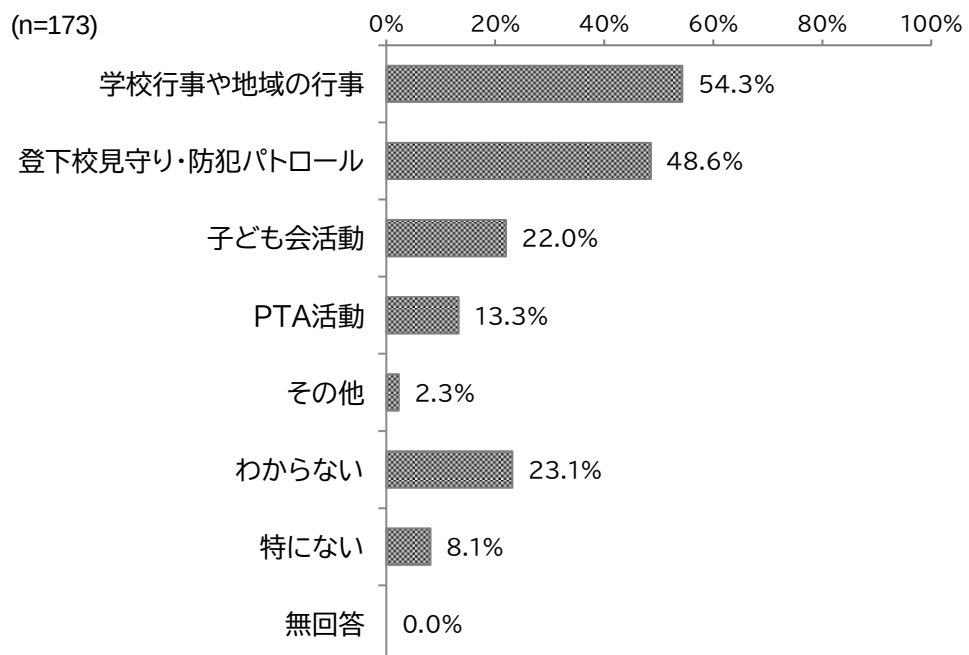
「わからない」が38.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば行われている」30.1%、「ほとんど行われていない」28.3%、「十分行われている」2.9%となっている。



問10. 学校・家庭・地域の連携が望ましい活動はどれですか。

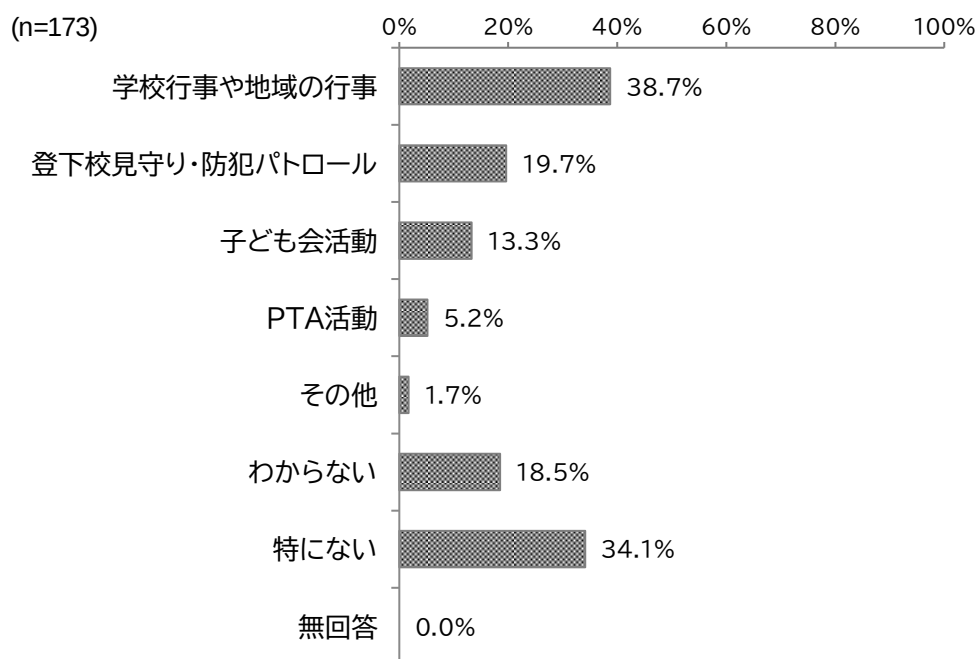
(あてはまるものすべて選んでください。)

「学校行事や地域の行事」が54.3%で最も多く、次いで「登下校見守り・防犯パトロール」48.6%、「わからない」23.1%、「子ども会活動」22.0%となっている。



問 11. 参加意向のある活動はどれですか。(あてはまるものすべて選んでください。)

「学校行事や地域の行事」が 38.7%で最も多く、次いで「特にない」34.1%、「登下校見守り・防犯パトロール」19.7%、「わからない」18.5%となっている。



2.6 社会教育関係団体

◆ 調査結果の見方について

- 【自由記述】については、個人や団体が特定される記述や同趣旨の意見については趣旨を変えない範囲で表現を整理して掲載しています。また、調査目的と著しく関連しない記述等については掲載を省略しました。
- 7団体から延べ8件の回答がありましたので、割合は8団体で算出しました。

2.6.1 基本情報

問1. 団体名を記入してください。

以下の団体から回答があった。

白岡市文化団体連合会	白岡市図書館ボランティア連絡会
白岡市ボランティア連絡会	白岡市母子愛育会
白岡市PTA連絡協議会	白岡市子ども会育成連絡協議会
「町ぐるみん白岡」	

問2. 回答者名を記入してください。

(省略)

2.6.2 団体の活動状況について

問3. 貴団体の現在の活動において、主な課題は何ですか。 【自由記述】

- ・各学校の代表者候補の不足。
 - ・役員の高齢化に伴い、後を引き継ぐ後継者がなかなか見つからない。
 - ・現在理事が60名以上いるが、各委員会に属していない理事は活動に参加していないことが多い。いかに活動に参加してもらうように促していくかが課題である。
 - ・会員の高齢化が進み、活動できる会員や団体数が減少している。
- また、若い世代の入会が少なく、担い手の確保が課題となっている。
- ・子供が少ない。
 - ・班員の減少、高齢化。次の担い手がいません。
 - ・幼児へのお知らせの方法。
 - ・長年続いていた各子ども会・育成会を取りまとめていく活動から今年度より市内の児童・生徒・育成者の個別加入へと変わり、その過渡期の為、団体活動の周知や会員募集が難しい。協力してもらえないところがない。

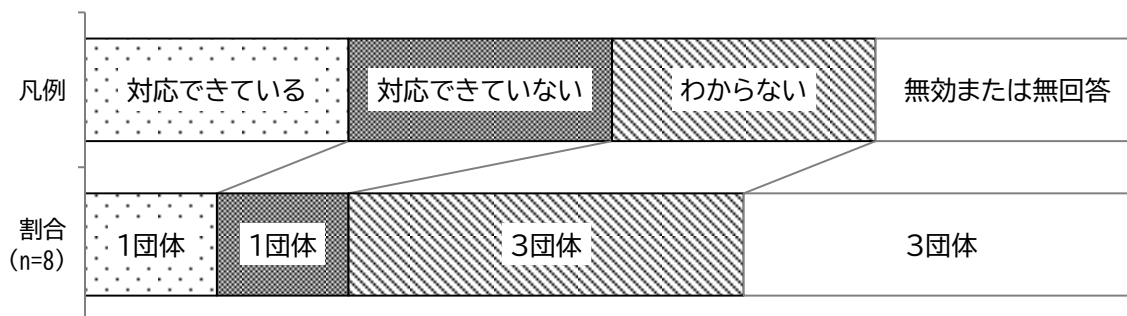
問4. 生涯学習センター〔こもれびの森〕（図書館を含む。）及び中央公民館について、要望や意見などがありましたら記入してください。 【自由記述】

- ・中央公民館については、大分老朽化が進んでいると思います。
 - ・生涯学習センターで、文化祭の展示を希望したいが展示場所が少ないと思う。1階会議室の壁が使えたらいい。
 - ・中央公民館は、エレベーターがないので、2階を使えず、展示は2回に分けて行っている（文化祭の展示）。見学者が少ないので、もっと少なくなっている。
 - ・パネル運びが大変で、キャスター付きパネルをもう少し増やしてほしい。
 - ・図書館ボランティアとして2000年より布の絵本作りをしています。今まで製作した100点を超える作品があり、図書館での貸出もしていますが、利用者の方への周知がいまひとつです。白岡市を紹介するタペストリーもありますので、是非活用していただければと思います。
 - ・中央公民館は、車いす利用者に対して気がかり。トイレをスムーズに利用できるようにしてほしい。3階集会室のTV、DVDプレーヤーが古くて使いにくい。
- 生涯学習センター〔こもれびの森〕は、会議室を借りる際、10分前でなくてもあい
- ・中央公民館の街灯が少なく暗い。
 - ・中央公民館のリフォームをしてほしい（雨もり、トイレなど）。
 - ・プリンターもUSBやSDカード、スマホのデータからプリントアウト出来るものを設置してほしい。

2.6.3 地域の家庭教育や社会教育の充実について

問5. 現在、市で提供されている学習講座や活動内容は、子育て世代や現役世代の関心に十分対応できていると思いますか。次の選択肢から1つ選んでください。

「対応できている」が1団体、「対応できていない」が1団体、「わからない」が3団体となっている。



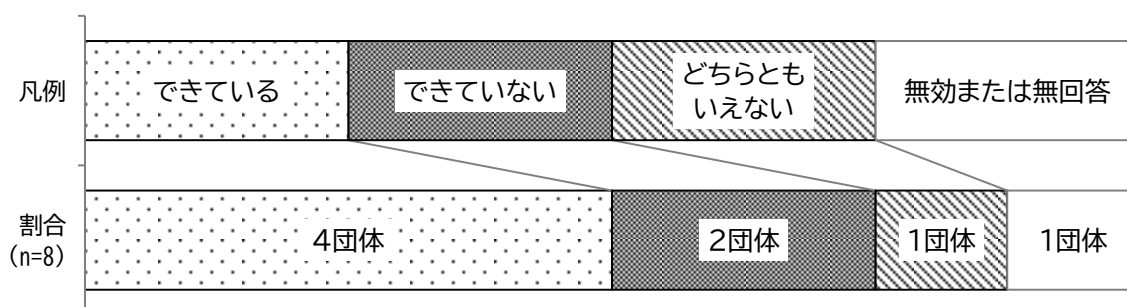
★（問5で、「対応できていない」を選択した回答者）

どのようなことが対応できていないと思いますか。 【自由記述】

- ・参加者が少ないと思う。
- ・募集人数が少ないと思う。
- ・福祉教育を全学校でやってほしい。
- ・情報が回ってこないで学校のプリントで配布してほしい。
- ・最近では子供を預けて働きに行くお母さんも増えています。そのため、市からの情報提供に対応できていないのではないかと思います

問6. 貴団体では、子育て世代のニーズに対応した活動ができていると思いますか。次の選択肢から1つ選んでください。

「できている」が4団体、「できていない」が2団体、「どちらともいえない」が1団体となっている。



★（問6で、「できている」を選択した回答者）

その活動について教えてください。【自由記述】

- ・市への要望書の提出。
- ・高校受験のための講座。
- ・「みんなあつまれ、わいわいコンサート」…未就学児童を対象に、本格的な生の音楽が聴けるコンサートを開催。
- ・「我が家のチェックシート」…年2回、小学生を対象に、家庭で実践してほしいこと18項目を挙げ、学校を通じチェックシートを配布、その結果を回収。
- ・「ひこべえの森 冬のつどい」…中学生を対象に自然観察会と冬の雑木林の大掃除を実施。
- ・「トークフォークダンス」…生徒と大人が1つの題に対して1対1で語りあうことで、異年齢間の交流を図る。
- ・福祉教育を通して、ニーズに応じた活動ができていると思う。
- ・活動に参加してくれた親子さんたちは楽しく過ごしてくださり何度も参加している方が多いので、うれしく思います。
- ・年5回の幼児教室。はぴすまつりでの手形取りなど毎月保健事業へのお手伝いもさせていただいています。

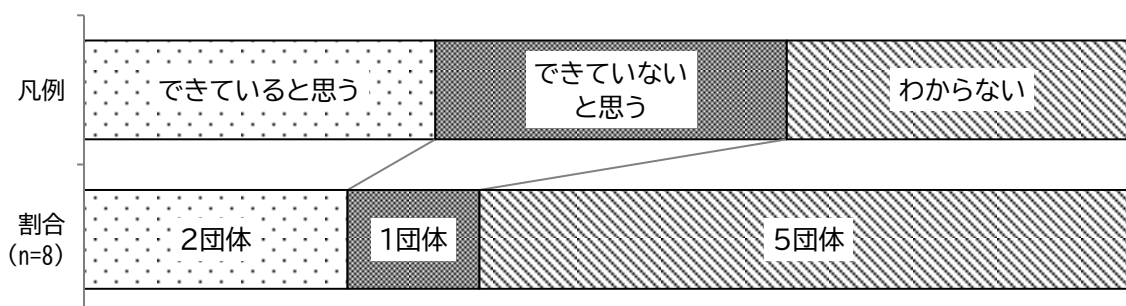
☆（問6で、「できていない」を選択した回答者）

できていないと思う理由について教えてください。【自由記述】

- ・以前は東児童館からの依頼を受けて、年1回0歳児に布の絵本の紹介をしていましたが、活動メンバーの減少で残念ですが、できなくなりました。
- ・活動への知らせの方法が難しい。

問7. 市内で生涯学習活動を行っている団体が、その活動の成果を地域に還元できていると思いますか。次の選択肢から1つ選んでください。

「できていると思う」が2団体、「できていないと思う」が1団体、「わからない」が5団体となっている。



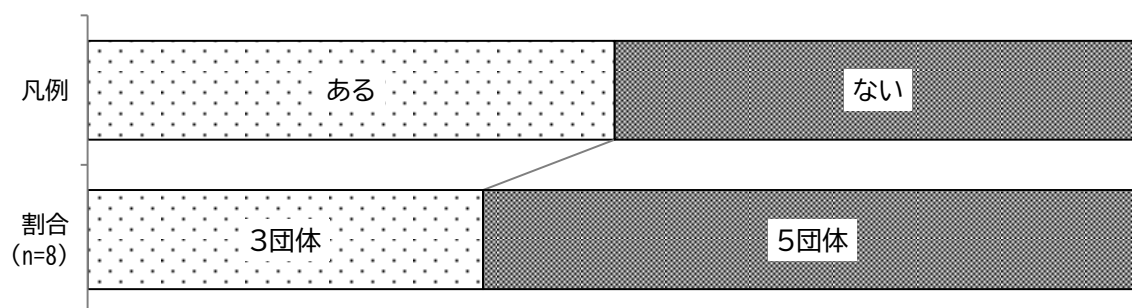
問8. 「地域で子どもを育てる」ために、現在の市に必要な施策は何だと思われますか。

【自由記述】

- ・市役所内の各課が「地域で子どもを育てるために」という共通意識で、他団体と横のつながりを持つべきだと思います。
- ・公園の充実。
- ・学校がない時に校庭開放。
- ・公の施設を開放して子どもの居場所作り（広報等でも紹介されていますが…）。
- ・働くママが多いのでファミリーサポートが必要。
- ・地域の方々とかがわれて気軽に親子で過ごせる場所。子供食堂など。
- ・市全域だけではなく、もう少し小さな地域での子育てに関する集まり（サークル等）ができる手助け。

問9. 日々の活動を通じて接する保護者から、子育てや家庭での教育に関して悩みや不安を相談されることはありますか。次の選択肢から1つ選んでください。

「ある」が3団体、「ない」が5団体となっている。



★（問9で、「ある」を選択した回答者）

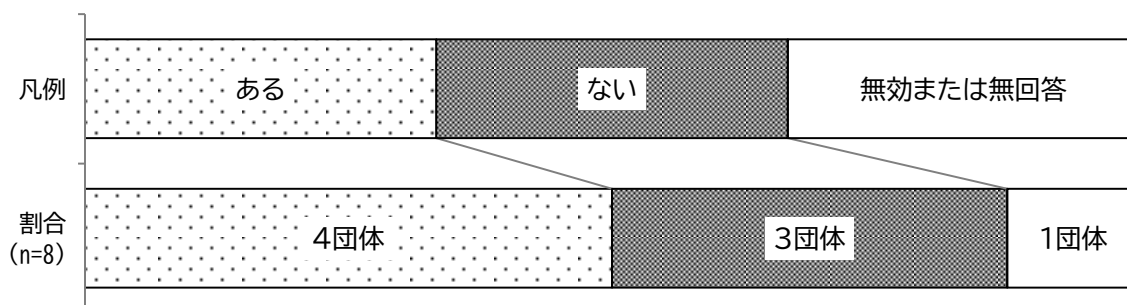
ある場合はどのような内容ですか。 【自由記述】

- ・不登校。
- ・高校受検。
- ・中学校の進学先。
- ・部活動。
- ・活動をしているグループ内での相談はあるが、他からはない。
- ・幼児教室の活動中の何気ない会話の中で相談されることはあります（人見知りをするので幼稚園でなじめるか？好ききらいが多くて、働きたいが預ける所がないなど）。

2.6.4 地域の団体と学校との連携について

問 10. 日頃の活動において学校との関わりがありますか。次の選択肢から1つ選んでください。

「ある」が4団体、「ない」が3団体となっている。



★（問 10 で、「ある」を選択した回答者）

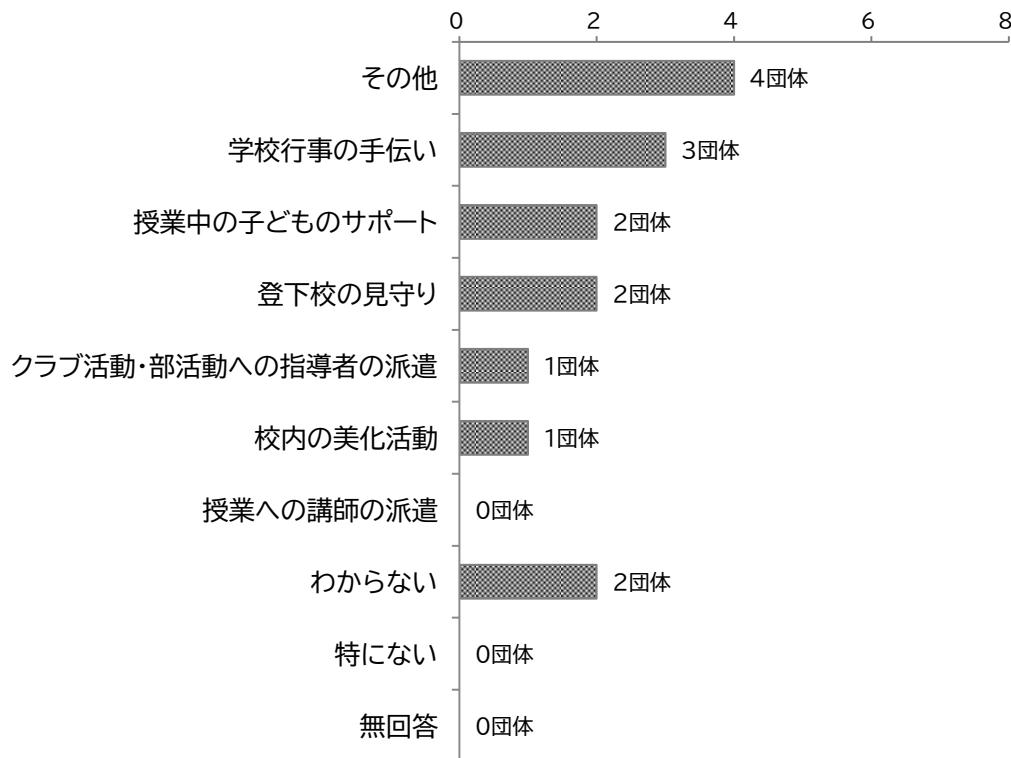
ある場合はどのような内容ですか。 【自由記述】

- ・ P T Aでの関わり。
- ・ トークフォークダンスを実施するにあたり、人員の関係で菁莪中学校で実施しているが、3月に授業の一環として3年生全員で参加してもらい楽しく大人と中学生の交流をしている。
- ・ 学校運営協議会の委員をしており、年3～5回の運営協議会を開催し、「通学路点検」、「防災教室」、「漢字検定試験」等の活動をし、その他に、入学式、運動会、卒業式に参加しています。
- ・ 社会福祉協議会白岡支部の活動として、「夏休みラジオ体操」、「こどもふれあい広場」等の活動を通じて、学校との関りが大いにあります。
- ・ グループの中には朝のあいさつ運動で登校時のみまもりをしている人もいます。

第2章 調査結果 2.6 社会教育関係団体

問 11. 貴団体では、今後、学校の教育活動に対して、どのようなことであれば協力できると思いますか。(複数回答可)

「その他」が4団体で最も多く、次いで「学校行事の手伝い」3団体、「授業中の子どもをサポート」2団体、「登下校の見守り」2団体、「わからない」2団体となっている。



問 11 「その他」の詳細 【自由記述】

- ・保護者に対してなど。
- ・夏休みの講座での絵の指導。
- ・福祉教育。
- ・彩の国21世紀郷土かるたの競技指導。

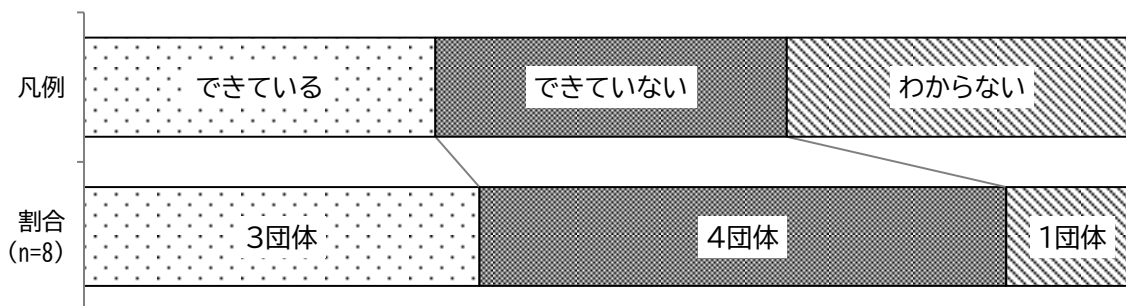
問 12. 地域の団体と学校との連携・協力を推進していくためには、どのような取組が必要だと思いますか。 【自由記述】

- ・学校が他団体と連携しようとする、先生方の負担が増えすぎてしまうように思えます。学校運営協議会などを間に挟み、団体と学校の橋渡し役を作る必要があるのではと考えます。
- ・学校の先生、生徒を含めた懇談会の実施。
- ・地域の団体と学校との連絡を密に取ること。
- ・学校で困っていること、協力が必要なことを遠慮せずに地域の団体に発信すること。
- ・年をとっても楽しんで頑張っている姿を見せる。
- ・公民館見学などで活動を見に来ていたが、今はない（公民館に図書館があった時は来ていた）。
- ・今も十分やっていると思います。“教室では学べないこと”を軸に、今一度中身を精査してはどうでしょうか。
- ・ボランティアで協力者を集めるのは難しい。
- ・まずは交流を持つ事。

2.6.5 家庭・地域・学校の連携について

問 13. 白岡市では、家庭・地域・学校と連携して子どもたちを育てる取組ができていると思いますか。次の選択肢から1つ選んでください。

「できている」が3団体、「できていない」が4団体、「わからない」が1団体となっている。



★（問 13 で、「できている」を選択した回答者）

できていると思う理由 【自由記述】

・放課後教室や田んぼの学校、彦兵衛の森など地域ごとに学校との連携はできていると思います。

☆（問 13 で、「できていない」を選択した回答者）

できていないと思う理由 【自由記述】

・学校⇄家庭、学校⇄地域は、先生方の努力でできていると感じますが、家庭⇄地域については、だんだん繋がりが薄くなってきているように感じます。
 ・子供と一緒にいない家庭では学校の様子は回覧で回ってくる。毎月の学校だよりを読むことくらいで、全くわからない。
 ・地域により偏る。
 ・近年の学校は地域などから孤立している印象がある。個人情報や保護者の問題など様々な問題を抱えているとは思いますが、現在は連携というより一方的と感ずるため。

問 14. 子どもたちが地域との関わりを持ったり、地域の活動に参加するようになるために、どのような取組が必要だと思いますか。 【自由記述】

- ・市が地域で活動する団体から、子供たちへの活動参加要望を受け入れ、学校に情報を流し、生徒・児童へ、各家庭へ情報を渡していく。このような仕組みづくりが必要なのではと思っています。
- ・各地域の行政区や自治会が、子どもたちが参加しやすい内容を工夫すること。
- ・地域の活動について、学校側にも知ってもらう方法や機会を作り、学校側から子供たちに話してもらう。
- ・地域、行政活動を、子供が興味のあるもの、楽しめるものにする。盆踊り、夏祭りなど。
- ・“参加したら楽しそう”と思える活動を市民の目につく所で紹介する。そして参加した後の感想など、リアルタイムで発信する。
- ・市街地でのイベントに参加できるよう歩道、自転車道の道幅など整備してほしい。
- ・市内放送、宣伝車で繰り返し知らせる。
- ・子どもたちに自分が住んでいる地域に関心を持ってもらうため、小さな地域（行政区長などの協力も必要）の中で、まつりや防災活動等の行事を行い、地域の人たちを知ってもらう。行事などの周知とともに、先ずは大人（保護者も）の理解と協力を進めていくことが必要かと思う。

2.6.6 その他

問 15. 市の家庭教育に関することについて、要望やご意見などがありましたら記入してください。 【自由記述】

- ・ 共稼ぎ世帯が多くなり、家庭での教育が昔に比べて難しくなっている状況下、「学童保育所」、「放課後子ども教室」で働いていただくスタッフの充実が必要と思います。
- ・ 全国的に教員不足の状態であり、教員の職場環境を改善する必要とともに、教員不足を補う為に、教員免許を持っていても教職についていないペーパーティーチャーの活用を図る必要があると思います。
- ・ 子どもが安全にデジタル機器やインターネットを使えるように保護者自身が知識・対応力を養えるような情報発信ができると良いと思います。
- ・ 子供達が安全に集まれるコミセンや児童館のような場所をもっと作ってほしい。

問 16. 市の社会教育（学校教育及び家庭教育以外の教育）に関することについて、要望やご意見などがありましたら記入してください。 【自由記述】

- ・ 社会教育委員会に参加している団体同士の意見交換を活発に行い、現状における問題点、成功例を発表してもらうこと。
- ・ AIの普及がめざましく、機器の取り扱いについて倫理面も含めて教えていただける講座などあるといいですね。
- ・ いろいろな団体があると思いますが、どの様な活動をしていて、どの様な問題を抱えているか等、オフレコで交流できると嬉しいです。